

令和3年度
安来市における医療・介護サービスの
実態調査

令和4年3月
安来市地域包括支援センター
(高齢者まるごと相談センター)

【目次】

第1章 調査の実施概要

1. 調査の目的	2
2. 調査の内容	2
(1) 一次調査（安来市居宅介護支援事業所・小規模多機能事業所）	
(2) 二次調査	
3. 報告書の記載方法について	2
(1) 報告書の記載方法	
(2) 用語解説	
4. 調査基礎データ	3
(1) 一次調査	
(2) 二次調査	

第2章 集計結果

1. 一次調査	6
(1) 居宅介護支援事業所・小規模多機能事業所	
2. 二次調査	18
(1) 市内医療機関	18
(2) 市外医療機関	24
(3) 薬局	30
(4) 訪問看護	40
(5) 訪問リハビリ	46
(6) 訪問介護	52
(7) 通所系サービス	60
(8) 短期入所	68
(9) 訪問入浴	74
(10) 安来市内の医療・介護サービスの提供可能地域	80

第1章 調査の実施概要

第1章 調査の実施概要

1 調査の目的

安来市内・近隣市町村で医療・介護を提供している医療機関、介護事業所へのアンケートを通し、実態把握を行うとともに、今後の安来市における医療・介護サービスの提供体制についての検討及び政策形成に資することを目的とする。

2 調査の内容

(1)一次調査

調査対象	安来市内の居宅介護支援事業所 15 事業所、小規模多機能事業所 5 事業所、計 15 事業所のケアマネジャー59 名
調査方法	訪問によるアンケート配布・回収調査
調査内容	安来市内への提供範囲、体制、サービス等についての質問(対象機関により設問数は異なる)
調査期間	令和 2 年 12 月 21 日～令和 3 年 1 月 5 日

(2)二次調査

調査対象	①一次調査の結果より抽出した、ケアマネジャーが関わったことある 市外の医療機関、薬局、介護保険事業所 95 事業所 ②鳥取県西部薬剤師会の全加入薬局に一次調査実施 34 事業所 ③安来市内医療機関、薬局、介護保険事業所、安来市外医療機関、薬局、介護保険事業所を対象 に訪問による配布・回収調査実施 60 事業所
調査方法	訪問、郵送によるアンケート配布・回収調査
調査内容	安来市内への提供範囲、体制、訪問診療、訪問サービス、看取り等についての質問(対象機関により設問数は異なる)
調査期間	令和 3 年令和 3 年 2 月 12 日～令和 3 年 3 月 18 日

3. 報告書の記載方法

(1)報告書の記載方法

報告書の記載にあたって、集計表やグラフの%表記は小数点第2位を四捨五入している。また、各集計項目の集計母数が異なることと、合計しても 100% にならない場合がある。

(2)用語解説

「南部地域」とは安来市広瀬町布部・比田・山佐地区、伯太町母里・井尻・赤屋地区を指す。

4. 調査基礎データ

(1) 一次調査

1) 有効回答数と回答率

配布先	配布数		有効回答数	有効回答率
安来市内居宅介護支援事業所	15事業所	54名	54名	100.0%
安来市内小規模多機能事業所	5事業所	5名	5名	100.0%

(2) 二次調査

1) 有効回答数と回答率

① 事業所別

カテゴリー		配布先	配布数	有効回答数	有効回答率	
医療系サービス	医療機関	安来市内	病院	3事業所	3事業所	100.0%
			診療所	20事業所	18事業所	90.0%
		安来市外	病院	16事業所	14事業所	87.5%
			診療所	22事業所	19事業所	86.4%
	薬局	安来市内	11事業所	11事業所	100.0%	
		安来市外	23事業所	22事業所	95.7%	
介護系サービス	訪問看護	安来市内	3事業所	3事業所	100.0%	
		安来市外	4事業所	3事業所	75.0%	
	訪問リハビリ	安来市内	2事業所	2事業所	100.0%	
		安来市外	2事業所	2事業所	100.0%	
	訪問介護	安来市内	6事業所	6事業所	100.0%	
	通所系サービス	安来市内	通所介護	16事業所	16事業所	100.0%
			通所リハビリ	3事業所	3事業所	100.0%
		安来市外	通所介護	5事業所	4事業所	80.0%
			通所リハビリ	2事業所	2事業所	100.0%
	短期入所	安来市内	9事業所	9事業所	100.0%	
安来市外		5事業所	5事業所	100.0%		
訪問入浴	安来市外	3事業所	3事業所	100.0%		
合計			155事業所	145事業所	93.5%	

② 医療・介護サービス別

カテゴリー	配布数	有効回答数	有効回答率
医療系サービス	95事業所	87事業所	91.6%
介護系サービス	60事業所	58事業所	96.7%
合計	155事業所	145事業所	93.5%

③ 市内・市外別

カテゴリー	配布数	有効回答数	有効回答率
安来市内事業所	73事業所	71事業所	97.3%
安来市外事業所	82事業所	74事業所	90.2%
合計	155事業所	145事業所	93.5%

第2章 集計結果

1. 一次調査

第2章 集計結果

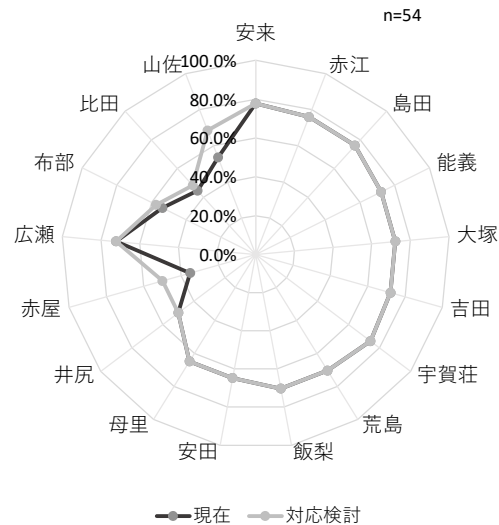
1. 一次調査(安来市内居宅介護支援事業所、小規模多機能事業所)

(1) サービス提供が可能な地域(人数別)

地区	現在	対応検討	地区	現在	対応検討
安来	42	42	安田	35	35
赤江	41	41	母里	35	35
島田	41	41	井尻	27	27
能義	39	39	赤屋	19	27
大塚	39	39	広瀬	39	39
吉田	39	39	布部	29	31
宇賀荘	40	39	比田	24	26
荒島	38	40	山佐	29	37
飯梨	38	38			

※割合は、有効回答数 54 人を母数として計算。

サービス提供が可能な地域 (人数別)



広瀬町、伯太町の南部地域へのサービス提供が、旧安来市内の半分程度となっている。

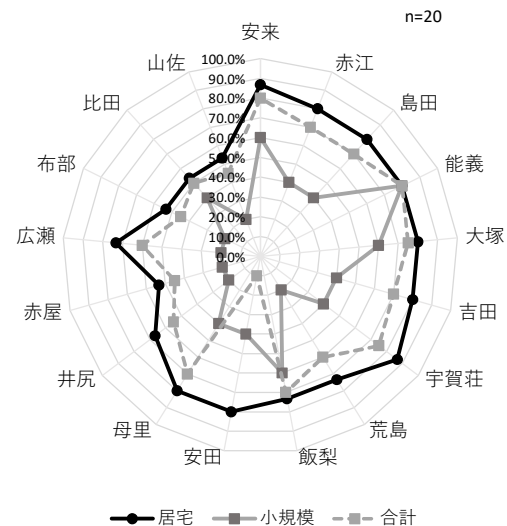
「広瀬、荒島、飯梨」は随時検討、「比田は東比田のみ」との回答もあり、地域内でも行ける場所、行けない場所があることがわかった。

(2) サービス提供が可能な地域(事業所別)

地区	居宅	小規模	合計	地区	居宅	小規模	合計
安来	13	3	16	安田	12	2	14
赤江	12	2	14	母里	12	2	14
島田	12	2	14	井尻	10	1	11
能義	12	4	16	赤屋	8	1	9
大塚	12	3	15	広瀬	11	1	12
吉田	12	2	14	布部	8	1	9
宇賀荘	13	2	15	比田	8	2	10
荒島	11	1	12	山佐	8	1	9
飯梨	11	3	14				

※割合は、有効回答数居宅介護支援事業所 15 事業所、小規模多機能事業所 5 事業所、合計では両事業所合計 20 を母数として計算。

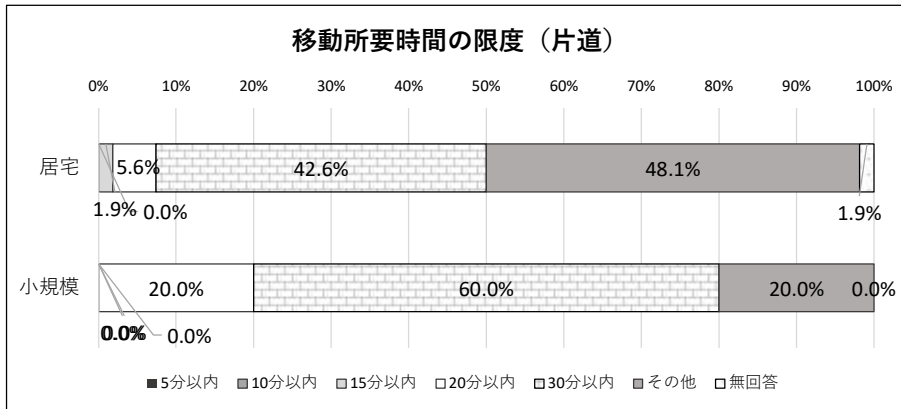
サービス利用が可能な地域 (事業所別)



事業所単位でのサービス提供範囲である。一人一人の回答と若干の差異がある。飯梨地区については、小規模多機能事業所では担当出来るが、居宅介護支援事業所では担当出来ない事業所もある。安来地区でも、サービスが提供できない地区があるという実態が明らかになった。

(3) 事業所の移動所要時間の限度(片道)

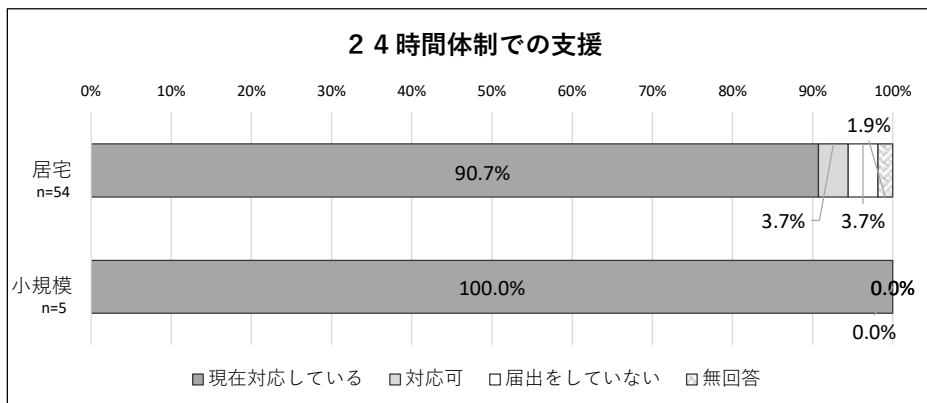
	5分以内	10分以内	15分以内	20分以内	30分以内	その他	無回答	合計
居宅	0	0	1	3	23	26	1	54
小規模	0	0	0	1	3	1	0	5



約 4 割のケアマネジャーが片道 30 分以内であれば対応可能と回答。片道 12 キロ圏内であれば対応ができるとなると、旧安来市内の事業所は、広瀬地区は広瀬中学校周辺、伯太地区は井尻小学校周辺までが限界となるため、問1の回答と一致する。その他は、40 分～120 分と回答している。

(4) 24 時間体制での支援

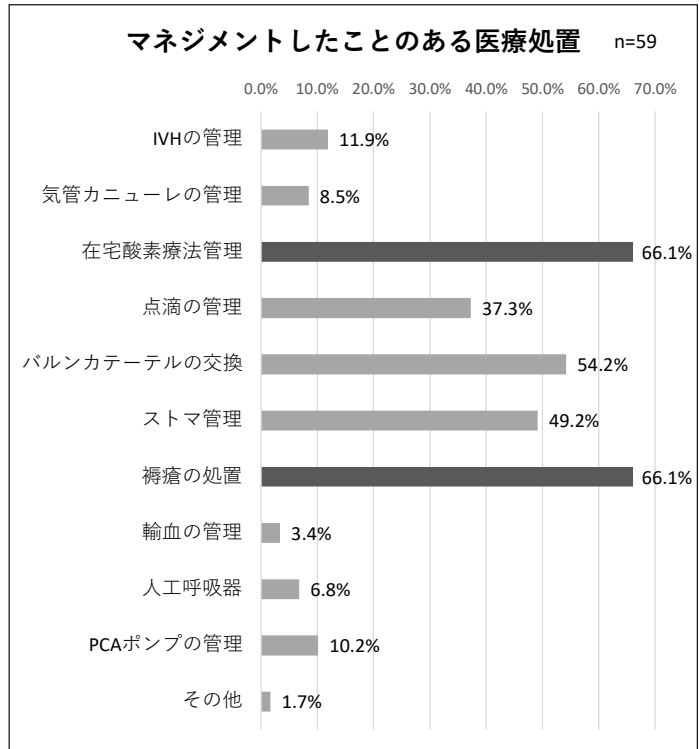
	居宅	小規模
現在対応している	49	5
対応可	2	0
届出をしていない	2	0
無回答	1	0
合計	54	5



24 時間体制で対応している事業所が 9 割を占める。届け出を出していないが、24 時間対応していると答えたケアマネジャーもあった。

(5) 医療処置でマネジメントしたことがある項目（複数回答）

項目	居宅	小規模	合計
IVHの管理	7	0	7
気管カニューレの管理	5	0	5
在宅酸素療法管理	37	2	39
点滴の管理	20	2	22
バルンカテーテルの交換	29	3	32
ストマ管理	28	1	29
褥瘡の処置	36	3	39
輸血の管理	2	0	2
人工呼吸器	4	0	4
PCAポンプの管理	6	0	6
その他	1	0	1

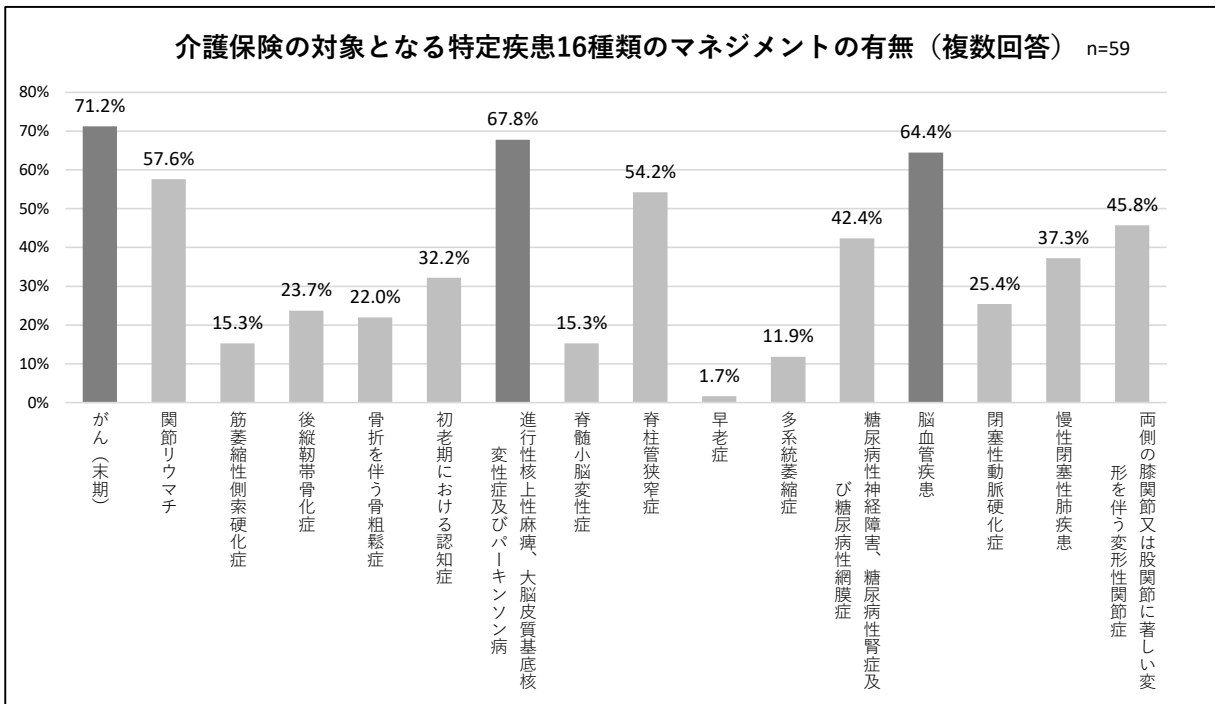


約8割のケアマネジャーが、医療処置のある利用者に関わり、約50%が、「ストマの管理」「バルンカテーテルの管理」が必要な方のマネジメントをしたと回答。70%弱が、「褥瘡の処置」「在宅酸素療法管理」の必要な方をマネジメントしている。

「人工呼吸器」「PCAポンプの管理」等も関わったと回答するケアマネジャーもあり、難病患者や末期がん患者へのマネジメントも行っていると考えられる。

(6) 介護保険の対象となる特定疾患 16 種類で、マネジメントしたことがある疾病（複数回答）

疾患名	居宅	小規模	合計
がん（末期）	38	4	42
関節リウマチ	30	4	34
筋萎縮性側索硬化症	8	1	9
後縦靭帯骨化症	12	2	14
骨折を伴う骨粗鬆症	10	3	13
初老期における認知症	16	3	19
進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン	36	4	40
脊髄小脳変性症	9	0	9
脊柱管狭窄症	28	4	32
早老症	0	1	1
多系統萎縮症	7	0	7
糖尿病性神経障害、糖尿病性腎症及び糖尿病性網膜症	22	3	25
脳血管疾患	35	3	38
閉塞性動脈硬化症	12	3	15
慢性閉塞性肺疾患	19	3	22
両側の膝関節又は股関節に著しい変形を伴う変形性関節症	24	3	27

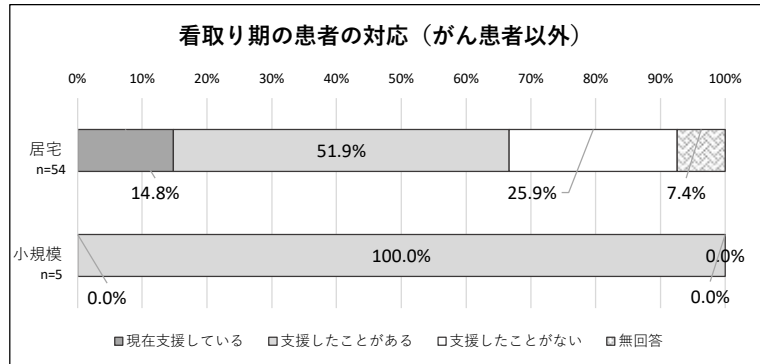


ケアマネジャーのほぼ全員が、特定疾病の方をマネジメントしたことがあると回答。7割弱が、「末期がん」「パーキンソン病」「脳血管疾患」の方をマネジメントしている。

「筋萎縮性側索硬化症」などの難病のマネジメントも行っているケアマネジャーもあり、今後、ますます医療と介護の連携が必要な重度な疾病を持つ方が在宅生活を送られることが想定される。

(7) 看取り期の患者の対応(がん患者以外)

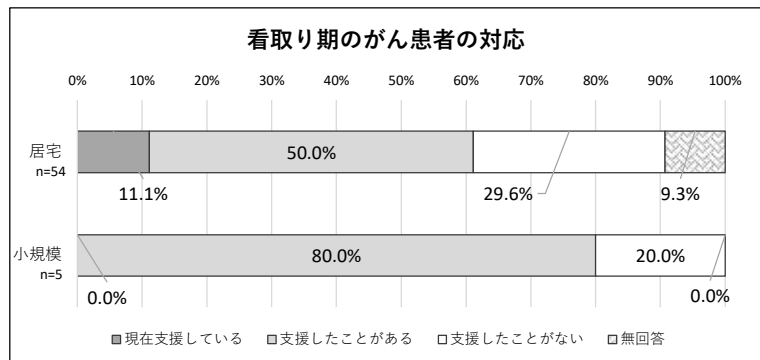
	居宅	小規模
現在支援している	8	0
支援したことがある	28	5
支援したことがない	14	0
無回答	4	0
合計	54	5



「現在支援している」「支援したことがある」と答えたケアマネジャーが居宅介護支援事業所で 66.7%、小規模多機能事業所で 100%を占める。

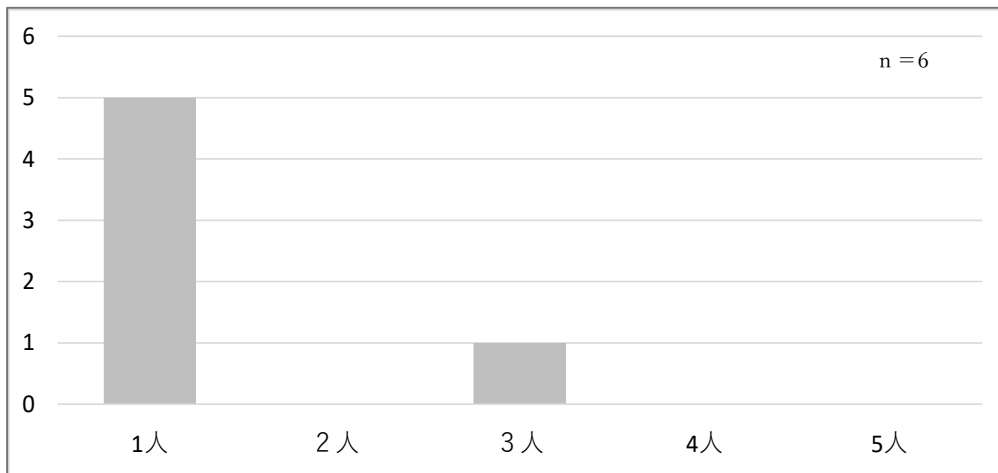
(8-1) 看取り期のがん患者の対応

	居宅	小規模
現在支援している	6	0
支援したことがある	27	4
支援したことがない	16	1
無回答	5	0
合計	54	5



「現在支援している」「支援したことがある」と答えたケアマネジャーが居宅介護支援事業所で 61.1%、小規模多機能事業所で 100%を占める。

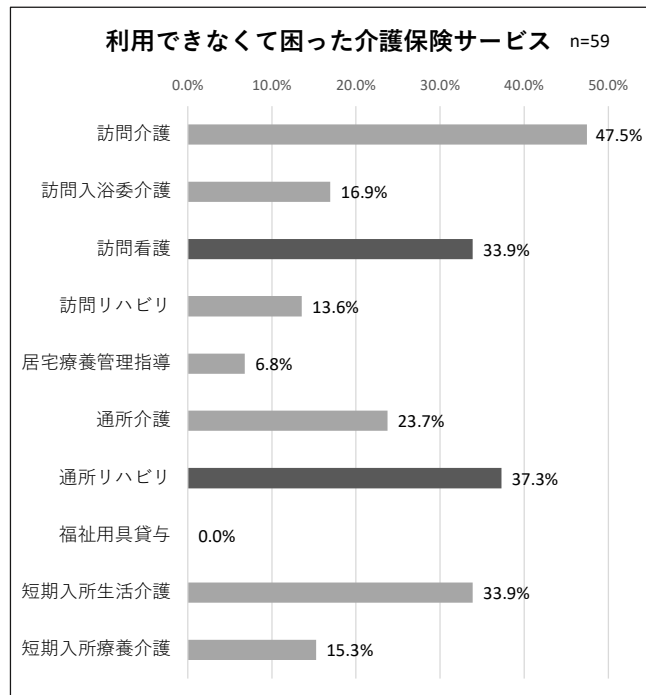
(8-2) 「現在支援している」と回答したケアマネジャーが、何人担当しているかを調査した結果



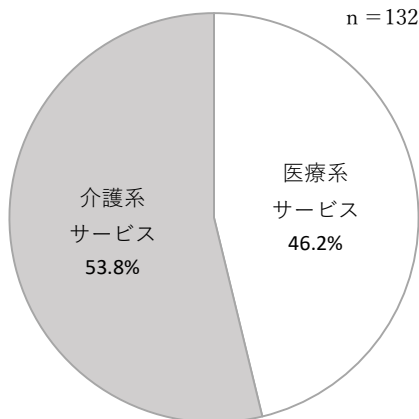
「現在、3人担当している」との回答が1名のケアマネジャーからみられた。

(9) ケアマネジメントするうえで、「利用できなくて困った」介護保険サービス（複数回答）

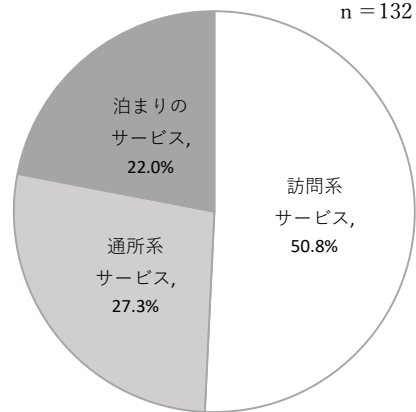
項目	居宅	小規模	合計
訪問介護	28	0	28
訪問入浴委介護	9	1	10
訪問看護	19	1	20
訪問リハビリ	7	1	8
居宅療養管理指導	4	0	4
通所介護	14	0	14
通所リハビリ	22	0	22
福祉用具貸与	0	0	0
短期入所生活介護	20	0	20
短期入所療養介護	9	0	9



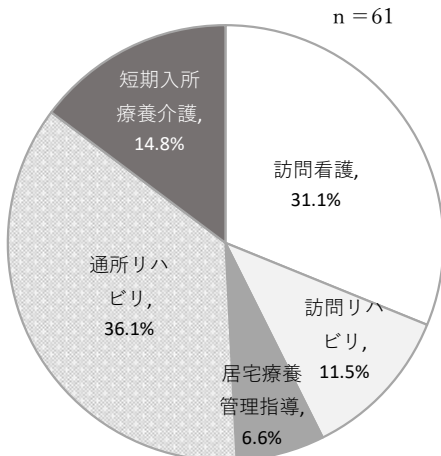
医療系・介護系サービス別



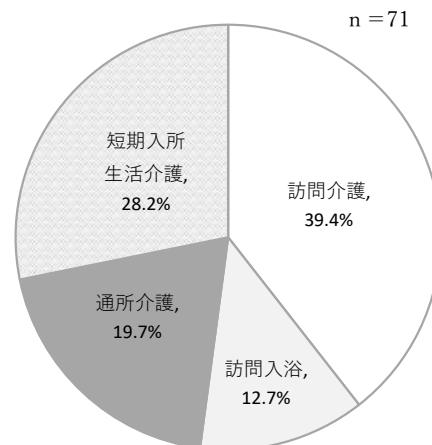
泊り・通所・訪問系サービス別



医療系サービス内訳

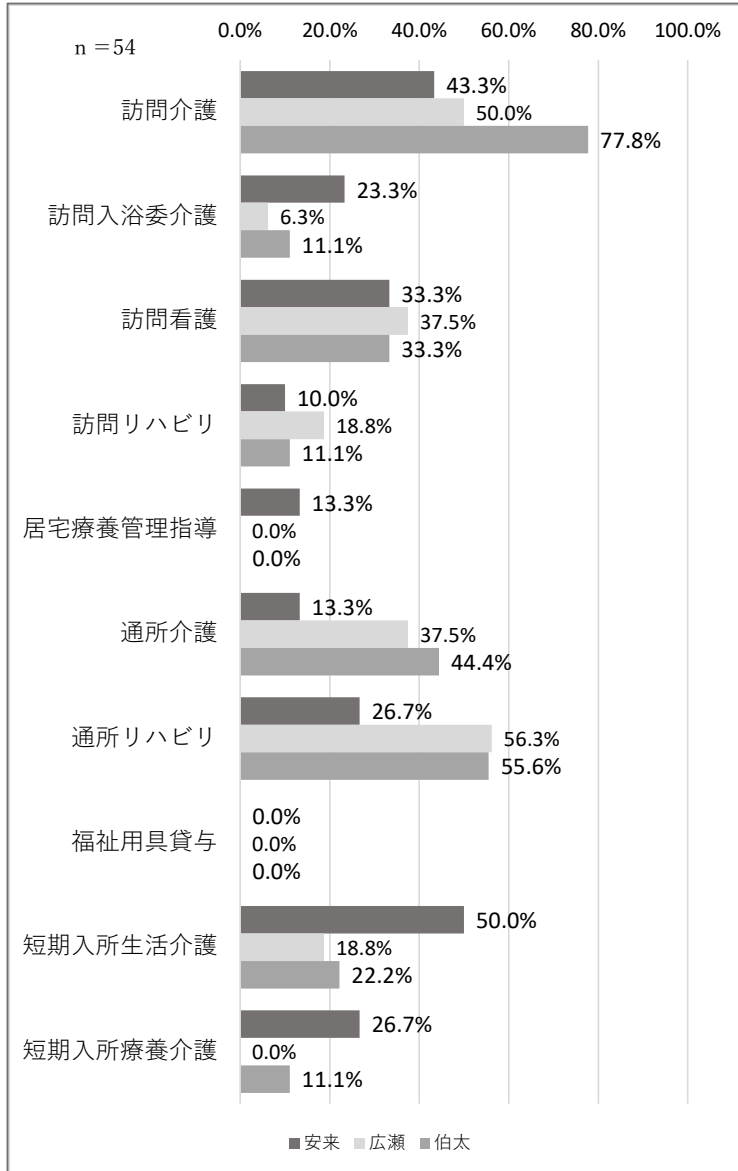


介護系サービス内訳



(10) 所在地別で感じる「利用できなくて困った介護保険サービス」(居宅のみ:複数回答)

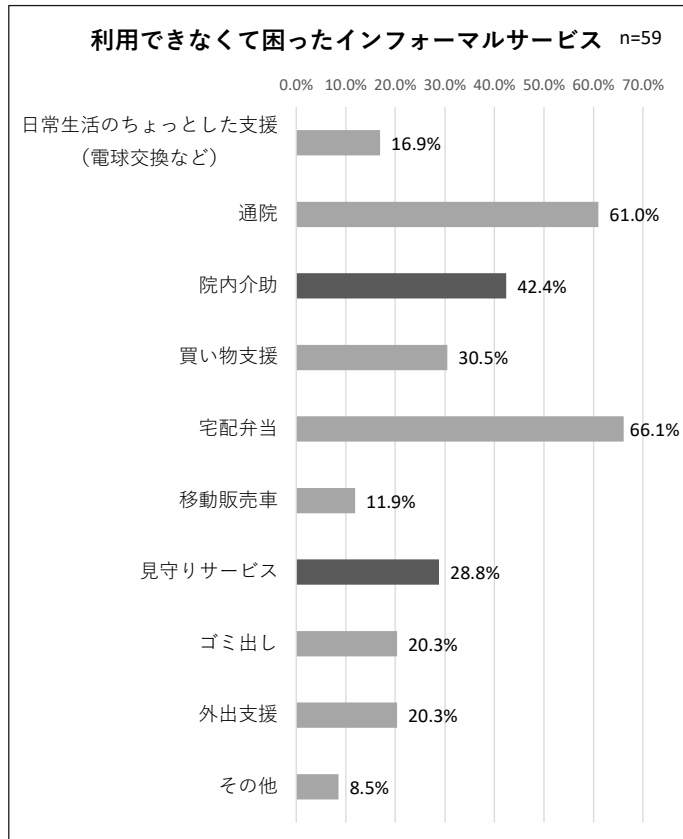
	訪問介護	訪問入浴委介護	訪問看護	訪問リハビリ	居宅療養管理指導	通所介護	通所リハビリ	福祉用具貸与	短期入所生活介護	短期入所療養介護
安来	13	7	10	3	4	4	8	0	15	8
広瀬	7	1	5	3	0	6	8	0	3	0
伯太	7	1	3	1	0	4	5	0	2	1



※割合は、圏域別人数（安来 30 人、広瀬 15 人、伯太 9 人）を母数に計算。

(11) 利用できなくて困った「インフォーマルサービス」

項目	居宅	小規模	合計
日常生活のちょっとした支援 (電球交換など)	10	0	10
通院	34	2	36
院内介助	25	0	25
買い物支援	18	0	18
宅配弁当	36	3	39
移動販売車	6	1	7
見守りサービス	15	2	17
ゴミ出し	11	1	12
外出支援	12	0	12
その他	4	1	5



「通院」「院内介助」といった、今までは家族が担ってきた医療面での支援を代替えできる手段がなく困っているケアマネジャーが半数以上を占める。

「宅配弁当」も、単に「行ってくれる事業所がない」という理由だけに留まらず、「治療食を作ってくれる事業所がない」という回答もみられた。全地区で同様の回答があることから、糖尿病食、心臓病食等在宅で栄養管理が必要となる利用者への対応が必要となることも今後予測される。

(12) 中山間地域で無いために困ったインフォーマルサービスとその理由

- ・宅配弁当は中山間地域は配達しない
- ・交通の便全般
- ・除雪
- ・介護タクシー
- ・話し相手

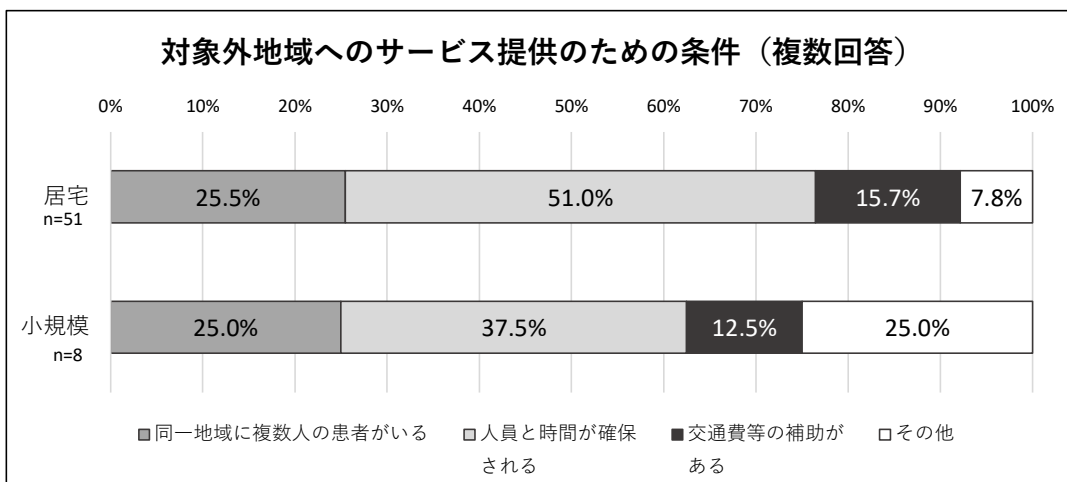
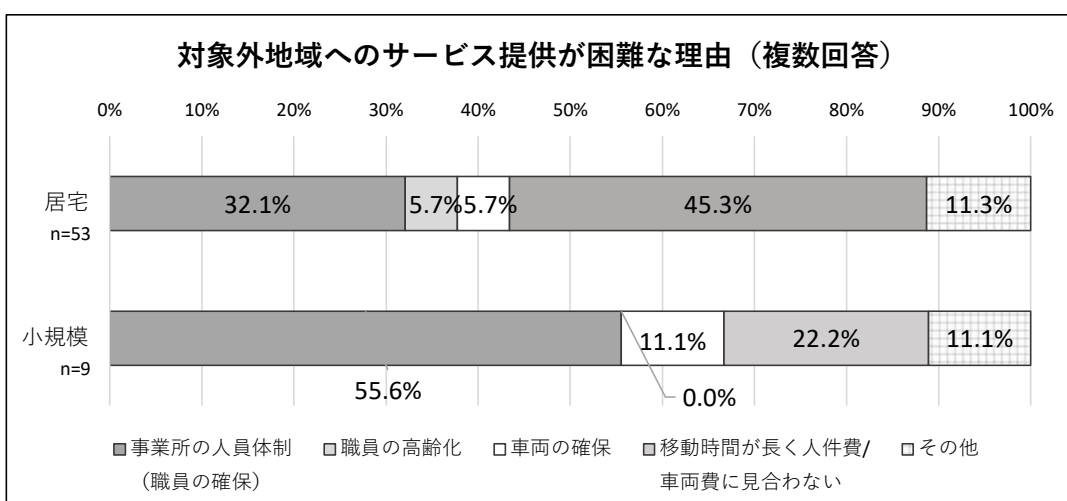
(13)対象外地域へのサービス提供が困難な理由とサービスを提供するための条件(複数回答)

【サービス提供が困難な理由】

理由	居宅	小規模
事業所の人員体制 (職員の確保)	17	5
職員の高齢化	3	0
車両の確保	3	1
移動時間が長く人件費/ 車両費に見合わない	24	2
その他	6	1
合計	53	9

【サービスを提供するための条件】

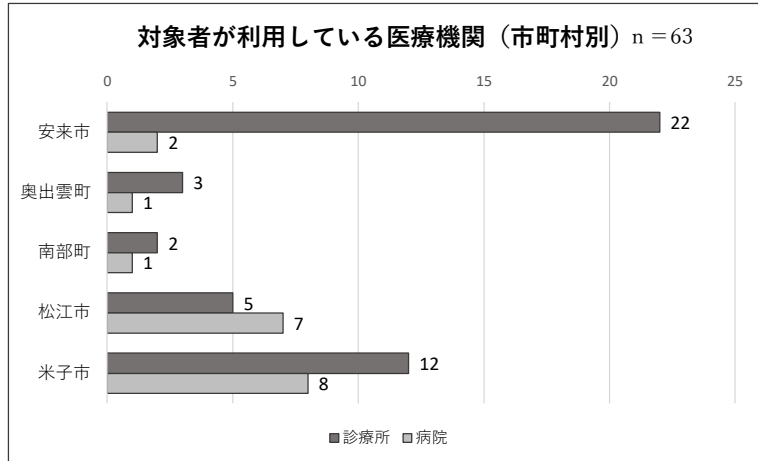
条件	居宅	小規模
同一地域に複数人の 患者がいる	13	2
人員と時間が確保 される	26	3
交通費等の補助が ある	8	1
その他	4	2
合計	51	8



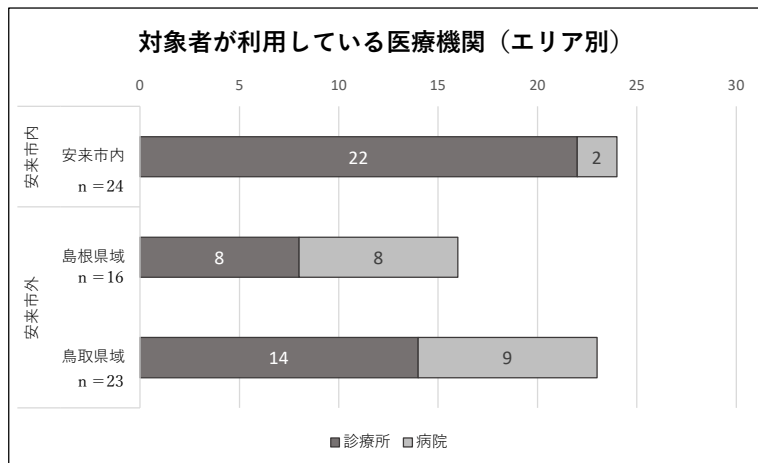
サービス対象外地域とは、サービス提供範囲の回答から、主に「布部」「山佐」「比田」、「井尻」「赤屋」であると考えられる。

(14) 利用している医療機関について

	診療所	病院
安来市	22	2
奥出雲町	3	1
南部町	2	1
松江市	5	7
米子市	12	8
合計	44	19



エリア		診療所	病院
安来市内	安来市内	22	2
安来市外	島根県域	8	8
	鳥取県域	14	9
合計		44	19



安来市内の居宅介護支援事業所、小規模多機能事業所に行ったアンケート調査結果から、約 8 割のケアマネジャーが在宅で医療依存度の高い方をマネジメントしていることがわかった。また、看取り期のマネジメントも約6割が経験しており、ご本人、ご家族が安心して住み慣れた地域で終末期が過ごせるよう市内のケアマネジャーがどのように連携、連絡体制を築き、支援にあたっているかは、今後の地域包括ケアシステムの構築にあたり、さらに検証する必要がある。

一方、介護サービスの種別でマネジメントをするにあたり、利用が出来なくて困ったサービスとして「訪問介護」を挙げるケアマネジャーが多く、特に、伯太・広瀬地域を事業所の所在地として置くケアマネジャーの半数以上が回答するなど南部地域での「訪問介護」の不足は深刻化している。また、ケアマネジャーがサービス提供できる地域も南部地域は少なく、本調査では住民の介護サービスの利用頻度や介護の意向については明らかにしていないが、今後、高齢者世帯や単身高齢者世帯が増加することが予測される中、住民が介護サービスを選択する権利や利用できる権利が制限されることは、住み慣れた地域で暮らすことに支障をきたしていることは憂慮される。

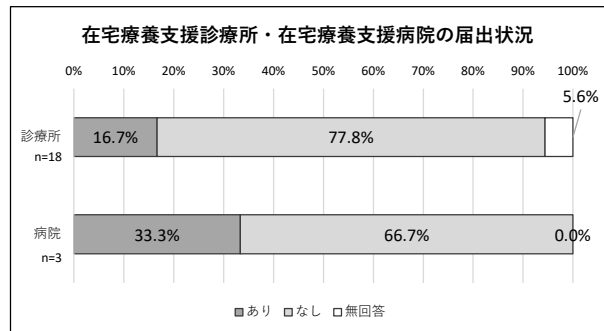
第2章 集計結果

2. 二次調査

(1) 市内医療機関

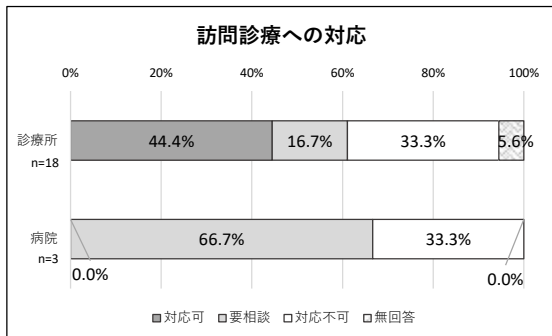
【在宅診療支援診療所・在宅療養支援病院の届け出状況】

	あり	なし	無回答	合計
診療所	3	14	1	18
病院	1	2	0	3



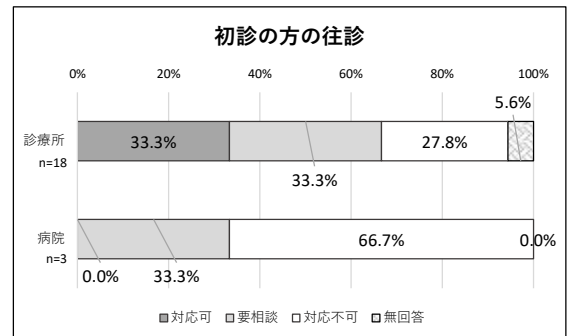
1) 訪問診療

	対応可	要相談	対応不可	無回答	合計
診療所	8	3	6	1	18
病院	0	2	1	0	3



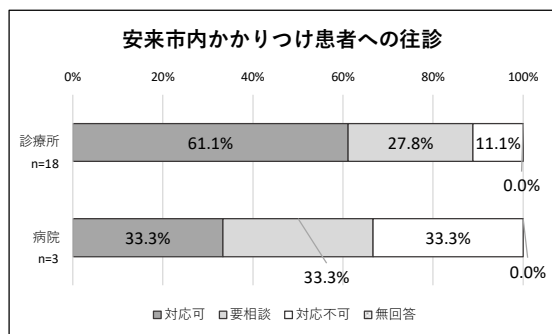
2) 初診の方の往診

	対応可	要相談	対応不可	無回答	合計
診療所	6	6	5	1	18
病院	0	1	2	0	3



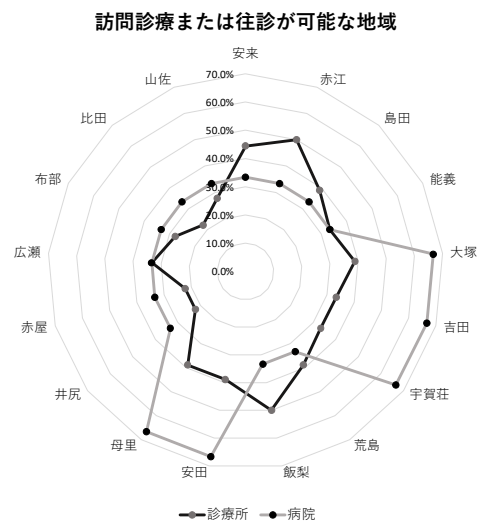
3) 安来市内のかかりつけ患者への往診

	対応可	要相談	対応不可	無回答	合計
診療所	11	5	2	0	18
病院	1	1	1	0	3



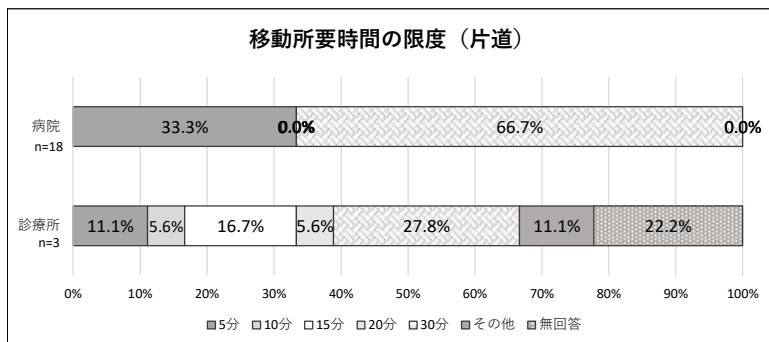
4) 訪問診療または往診が可能な地域(複数回答)

地区	診療所	病院	合計	地区	診療所	病院	合計
安来	8	1	9	安田	7	2	9
赤江	9	1	10	母里	7	2	9
島田	7	1	8	井尻	4	1	5
能義	6	1	7	赤屋	4	1	5
大塚	7	2	9	広瀬	6	1	7
吉田	6	2	8	布部	5	1	6
宇賀荘	6	2	8	比田	4	1	5
荒島	7	1	8	山佐	5	1	6
飯梨	9	1	10				



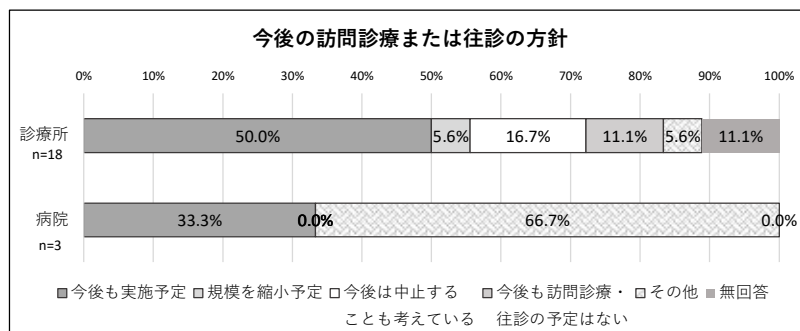
5) 訪問診療または往診の移動所要時間の限度(片道)

	5分	10分	15分	20分	30分	その他	無回答	合計
診療所	2	1	3	1	5	2	4	18
病院	1	0	0	0	2	0	0	3



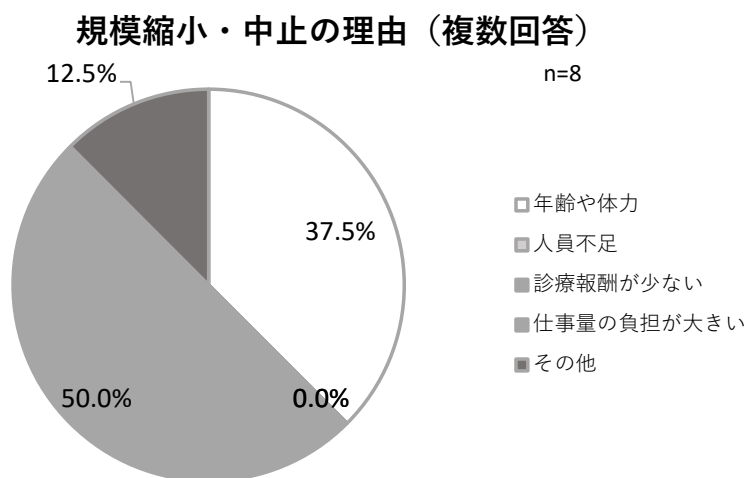
6) 今後の訪問診療または往診の方針

	診療所	病院
今後も実施予定	9	1
規模を縮小予定	1	0
今後は中止することも考えている	3	0
今後も訪問診療・往診の予定はない	2	0
その他	1	2
無回答	2	0
合計	18	3



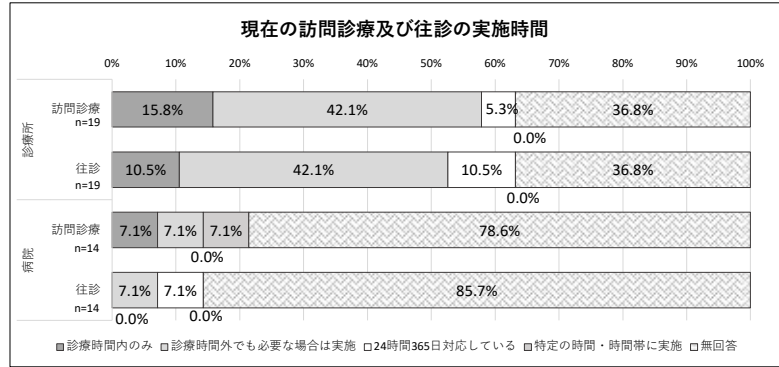
7) 訪問診療または往診の規模縮小・中止の理由(複数回答)

理由	人数
年齢や体力	3
人員不足	0
診療報酬が少ない	0
仕事量の負担が大きい	4
その他	1
合計	8



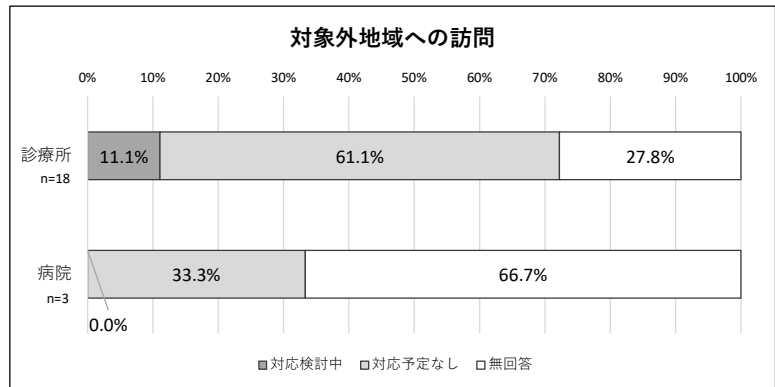
8) 現在の訪問診療及び往診の実施時間

	診療所		病院	
	訪問診療	往診	訪問診療	往診
診療時間内のみ	4	3	1	1
診療時間外でも必要な場合は実施	1	5	0	0
24時間365日対応している	0	0	1	1
特定の時間・時間帯に実施	8	4	0	0
無回答	5	6	1	1
合計	18	18	3	3



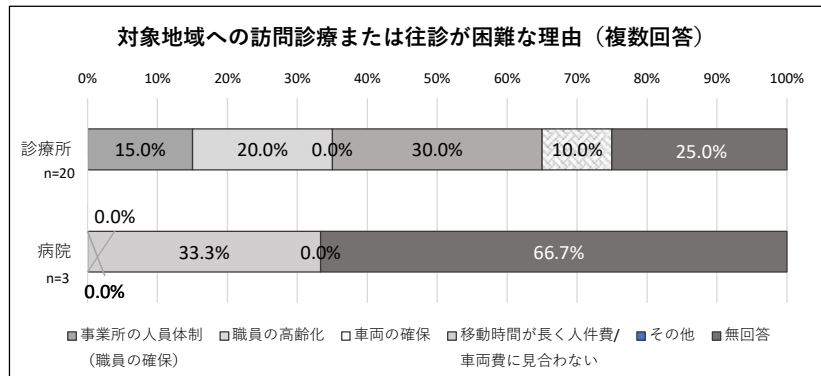
9) 対象外地域への訪問

	診療所	病院
対応検討中	2	0
対応予定なし	11	1
無回答	5	2
合計	18	3



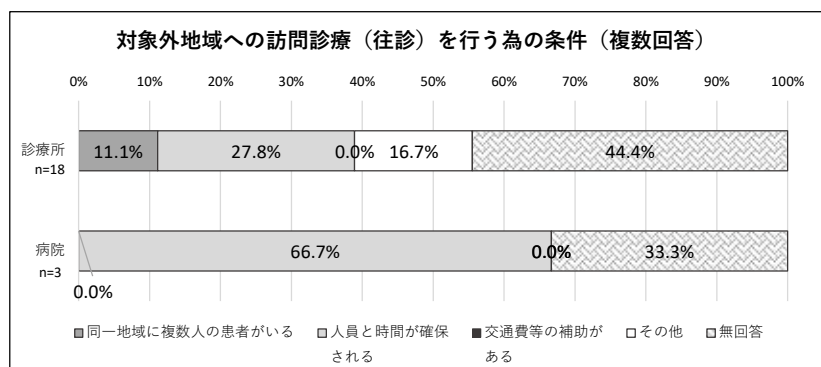
10) 対象外地域への訪問診療または往診が困難な理由(複数回答)

	診療所	病院
事業所の人員体制(職員の確保)	3	0
職員の高齢化	4	0
車両の確保	0	0
移動時間が長く人件費/車両費に見合わない	6	1
その他	2	0
無回答	5	2
合計	20	3



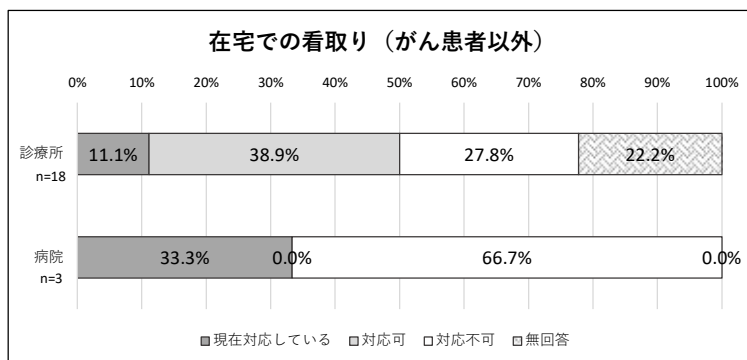
11) 対象外地域への訪問診療(往診)を行う為の条件(複数回答)

	診療所	病院
同一地域に複数人の患者がいる	2	0
人員と時間が確保される	5	2
交通費等の補助がある	0	0
その他	3	0
無回答	8	1
合計	18	3



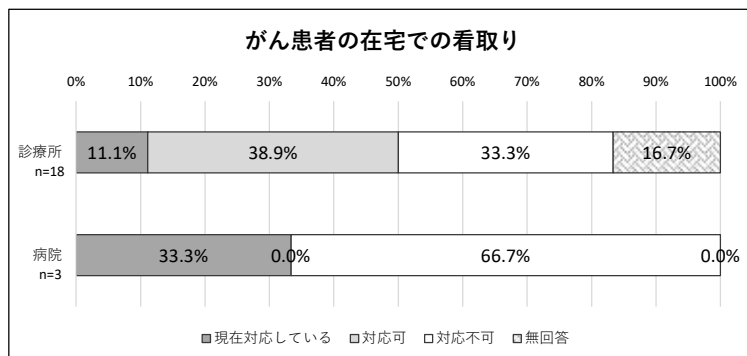
12) 在宅での看取り(がん患者以外)

	診療所	病院
現在対応している	2	1
対応可	7	0
対応不可	5	2
無回答	4	0
合計	18	3



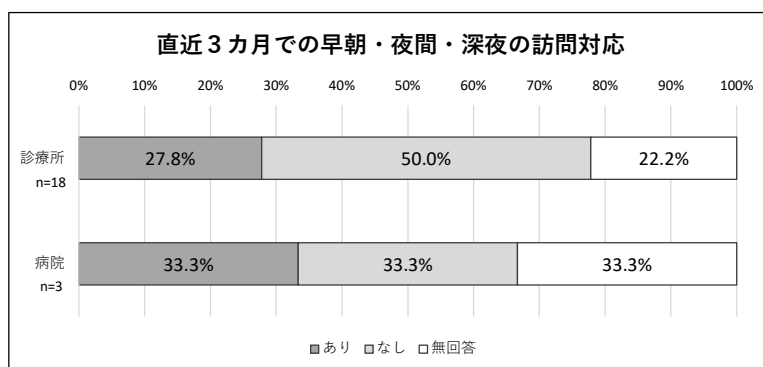
13) がん患者の在宅での看取り

	診療所	病院
現在対応している	2	1
対応可	7	0
対応不可	6	2
無回答	3	0
合計	18	3



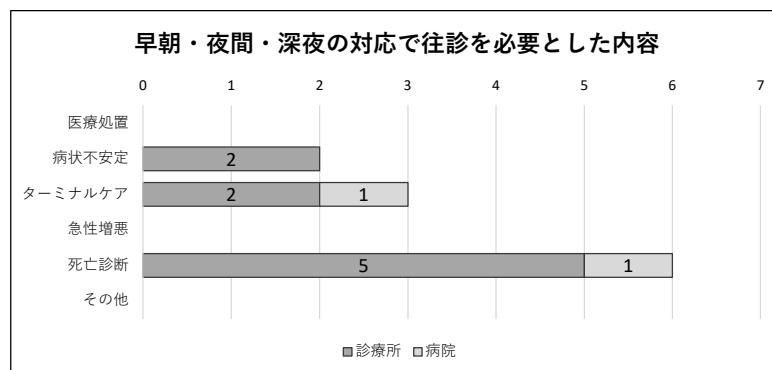
14) 直近3カ月での早朝・夜間・深夜の訪問対応

	診療所	病院
あり	5	1
なし	9	1
無回答	4	1
合計	18	3



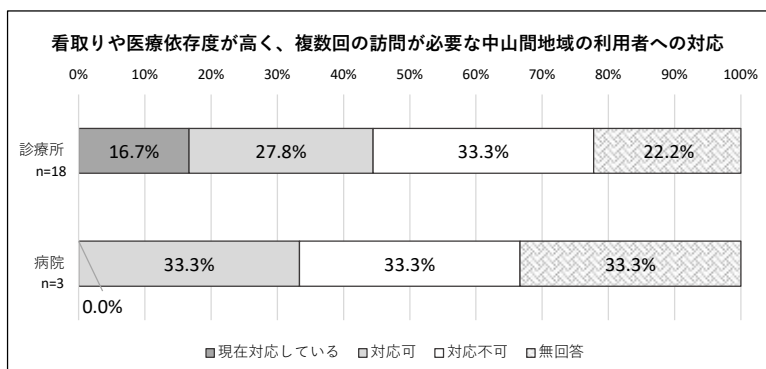
15) 直近3カ月で早朝・夜間・深夜の対応で往診を必要とした内容(複数回答)

	診療所	病院
医療処置	0	0
病状不安定	2	0
ターミナルケア	2	1
急性増悪	0	0
死亡診断	5	1
その他	0	0
合計	9	2



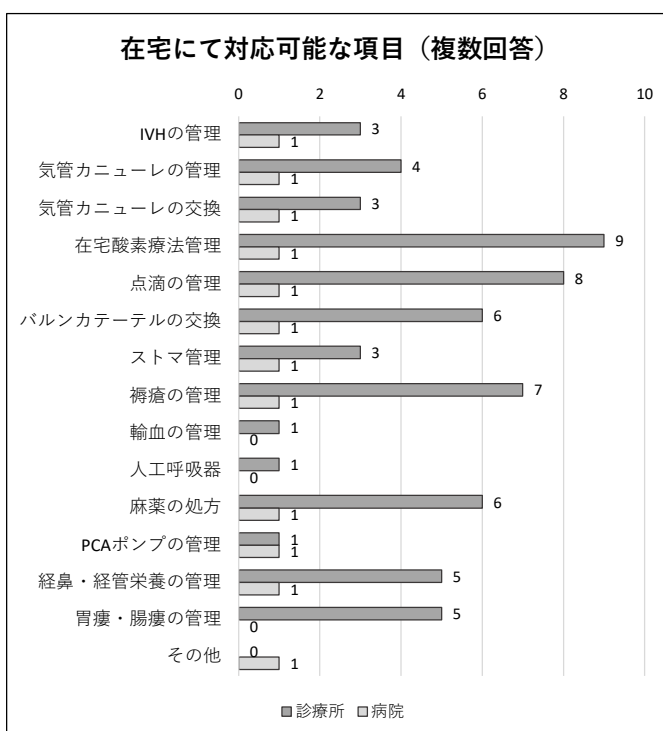
16) 看取りや医療依存度が高く、複数回の訪問を必要とする中山間地域の利用者へのサービス提供

	診療所	病院
現在対応している	3	0
対応可	5	1
対応不可	6	1
無回答	4	1
合計	18	3



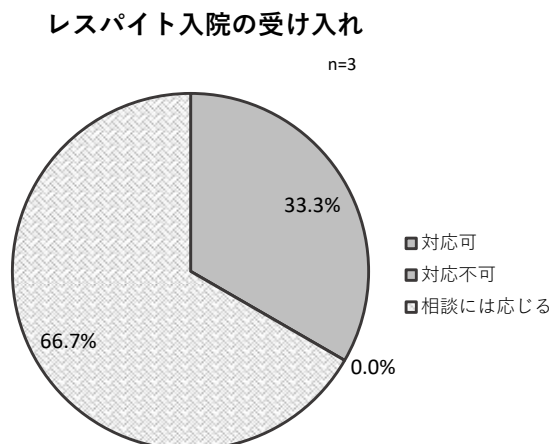
17) 在宅にて対応可能な項目（複数回答）

	診療所	病院
IVHの管理	3	1
気管カニューレの管理	4	1
気管カニューレの交換	3	1
在宅酸素療法管理	9	1
点滴の管理	8	1
バルンカテーテルの交換	6	1
ストマ管理	3	1
褥瘡の管理	7	1
輸血の管理	1	0
人工呼吸器	1	0
麻薬の処方	6	1
PCAポンプの管理	1	1
経鼻・経管栄養の管理	5	1
胃瘻・腸瘻の管理	5	0
その他	0	1



18) レスパイト入院の受け入れ(病院のみ)

	件数
対応可	1
対応不可	0
相談には応じる	2
合計	3



19) 安来市の医療・介護サービスについて(自由記述)

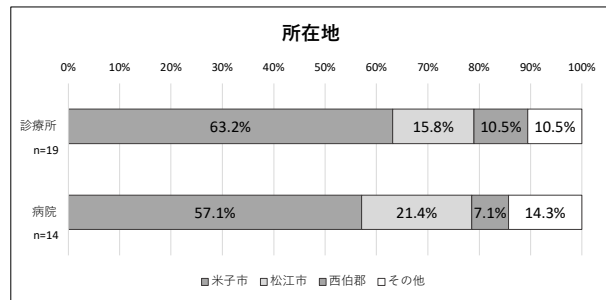
- ・南部地域の医療サービスの充実を検討しているところである。
- ・安来市では内科開業医の高齢化のため、開業医に頼るのは困難になるのではないかと懸念されている。
- ・有床診療所ではありますが余り認知されていないのが残念です。ご利用ください。
- ・調査結果の利用範囲は実施調査に限定してください。二次利用は出来ません。
- ・交通手段(イエローバスを充実してほしい)。通院困難な方が多いです。
- ・安来市として、今後の周産期医療サービスをどのような方向で進めていくのかをお聞きしたいと考えております。その上で、連携を強め、お互いのメリットとなる形をつくることができれば幸いです。
- ・当院は唯一の周産期医療施設として、安来市で出産できる環境を守ることを念頭に診療を行ってまいりましたが、少子化をはじめとする近年の様々な問題や、さらにはコロナ渦により、過酷な状況に置かれています。少子化による人口減少は今だけの問題ではなく、私たちの子どもや孫、さらにはその先を生きる人々に重くのしかかります。出生数の減少を抑え、若い人のIターンやUターンの促進にもつながるような形を考えなければなりません。どのような形で地域に貢献できるかを考えたとき、全国の似たような地域の実践例を参考に、新たに「安来方式」を作っていくことの必要性を感じました。オープンシステム、セミオープンシステム、院内・院外助産所、山梨市立産婦人科医院、高石市母子健康センター(助産所)などは参考になると考えます。「経済の発展に必要なのは出産である」と説く専門家もいます。高齢者だけではなく、妊娠や出産を望む市民の目線で、またそのような若い人々が安来に住みたいと思うような医療サービスが提供されるよう、市の政策として実行していただけることを切に願います。
- ・往診や訪問診療は、緊急時以外は当院の診療時間外でしています。他訪問看護、訪問リハビリの対応もしています。

かかりつけ医であれば、訪問診療、往診等の実施はほとんどの医療機関が可能であると回答している。また、在宅看取りについては、「現在対応している」、「対応可」と答えた医療機関が約半数となっている。一方、業務量の負担、年齢や体力から、今後、訪問診療、往診等の中止や縮小を考えている医療機関もある。又、自由記述にもあるように内科開業医の高齢化という課題もある。

(2) 市外医療機関

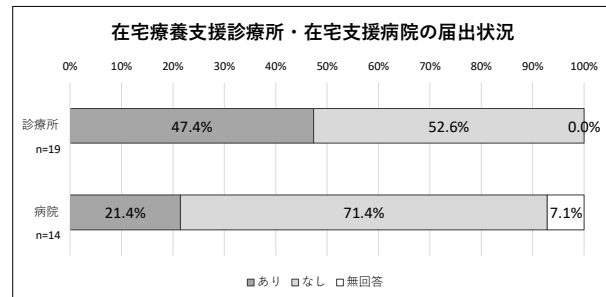
【医療機関の所在地】

	米子市	松江市	西伯郡	その他	合計
診療所	12	3	2	2	19
病院	8	3	1	2	14



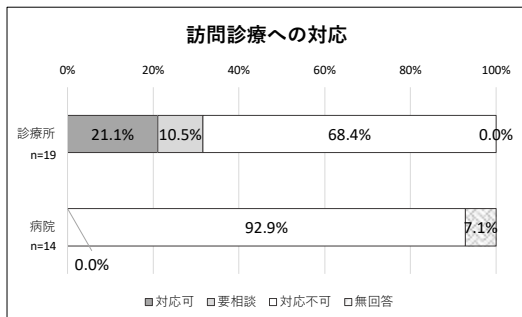
【在宅診療支援診療所・在宅療養支援病院の届け出状況】

	あり	なし	無回答	合計
診療所	9	10	0	19
病院	3	10	1	14



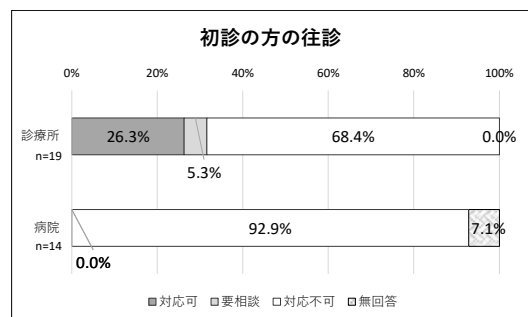
1) 安来市内への訪問診療

	対応可	要相談	対応不可	無回答	合計
診療所	4	2	13	0	19
病院	0	0	13	1	14



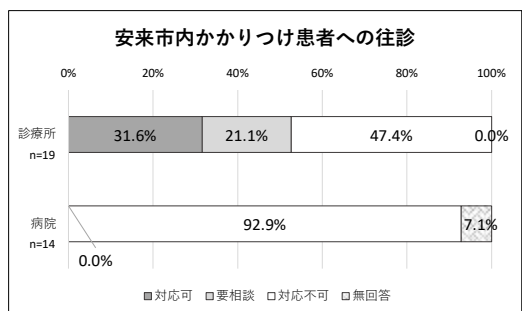
2) 安来市内の初診の方の往診

	対応可	要相談	対応不可	無回答	合計
診療所	5	1	13	0	19
病院	0	0	13	1	14



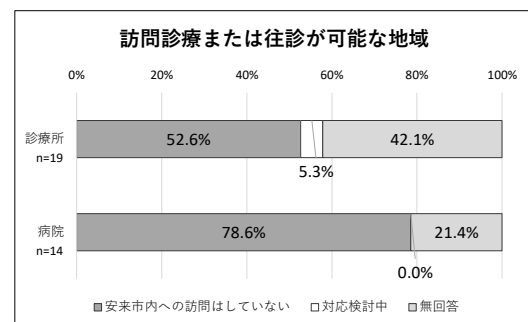
3) 安来市内のかかりつけ患者への往診

	対応可	要相談	対応不可	無回答	合計
診療所	6	4	9	0	19
病院	0	0	13	1	14



4) 訪問診療または往診が可能な地域

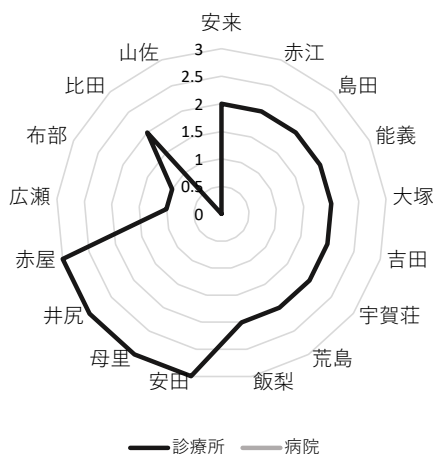
	安来市内への訪問はしていない	対応検討中	無回答	合計
診療所	10	1	8	19
病院	11	0	3	14



4-1) 安来市内に訪問診療または、往診はしていないがするとしたら可能な地域（複数回答）

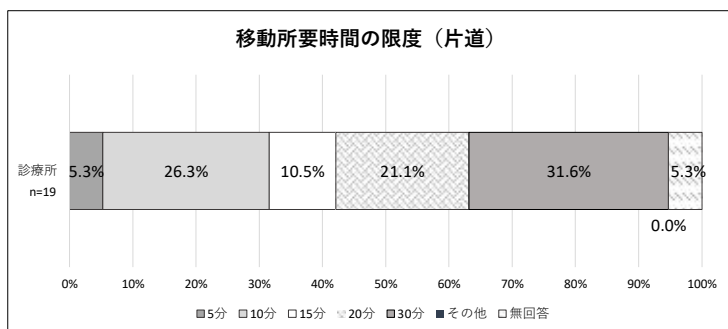
地区	診療所	病院	地区	診療所	病院
安来	2	0	安田	3	0
赤江	2	0	母里	3	0
島田	2	0	井尻	3	0
能義	2	0	赤屋	3	0
大塚	2	0	広瀬	1	0
吉田	2	0	布部	1	0
宇賀荘	2	0	比田	2	0
荒島	2	0	山佐	0	0
飯梨	2	0			

訪問診療または往診可能地域



5) 訪問診療または往診の移動所要時間の限度(片道)

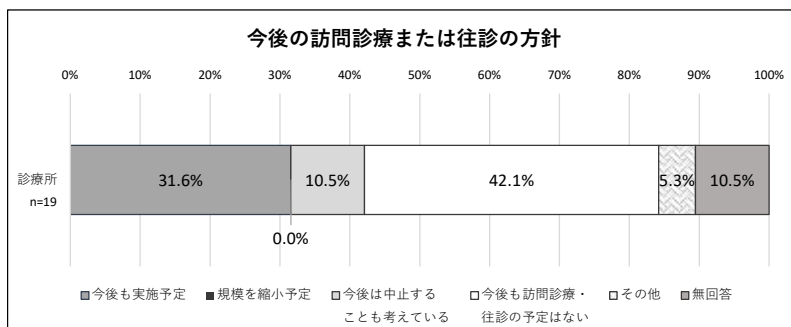
	5分	10分	15分	20分	30分	その他	無回答	合計
診療所	1	5	2	4	6	0	1	19
病院	0	0	0	0	0	0	0	0



※病院は安来市内に往診しておらず、診療所のみ記載。

6) 今後の訪問診療または往診の方針

	診療所	病院
今後も実施予定	6	0
規模を縮小予定	0	0
今後は中止することも考えている	2	0
今後も訪問診療・往診の予定はない	8	0
その他	1	0
無回答	2	0
合計	19	0

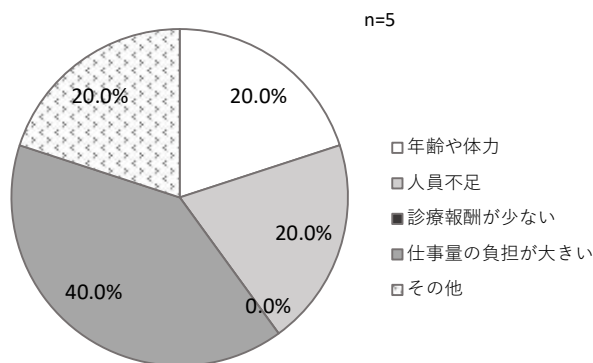


※病院は現在安来市内に往診しておらず、診療所のみ記載。

7) 訪問診療または往診の規模縮小・中止の理由(複数回答)

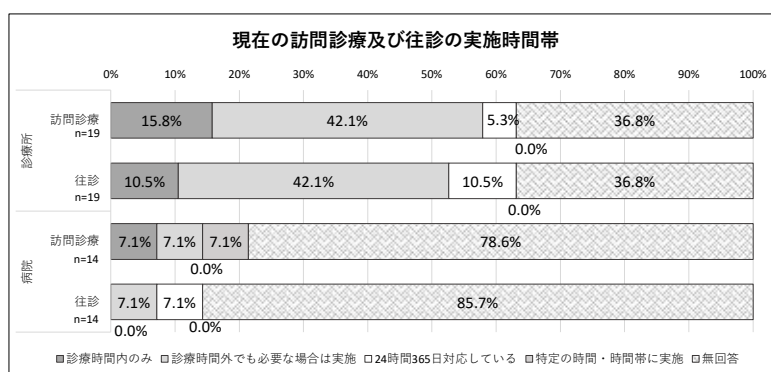
理由	人数
年齢や体力	1
人員不足	1
診療報酬が少ない	0
仕事量の負担が大きい	2
その他	1
合計	5

規模縮小・中止の理由 (複数回答)



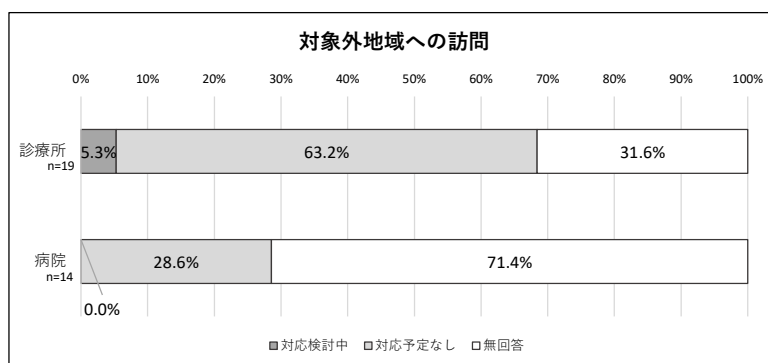
8) 現在の訪問診療及び往診の実施時間

	診療所		病院	
	訪問診療	往診	訪問診療	往診
診療時間内のみ	3	2	1	0
診療時間外でも必要な場合は実施	8	8	1	1
24時間365日対応している	1	2	0	1
特定の時間・時間帯に実施	0	0	1	0
無回答	7	7	11	12
合計	19	19	14	14



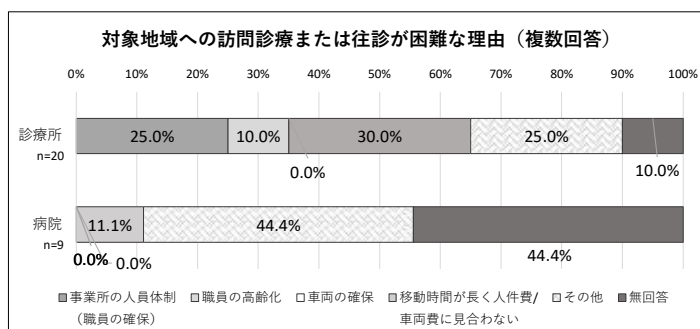
9) 対象外地域への訪問

	診療所	病院
対応検討中	1	0
対応予定なし	12	4
無回答	6	10
合計	19	14



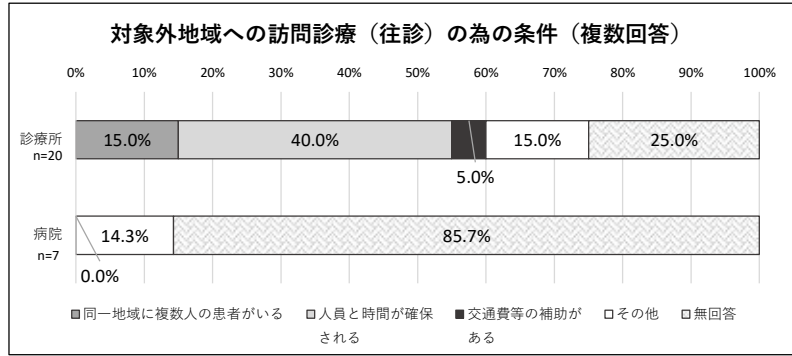
10) 対象外地域への訪問診療または往診が困難な理由(複数回答)

	診療所	病院
事業所の人員体制 (職員の確保)	5	0
職員の高齢化	2	0
車両の確保	0	0
移動時間が長く人件費/車両費に見合わない	6	1
その他	5	4
無回答	2	4
合計	20	9



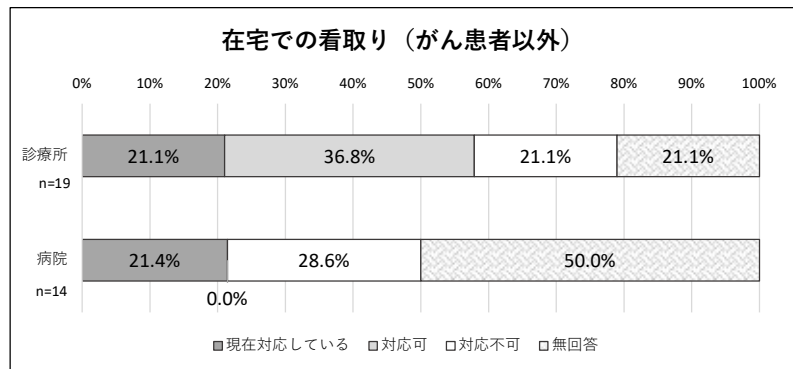
11) 対象外地域への訪問診療(往診)を行う為の条件 (複数回答)

	診療所	病院
同一地域に複数人の患者がいる	3	0
人員と時間が確保される	8	0
交通費等の補助がある	1	0
その他	3	1
無回答	5	6
合計	20	7



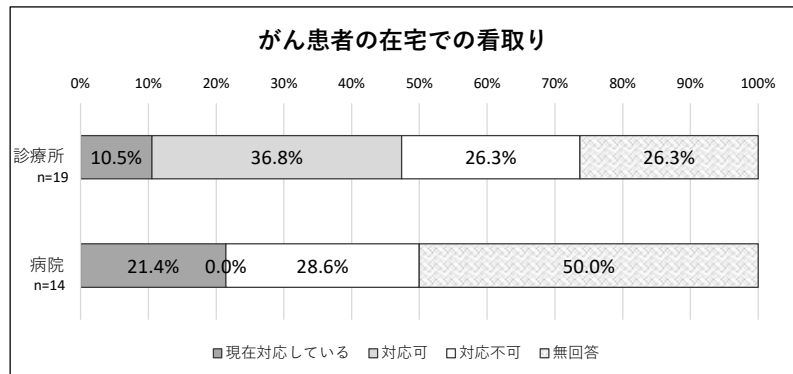
12) 在宅での看取り(がん患者以外)

	診療所	病院
現在対応している	4	3
対応可	7	0
対応不可	4	4
無回答	4	7
合計	19	14



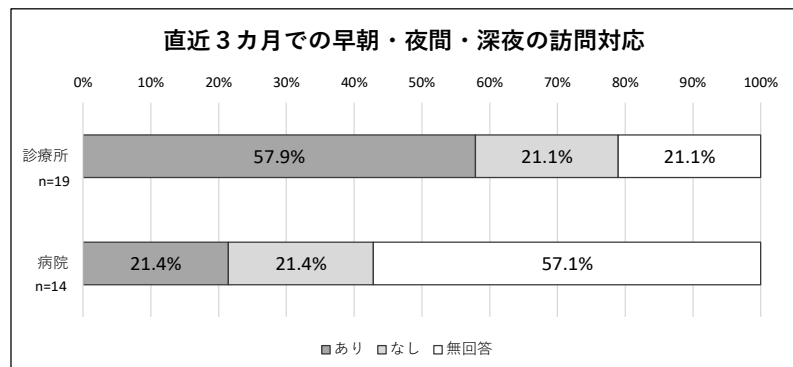
13) がん患者の在宅での看取り

	診療所	病院
現在対応している	2	3
対応可	7	0
対応不可	5	4
無回答	5	7
合計	19	14



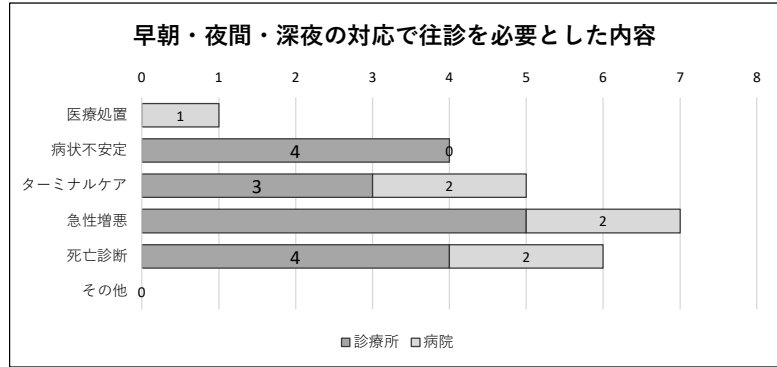
14) 直近3カ月での早朝・夜間・深夜の訪問対応

	診療所	病院
あり	11	3
なし	4	3
無回答	4	8
合計	19	14



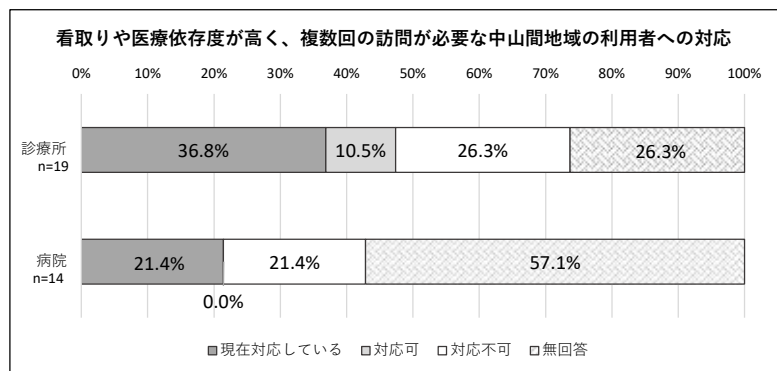
15) 直近 3 カ月で早朝・夜間・深夜の対応で往診を必要とした内容（複数回答）

	診療所	病院
医療処置	0	1
病状不安定	4	0
ターミナルケア	3	2
急性増悪	5	2
死亡診断	4	2
その他	0	0
合計	16	7



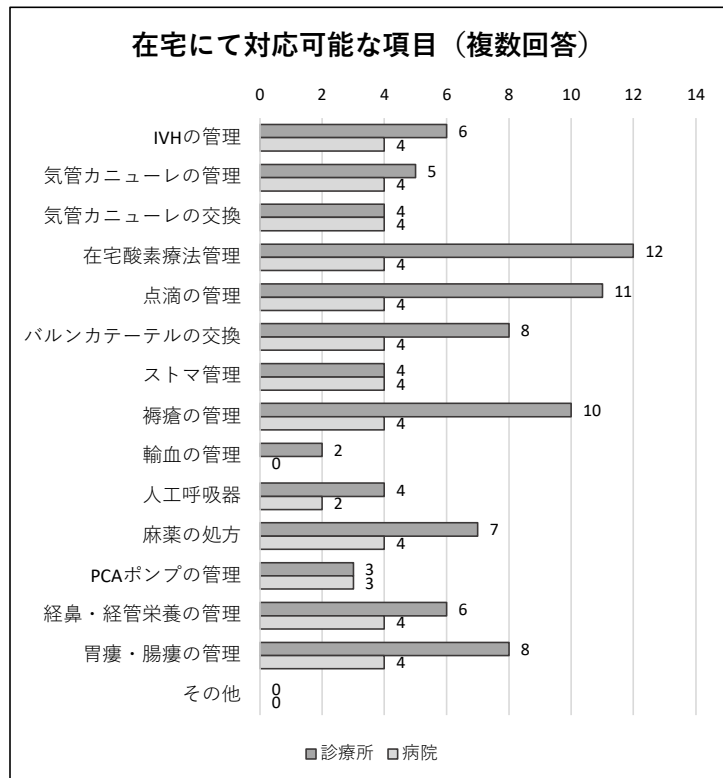
16) 看取りや医療依存度が高く、複数回の訪問を必要とする中山間地域の利用者へのサービス提供

	診療所	病院
現在対応している	7	3
対応可	2	0
対応不可	5	3
無回答	5	8
合計	19	14



17) 在宅にて対応可能な項目（複数回答）

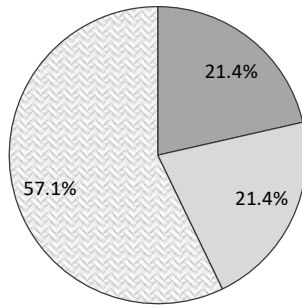
	診療所	病院
IVHの管理	6	4
気管カニューレの管理	5	4
気管カニューレの交換	4	4
在宅酸素療法管理	12	4
点滴の管理	11	4
バルンカテーテルの交換	8	4
ストマ管理	4	4
褥瘡の管理	10	4
輸血の管理	2	0
人工呼吸器	4	2
麻薬の処方	7	4
PCAポンプの管理	3	3
経鼻・経管栄養の管理	6	4
胃瘻・腸瘻の管理	8	4
その他	0	0



18) レスパイト入院の受け入れ(病院のみ)

	件数
対応可	3
対応不可	8
相談には応じる	3
合計	14

レスパイト入院の受け入れ n=14



■現在対応している □相談には応じる □対応していない

【対応不可の理由】

- ・急性期病院の為対応は困難
- ・高度急性期急性期病床の届を行っている
- ・雲南市の方中心に対応している
- ・積極的な受け入れはしていない
- ・回復期リハビリテーション病棟のみであるため
- ・病院の体制として受け入れ困難なため

19) 安来市の医療・介護サービスについて(自由記述)

- ・入院を把握されたら、ケアマネの情報をいただきたいです。
- ・山間、へき地の医療機関、介護サービス事業所の配置、所在地が、一目でわかる資料があれば、便利だと思いますが、どうでしょうか？
- ・訪問対応はなかなか難しい現状があります。
- ・同法人の診療所を今後(在宅医療として)サテライトとして運用出来ないかと検討中である。
- ・呼吸器の受け入れをしてほしい。
- ・訪問看護が少ない。
- ・サービス付き高齢者住宅が少ない。
- ・訪問診療の情報が少なく、どこで看取りをしてもらえるか。
- ・東出雲町と隣接している荒島町からも患者さんが来ていただいております、もし訪問診療の要望があれば応じる予定です。ただ多数の施設の訪問診療を担当していますので、これ以上の訪問診療を行うには負担感があります。
- ・安来市に診療対応してくださる診療所、土日の定期訪問、緊急対応可能な訪問看護ステーション、ヘルパーステーション、訪問して下さる薬局ができることを願います。

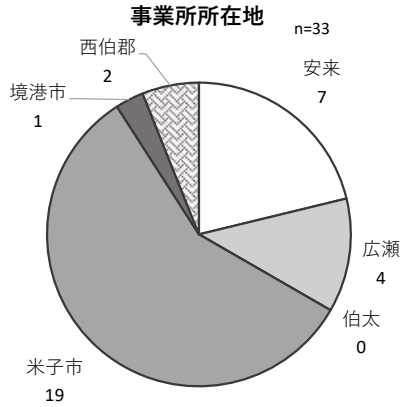
市外の病院については、そもそも訪問診療を行っていない医療機関が殆どであった。また今後も安来市への訪問診療を行っていく予定はないとの結果が得られた。

市外の診療所は、安来市への訪問診療が可能であると回答した診療所は4件の回答があったが、一方で対象外地域への訪問診療(往診)についての条件として、人員と時間の確保、同一地域に複数人患者がいることを挙げている。

(3) 薬局 (市内・市外)

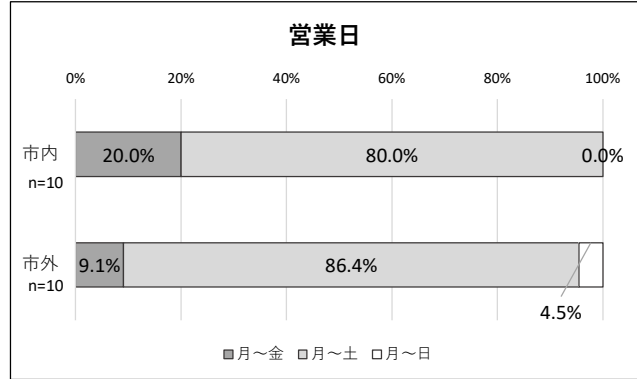
【事業所所在地】

市内			市外			合計
安来	広瀬	伯太	米子市	境港市	西伯郡	
7	4	0	19	1	2	33



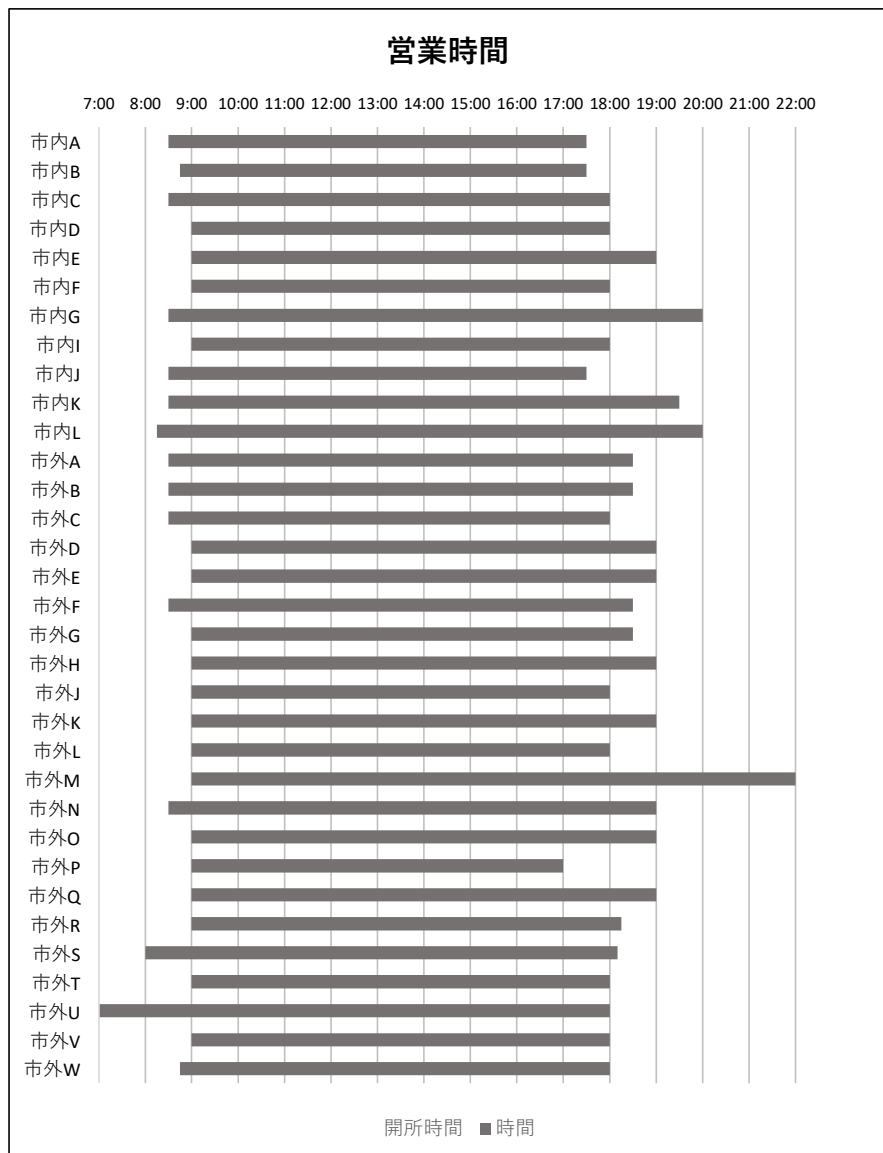
【営業日】

	月～金	月～土	月～日
市外	2	19	1
市内	2	8	0



【営業時間】

NO	事業所	営業時間
1	市内A	8:30~17:30
2	市内B	8:45~17:30
3	市内C	8:30~18:00
4	市内D	9:00~18:00
5	市内E	9:00~19:00
6	市内F	9:00~18:00
7	市内G	8:30~20:00
8	市内I	9:00~18:00
9	市内J	8:30~17:30
10	市内K	8:30~19:30
11	市内L	8:15~20:00
12	市外A	8:30~18:30
13	市外B	8:30~18:30
14	市外C	8:30~18:00
15	市外D	9:00~19:00
16	市外E	9:00~19:00
17	市外F	8:30~18:30
18	市外G	9:00~18:30
19	市外H	9:00~19:00
20	市外J	9:00~18:00
21	市外K	9:00~19:00
22	市外L	9:00~18:00
23	市外M	9:00~22:00
24	市外N	8:30~19:00
25	市外O	9:00~19:00
26	市外P	9:00~17:00
27	市外Q	9:00~19:00
28	市外R	9:00~18:15
29	市外S	8:00~18:10
30	市外T	9:00~18:00
31	市外U	7:00~18:00
32	市外V	9:00~18:00
33	市外W	8:45~18:00



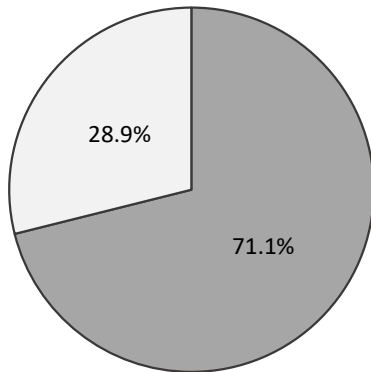
【鳥取県西部地区の薬局への一次アンケート】

■安来市内の患者を担当しているか

	はい	いいえ	合計
回答数	59	24	83

安来市の患者を担当している

n=83



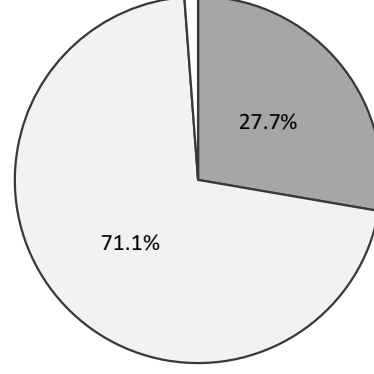
■はい □いいえ

■安来市内の患者の訪問ができるか

	はい	いいえ	未回答	合計
回答数	23	59	1	83

安来市内の患者の訪問ができる

n=83



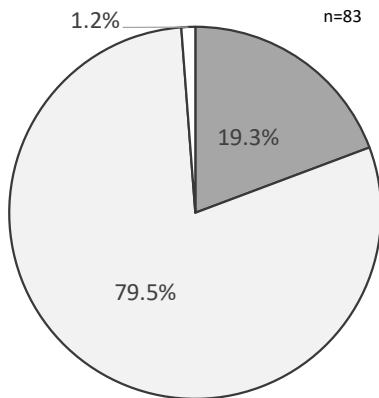
■はい □いいえ □未回答

■安来市内の患者の看取りに関わるか

	はい	いいえ	未回答	合計
回答数	16	66	1	83

安来市内の患者の看取りに関わるか

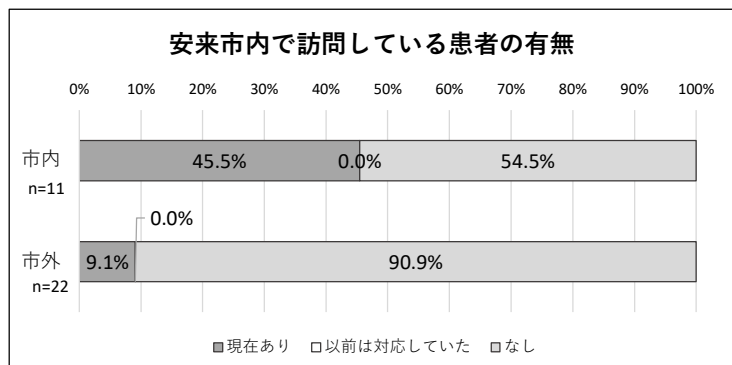
n=83



■はい □いいえ □未回答

1) 安来市内で訪問している患者の有無

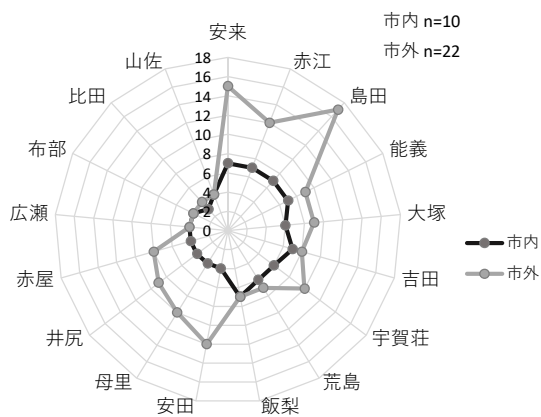
	市内	市外
現在あり	5	2
以前は対応していた	0	0
なし	6	20
合計	11	22



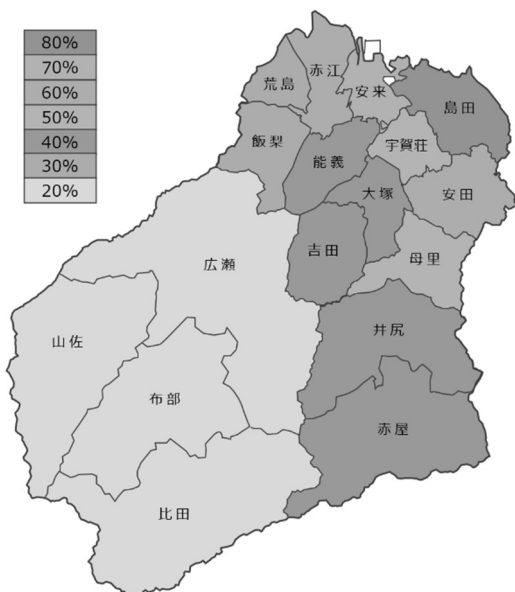
2) サービス提供が可能な地域

地区	市内	市外	地区	市内	市外
安来	7	15	安田	4	12
赤江	7	12	母里	4	10
島田	7	17	井尻	4	9
能義	7	9	赤屋	4	8
大塚	6	9	広瀬	4	4
吉田	7	8	布部	4	4
宇賀荘	6	10	比田	3	4
荒島	6	7	山佐	4	4
飯梨	7	7			

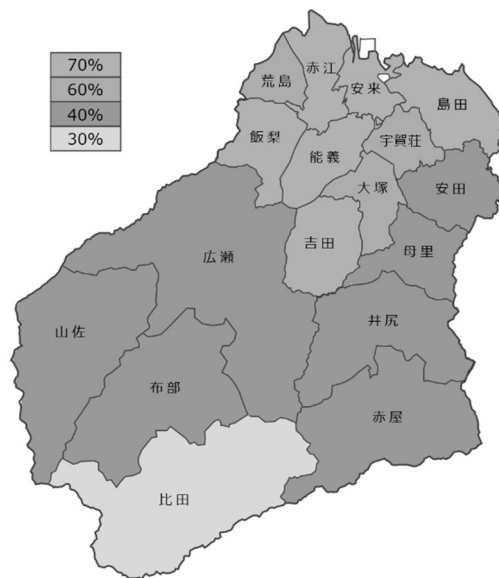
サービス提供が可能な地域



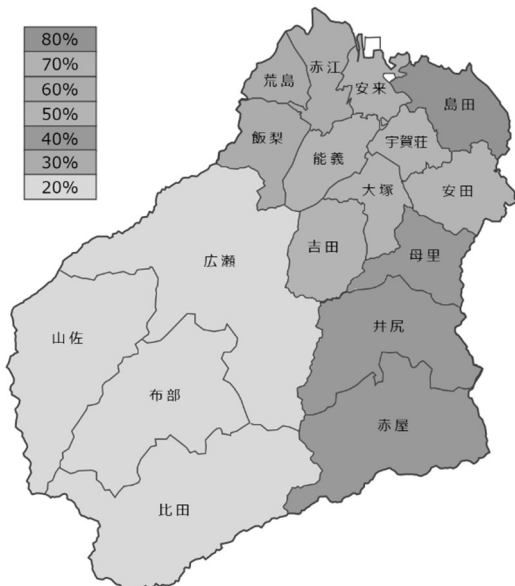
安来市内薬局が訪問可能とした地域 (n=10)



安来市外薬局が訪問可能とした地域 (n=22)

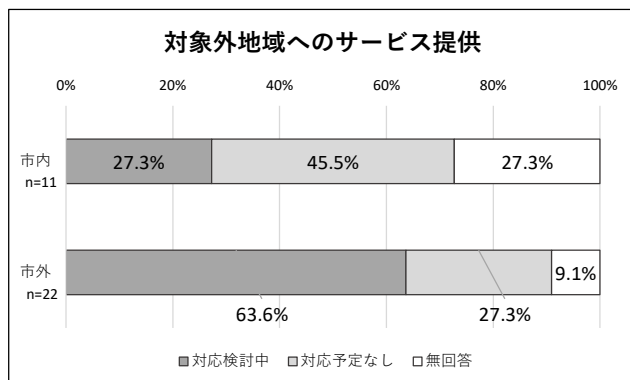


調査全薬局が訪問可能とした地域 (n=33)



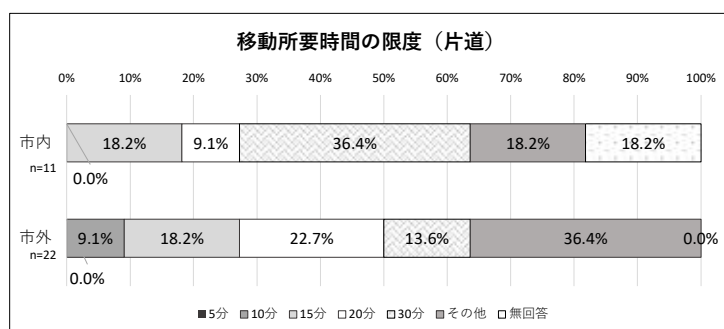
3) 対象外地域へのサービス提供

	対応検討中	対応予定なし	無回答	合計
市内	3	5	3	11
市外	14	6	2	22



4) 薬局～患者宅の移動所要時間の限度(片道)

	5分	10分	15分	20分	30分	その他	無回答	合計
市内	0	0	2	1	4	2	2	11
市外	0	2	4	5	3	8	0	22

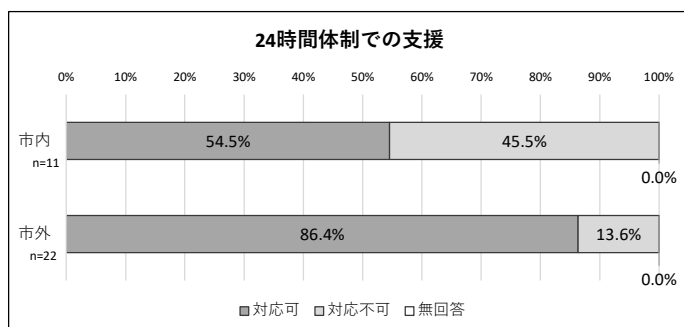


5) 24 時間体制での支援

	市内	市外
対応可	6	19
対応不可	5	3
無回答	0	0
合計	11	22

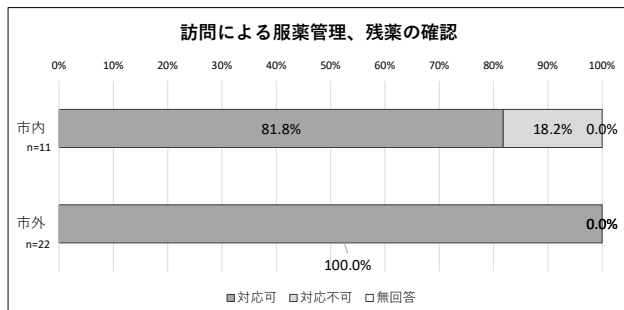
【対応不可の理由】

- ・人員不足の為。
- ・営業時間外となるため。



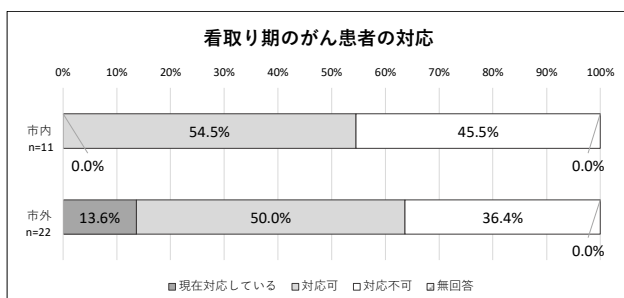
6) 訪問による服薬管理、残薬の確認

	市内	市外
対応可	9	22
対応不可	2	0
無回答	0	0
合計	11	22



7) 看取り期のがん患者の対応

	市内	市外
現在対応している	0	3
対応可	6	11
対応不可	5	8
無回答	0	0
合計	11	22

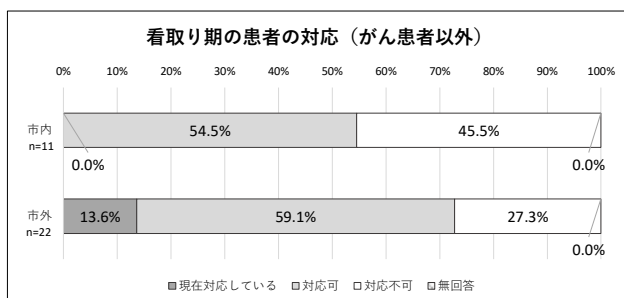


【対応不可の理由】

- ・人員・時間が確保できない。
- ・距離があり、緊急時の素早い対応ができないため。
- ・安来市内訪問片道 30 分以上の為。
- ・休日・夜間の対応が難しい。
- ・夜間の麻薬調剤に不安がある。
- ・無菌設備を所有していないため。
- ・曜日と時間が限定されるため。

8) 看取り期の患者の対応(がん患者以外)

	市内	市外
現在対応している	0	3
対応可	6	13
対応不可	5	6
無回答	0	0
合計	11	22

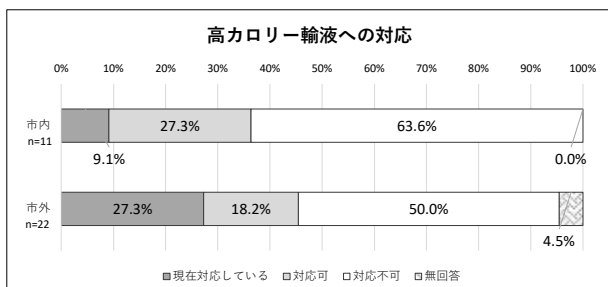


【対応不可の理由】

- ・人員・時間が確保できない。
- ・距離があり、緊急時の素早い対応ができないため。
- ・安来市内訪問片道 30 分以上の為。
- ・休日・夜間の対応が難しい。
- ・夜間の麻薬調剤に不安がある。
- ・曜日と時間が限定されるため。

9) 高カロリー輸液への対応

	市内	市外
現在対応している	1	6
対応可	3	4
対応不可	7	11
無回答	0	1
合計	11	22

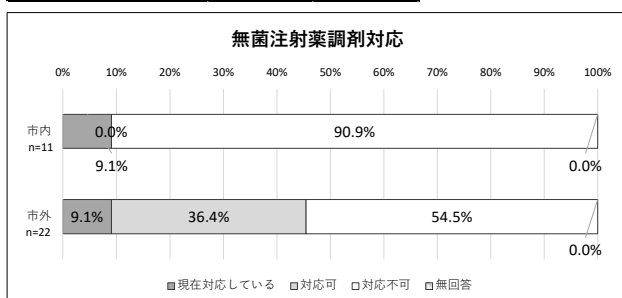


【対応不可の理由】

- ・処方がないため。
- ・準備不足。
- ・設備を所有していないため。
- ・調剤設備がない 安全キャビネット、クリーンベンチ etc・・・
- ・経験がない。

10) 無菌注射薬剤対応

	市内	市外
現在対応している	1	2
対応可	0	8
対応不可	10	12
無回答	0	0
合計	11	22

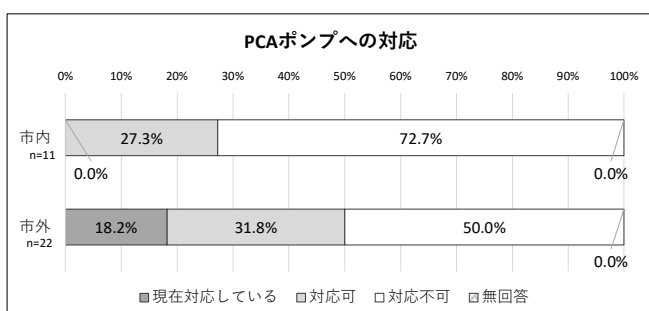


【対応不可の理由】

- ・現在6～10人対応。
- ・混注できる施設ではないため。
- ・共同利用。
- ・クリーンベンチなし。
- ・準備不足。
- ・勉強・経験不足の為。
- ・無菌調剤設備がない・経験がない。

11) PCAポンプへの対応

	市内	市外
現在対応している	0	4
対応可	3	7
対応不可	8	11
無回答	0	0
合計	11	22

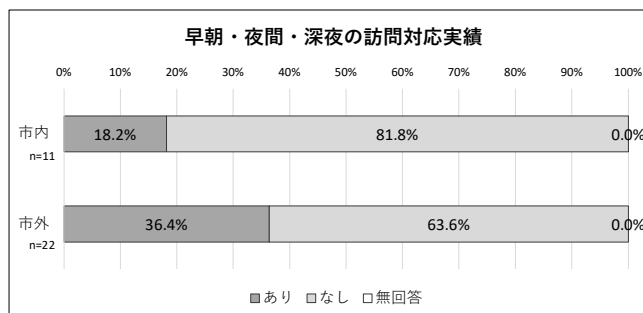


【対応不可の理由】

- ・混注できる施設ではないため。
- ・麻薬の扱いがないため。
- ・準備不足。
- ・調剤設備がない。
- ・知識不足・経験がない。

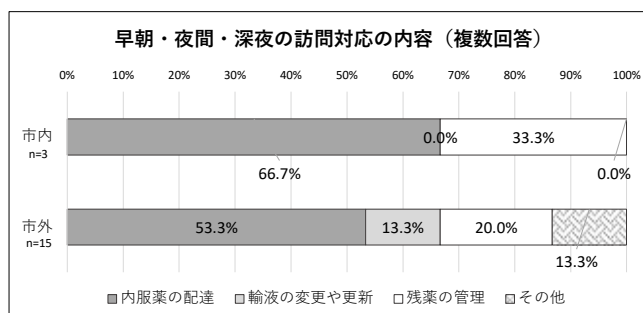
12) 早朝・夜間・深夜の訪問対応

	市内	市外
あり	2	8
なし	9	14
無回答	0	0
合計	11	22



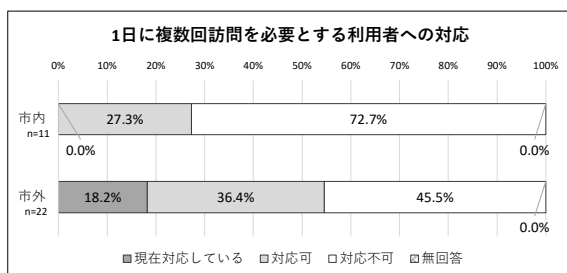
13) 早朝・夜間・深夜の訪問対応内容(複数回答)

	市内	市外
内服薬の配達	2	8
輸液の変更や更新	0	2
残薬の管理	1	3
その他	0	2
合計	3	15



14) 1日に複数回の訪問を必要とする利用者へのサービス提供

	市内	市外
現在対応している	0	4
対応可	3	8
対応不可	8	10
無回答	0	0
合計	11	22

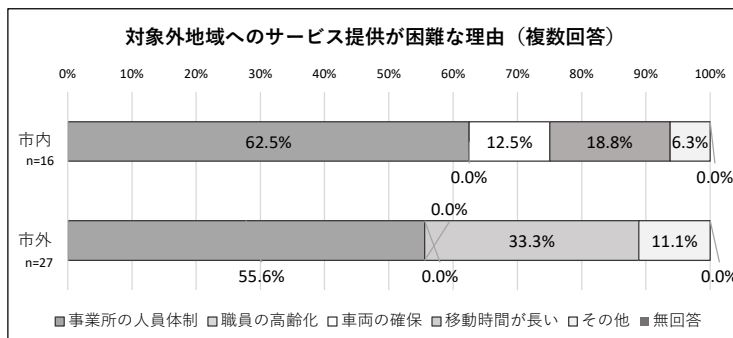


【対応不可の理由】

- ・一人薬剤師の為、日中は近場でないと動けない(5分以内なら可能)。
- ・人員が足りない。
- ・対応できる時間帯が限られるため。
- ・訪問先の場所による。基本的には定期的な複数回の訪問は困難だが、緊急性があるもの等一部対応は可能。
- ・外来業務があり、複数回は厳しい。
- ・曜日と時間が限定されるため。
- ・人員不足の為。
- ・保険請求上何度もは難しい。人員不足とコスト面
- ・輸液等の対応ができない。

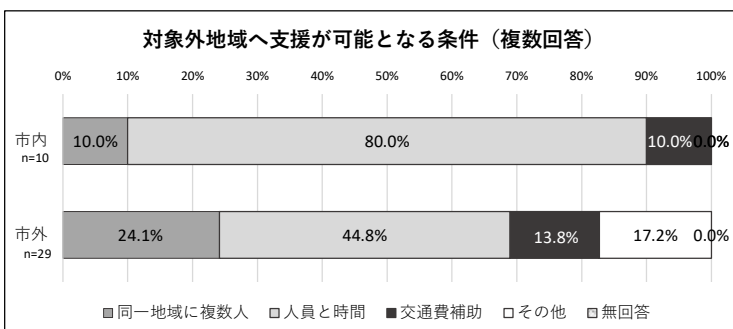
15) 対象外地域へのサービス提供が困難な理由(複数回答)

	市内	市外
事業所の人員体制	10	15
職員の高齢化	0	0
車両の確保	2	0
移動時間が長い	3	9
その他	1	3
無回答	0	0
合計	16	27



16) 対象外地域へのサービス提供が可能となる条件(複数回答)

	市内	市外
同一地域に複数人	1	7
人員と時間	8	13
交通費補助	1	4
その他	0	5
無回答	0	0
合計	10	29



17) 安来市南部地域へのサービス提供を行うための支援内容(自由記述)

【安来市内】

- ・薬局と多職種の連携。
- ・中継所を作っていただく。
- ・オンライン服薬指導を充実させていただき、薬の配達や配送担当者に持って行ってもらう。
- ・訪問の際、お年寄りでも使える簡単便利な画面で会話できる道具が必要となるので、市で持たせてあげて欲しい(他の見守りにも使えると思う)。
- ・対象となる方が複数名いることや、時間指定、曜日指定がないこと 薬局側の人員確保。
- ・数軒を同じ曜日で対応(訪問)すればできることもあるのでは。
- ・人員の確保。道路の整備。除雪。

【安来市外】

- ・ケアカフェなど地域連携の場があれば、参加して顔が見える関係を作りたい。
- ・多職種のを企画し、会議に呼んで欲しい。
- ・地域包括支援センターからの情報提供。
- ・患者様への在宅介入の際、薬局が在宅対応する事への意味、それに伴う対価の説明。
- ・安来で3～6人／日くらいになると訪問しやすくなると思います(毎日でも・飛び飛びでも)。
- ・曜日で訪問地域を振り分けてもらう。
- ・距離があるので少しまとまった人数の患者様宅があれば考えることができると思います。
- ・複数人一緒に訪問できると時間短縮で助かります。
- ・訪問時間の調整 薬局にもシフトがあり決まった時間というのは難しいため、その都度相談させていただけると助かります。
- ・薬剤師確保の為、他の薬局と協力、連携して支援させてもらえるとやりやすい。
- ・サブ薬局としてメインが対応できない場合に対応できる場所があると助かります。
(同意見3か所)
- ・交通費等市からの補助。
- ・片道17キロ以上だと在宅の加算が取れないので、費用が掛かり、対応ができない。
- ・近くの薬局しか対応できないと思う。
- ・高速道路の開通など。

18) 安来市で事業を行うにあたり、必要と考える支援(自由記述)

【安来市内】

- ・事業の理解、薬剤師側の意識改革。
- ・無菌注射薬調剤室の共同利用。
- ・結局過疎との戦いの面でもあるので、人口を増やす支援や隣の市や町との協力をしあって支えあうなども必要かと考えます。
- ・必要とされている患者様の人数とその要件が知ることができれば手を上げることも検討することもできるのでは。
- ・4WDの車両。
- ・費用の補助。

【安来市外】

- ・支援がなくても訪問するが、人件費、車両費など考慮いただけると助かる。
- ・薬局事業に関して言えば県内に薬学部ができれば人員不足が解消され、より充実したサービスが可能になるのではないかと思う。
- ・ケアカフェ開催の支援。
- ・地域包括支援センターからの詳細な情報提供。
- ・リモートで服薬支援ができるようになること。
- ・交通費の負担していただくと助かります。
- ・薬剤師の派遣斡旋などがあると助かる。

人員不足、経営上の効率といった理由から、在宅訪問業務に対応できる薬局・薬剤師が不足していることが明らかになった。特に南部地域への訪問は困難であることが明らかになった。

また、無菌調剤を行うにあたり必要な設備がない、薬剤の備蓄に不安があることなどにより、24時間365日の対応が難しい現状がある事業所が半数以上を占めることがわかった。

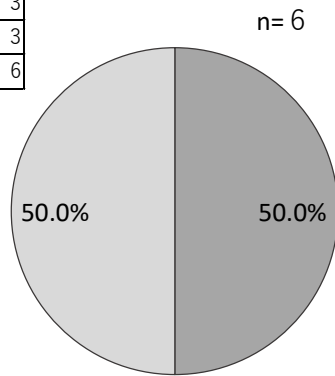
今後、在宅での看取りを迎えることが増えると予測される中で、疼痛コントロールが不良になり、臨時処方が必要時の対応、嚥下機能に合わせた適切な剤形の検討、服薬の指導、無菌調製等を含む調剤など、薬剤師の訪問での役割は多岐に渡ると考えられる。時間外の対応も多くなる中で外来の患者に対応しながら、訪問への取り組みをするためには、薬局の人員の増加や、薬局間の協力、連携など様々な課題を解決していく必要がある。

(4) 訪問看護（市内・市外合算で集計）

【事象所所在地】

所在地	回答数
市内	3
市外	3
合計	6

事業所所在地

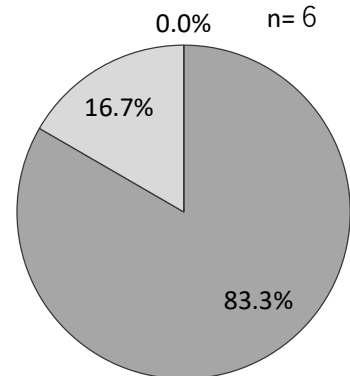


■ 市内 □ 市外

【営業日】

営業日	回答数
月～金	5
月～土	1
月～日	0
その他	0
無回答	0
合計	6

営業日

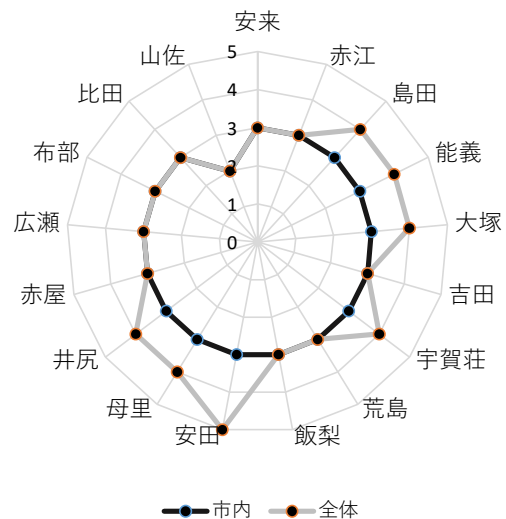


■ 月～金 □ 月～土 □ 月～日

1) サービス提供が可能な地域

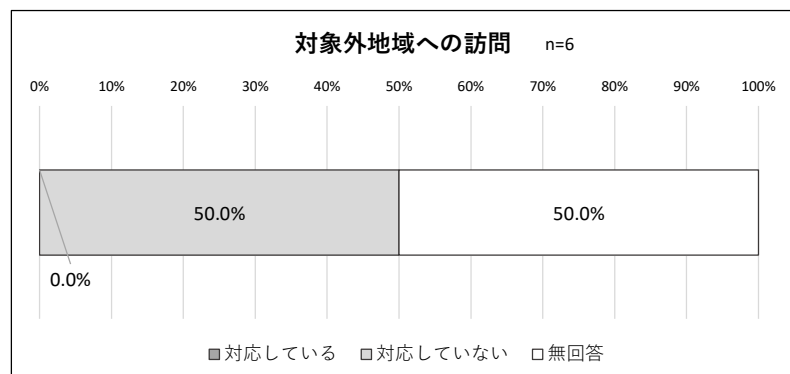
地区	市内	全体	地区	市内	全体
安来	3	3	安田	3	5
赤江	3	3	母里	3	4
島田	3	4	井尻	3	4
能義	3	4	赤屋	3	3
大塚	3	4	広瀬	3	3
吉田	3	3	布部	3	3
宇賀荘	3	4	比田	3	3
荒島	3	3	山佐	2	2
飯梨	3	3			

サービス提供が可能な地域



2) 対象外地域への訪問

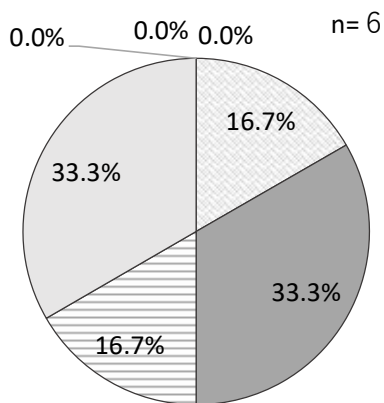
回答	回答数
対応検討中	0
対応予定なし	3
無回答	3
合計	6



3) 事業所～対象者宅の移動所要時間限度(片道)

移動時間	5分	10分	15分	20分	30分	その他	無回答	合計
回答数	0	0	0	1	2	1	2	6

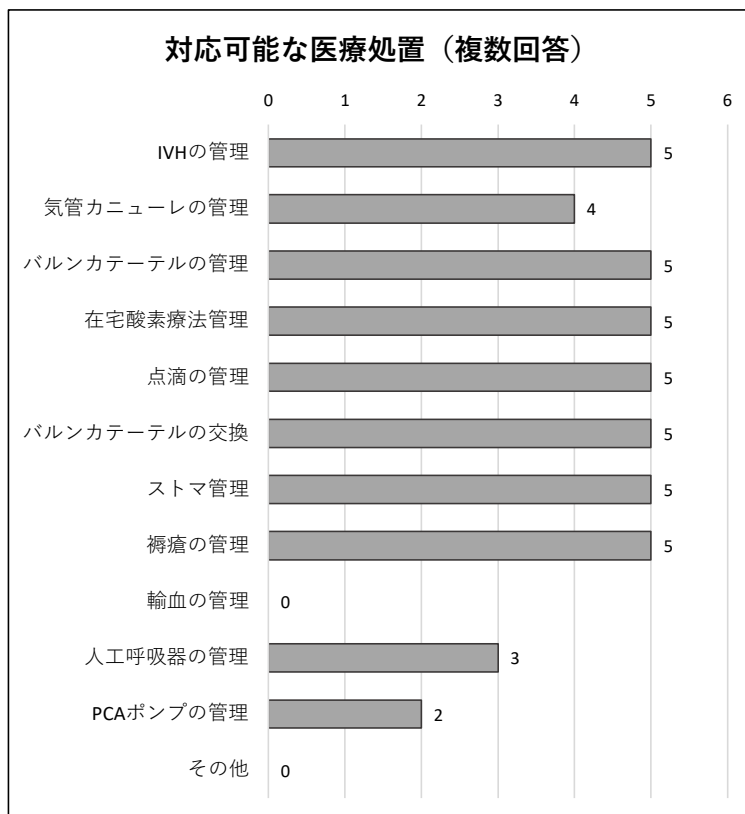
移動所要時間の限度



□5分 ■10分 ▨15分 □20分 ■30分 □その他 □無回答

4) 対応可能な医療処置(複数回答)

項目	回答数
IVHの管理	5
気管カニューレの管理	4
バルンカテーテルの管理	5
在宅酸素療法管理	5
点滴の管理	5
バルンカテーテルの交換	5
ストマ管理	5
褥瘡の管理	5
輸血の管理	0
人工呼吸器の管理	3
PCAポンプの管理	2
その他	0



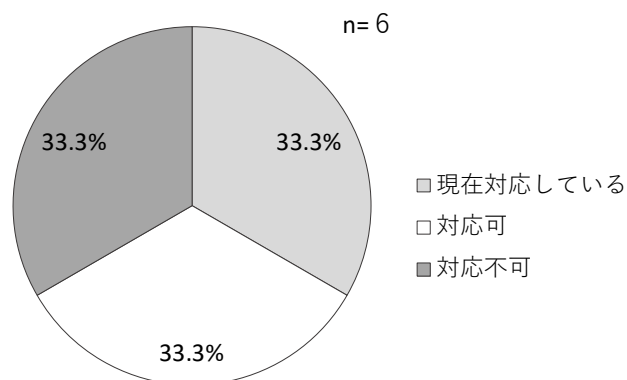
5) 在宅での看取り(がん患者以外)

回答	回答数
現在対応している	2
対応可	2
対応不可	2
合計	6

【対応不可の理由】

- ・距離、人手の問題。
- ・必要な緊急訪問など十分な対応ができない可能性がある。

在宅での看取り (がん患者以外)



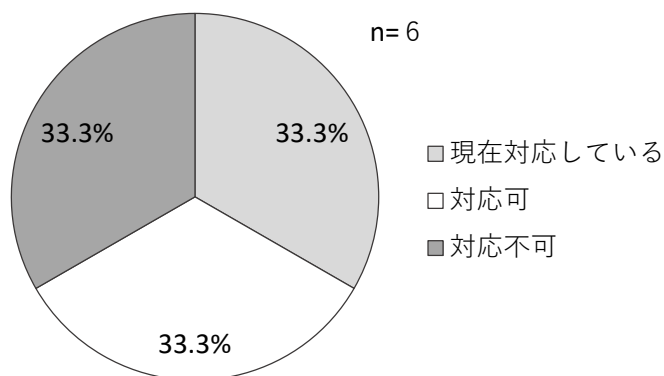
6) がん患者の在宅での看取り

回答	回答数
現在対応している	2
対応可	2
対応不可	2
合計	6

【対応不可の理由】

- ・移動時間がかかり必要な緊急訪問など十分な対応ができない可能性がある。

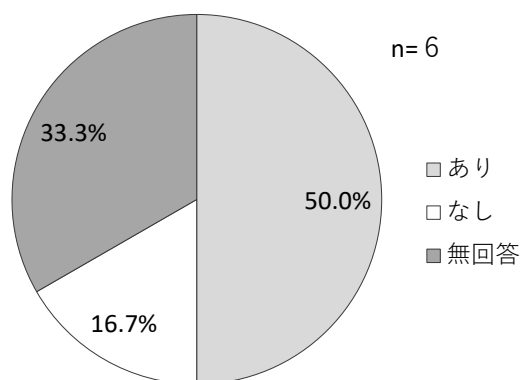
がん患者の在宅での看取り



7) 直近3カ月での早朝・夜間・深夜の訪問対応

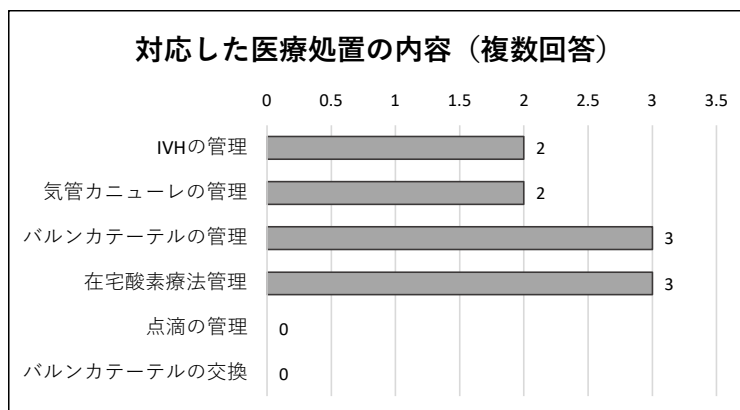
回答	回答数
あり	3
なし	1
無回答	2
合計	6

直近3カ月での早朝・夜間の訪問対応



8) 直近3カ月で早朝・夜間・深夜の対応で対応した内容(複数回答)

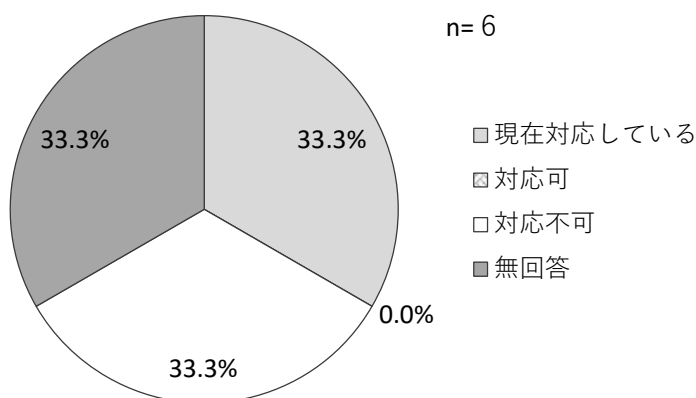
項目	回答数
IVHの管理	2
気管カニューレの管理	2
バルンカテーテルの管理	3
在宅酸素療法管理	3
点滴の管理	0
バルンカテーテルの交換	0



9) 看取りや医療依存度が高く、複数回の訪問を必要とする中山間地域の利用者へのサービス提供

回答	回答数
現在対応している	2
対応可	0
対応不可	2
無回答	2
合計	6

中山間地域の利用者へのサービス提供



【対応不可の理由】

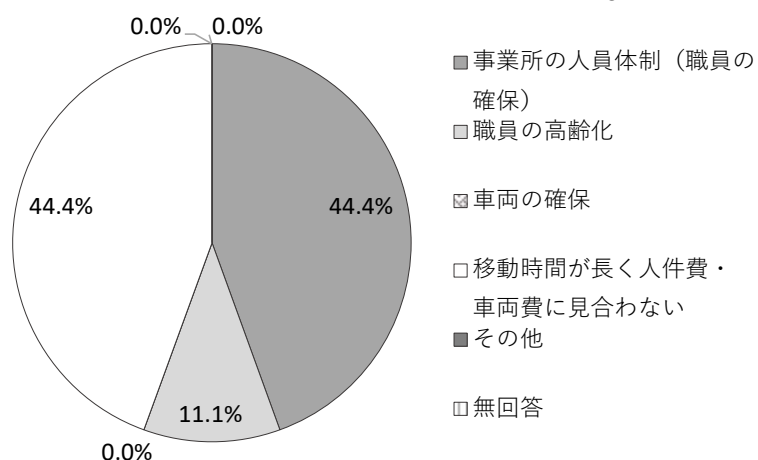
・移動時間を含めて緊急対応が難しい。

10) 対象外地域へのサービス提供が困難な理由(複数回答)

回答	回答数
事業所の人員体制 (職員の確保)	4
職員の高齢化	1
車両の確保	0
移動時間が長く人件費・	4
その他	0
無回答	0
合計	9

対象外地域へのサービス提供が困難な理由

(複数回答) n=9

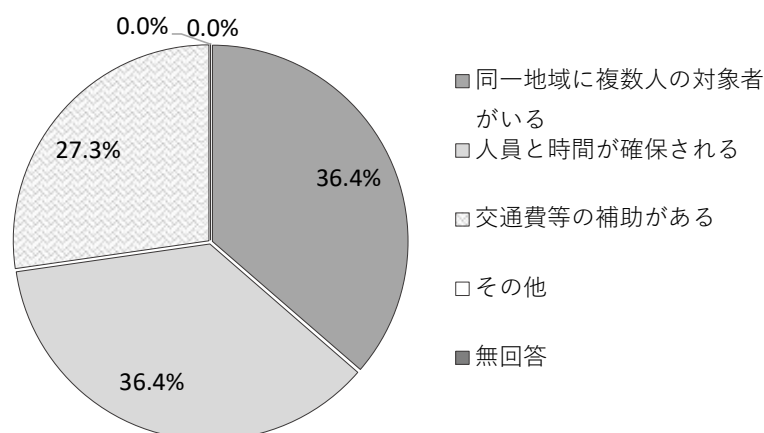


11) 対象外地域へのサービス提供の条件(複数回答)

回答	回答数
同一地域に複数人の対象者がいる	4
人員と時間が確保される	4
交通費等の補助がある	3
その他	0
無回答	0
合計	11

対象外地域へのサービス提供の条件

(複数回答) n=11



12) 安来市南部地域へのサービス提供を行うための支援内容(自由記述)

- ・支援事業の補助金対象の要件の見直し(事業所からの距離をふまえた対象地区としてほしい)。
- ・南部地域だけではなく、利用者宅への道路状況(大雨・強風・地震後など)に安心して対応できる様にして欲しい。
- ・1人運転では不安な道があり、運転手がいれば安心。
- ・連絡を取りやすい在宅医の在中。
- ・移動時間がかかる地域周辺に休憩所(食事、トイレ)があると動きやすい(誰でも利用できる場所)。
- ・地域の利用者で優先となってしまいます。当院の通院患者さんであっても対応が難しい場合が多いです。要相談にしていきたいと思います。
- ・緊急対応はできるだけ近い事業所で対応するにしても、米子市、松江市の比較的人員の確保が出来ている事業所や組織・法人と連携を図り、難病やがん看取り期などはあらかじめ複数のステーションでのフォロー体制を整えていく必要があると思います。

13) 安来市で事業を行うにあたり、必要と考える支援(自由記述)

- ・安来市立病院に訪問看護ステーション設立を希望します。
- ・休日や夜間、訪問診療できる在宅医の確保。
- ・訪問看護師不足(出向体制でもあれば)。
- ・伯太、広瀬に訪問する時に距離もありますが、冬の雪の時季により時間を要します。往診や訪問看護、ヘルパー、通所等サービスが利用できるように除雪等の道路環境が整備されていると助かります。

【欄外記述】

- ・訪問先までの道路事情も悪く、移動時間がかかるような所も多い(竹を切って進むような所も)。
- ・小児の依頼もあるが、必要な支援を一事業所で提供することにも限界あり。
- ・熱意と奉仕の心だけでは、とてもやっていけない。

市内事業所は、おおむね安来市全体にサービス提供可能との結果が明らかとなった。更に伯太の一部地域については、隣接する市外の事業所もサービス提供可能との回答があった。

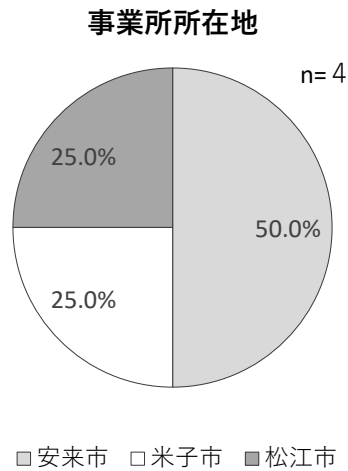
サービス提供が困難な理由として、事業所の人員体制(職員の確保)、移動時間が長く人件費・車両費に見合わないとの意見が見られた。

また、看取りや医療依存度の高い方の場合、移動時間がかかり緊急時など必要な対応が十分にできない可能性があるとの回答であった。

(5) 訪問リハビリ

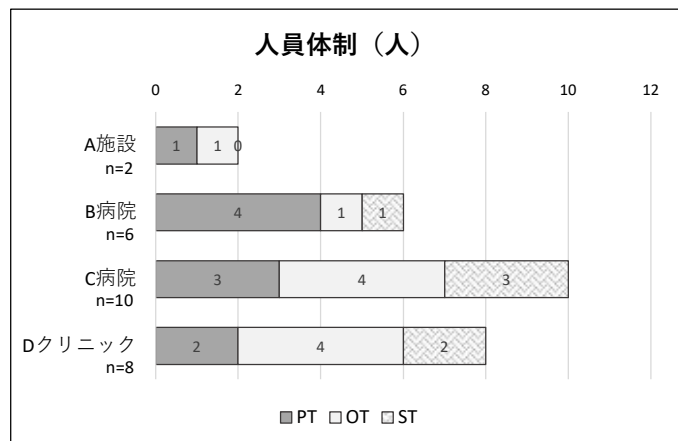
【事業所所在地】

所在地	回答
安来市	2
米子市	1
松江市	1
合計	4



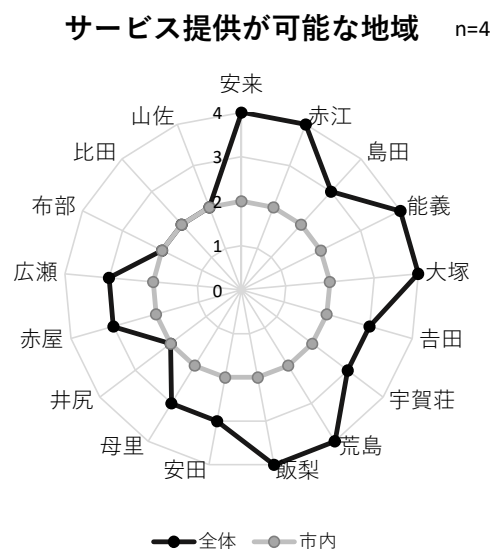
【人員体制】

施設	PT	OT	ST	合計
A施設	1	1	0	2
B病院	4	1	1	6
C病院	3	4	3	10
Dクリニック	2	4	2	8



1) サービス提供が可能な地域

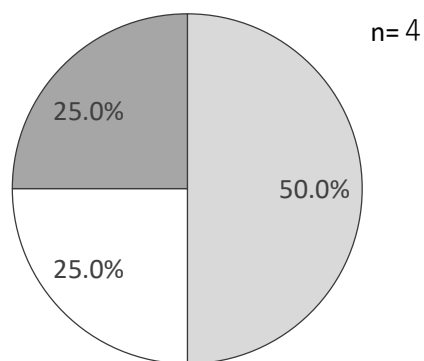
地区	全体	市内	地区	全体	市内
安来	4	2	安田	3	2
赤江	4	2	母里	3	2
島田	3	2	井尻	2	2
能義	4	2	赤屋	3	2
大塚	4	2	広瀬	3	2
吉田	3	2	布部	2	2
宇賀荘	3	2	比田	2	2
荒島	4	2	山佐	2	2
飯梨	4	2			



2) 対象外地域へのサービス提供

回答	回答数
全ての地域に対応中	2
対応検討中	1
対応予定なし	1
合計	4

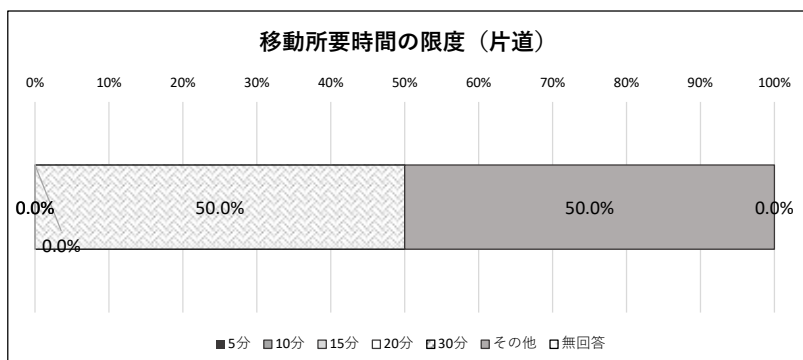
対象外地域へのサービス提供



□ 全ての地域に対応中 □ 対応検討中 ■ 対応予定なし

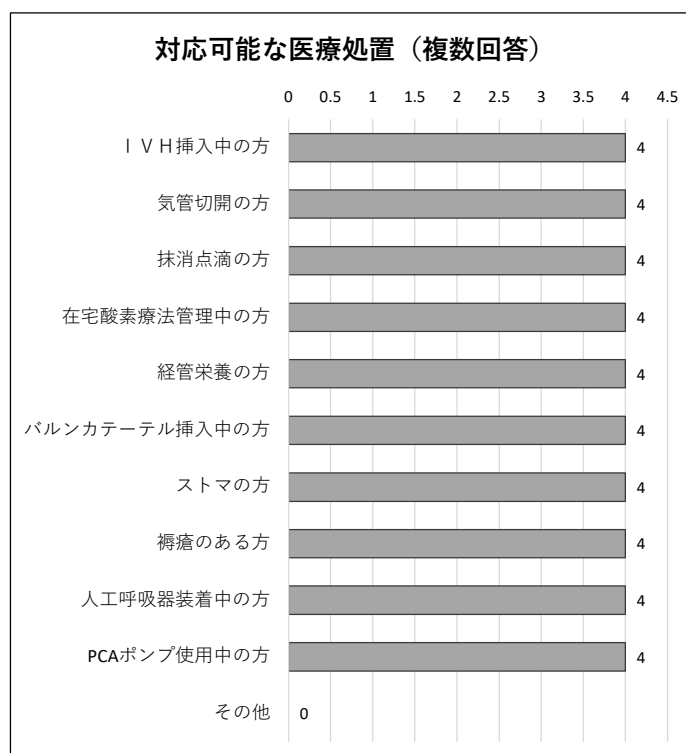
3) 事業所～対象者宅の移動所要時間限度(片道)

移動時間	5分以内	10分以内	15分以内	20分以内	30分以内	その他	無回答	合計
回答数	0	0	0	0	2	2	0	4



4) 対応可能な医療処置(複数回答)

項目	回答数
I V H挿入中の方	4
気管切開の方	4
抹消点滴の方	4
在宅酸素療法管理中の方	4
経管栄養の方	4
バルンカテーテル挿入中の方	4
ストマの方	4
褥瘡のある方	4
人工呼吸器装着中の方	4
PCAポンプ使用中の方	4
その他	0



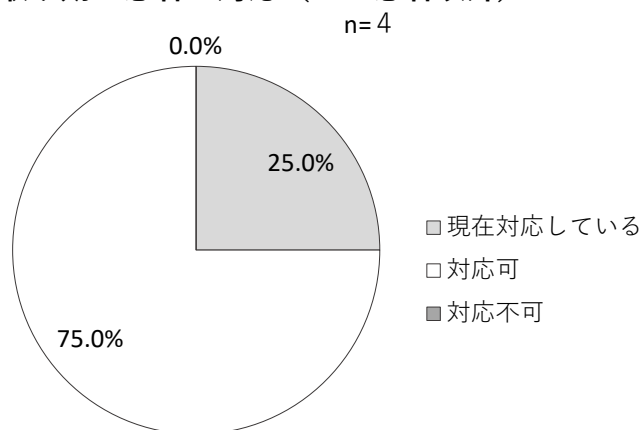
5) 看取り期の患者の対応(がん患者以外)

回答	回答数
現在対応している	1
対応可	3
対応不可	0
合計	4

【現在対応のコメント】

・安来市外の 2 名。

看取り期の患者の対応 (がん患者以外)



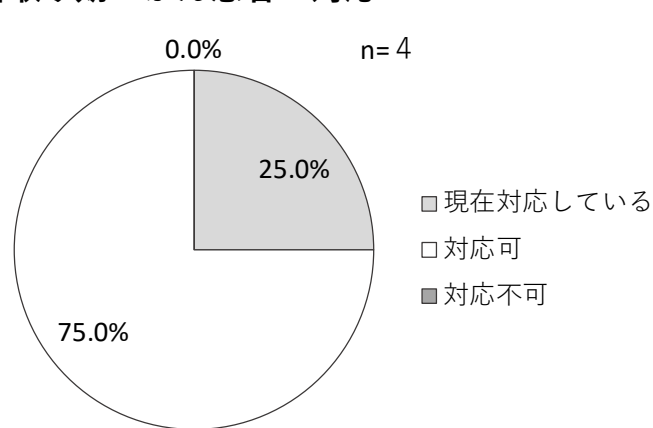
6) 看取り期のがん患者の対応

回答	回答数
現在対応している	1
対応可	3
対応不可	0
合計	4

【現在対応のコメント】

・安来市内の 2 名。

看取り期のがん患者の対応



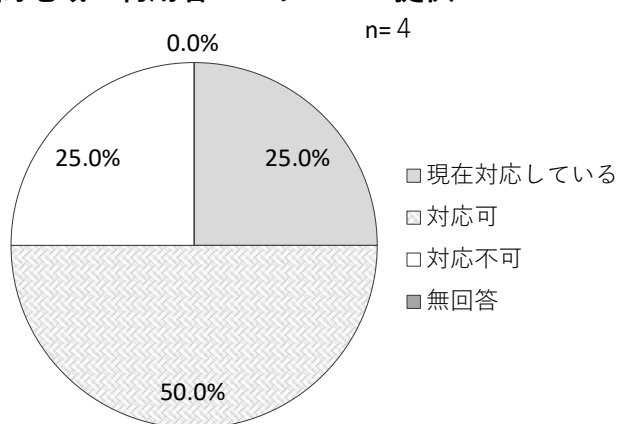
7) 看取りや医療依存度が高く、複数回の訪問を必要とする中山間地域の利用者へのサービス提供

回答	回答数
現在対応している	1
対応可	2
対応不可	1
無回答	0
合計	4

【対応不可の理由】

・移動所要時間が 30 分を超えるため。

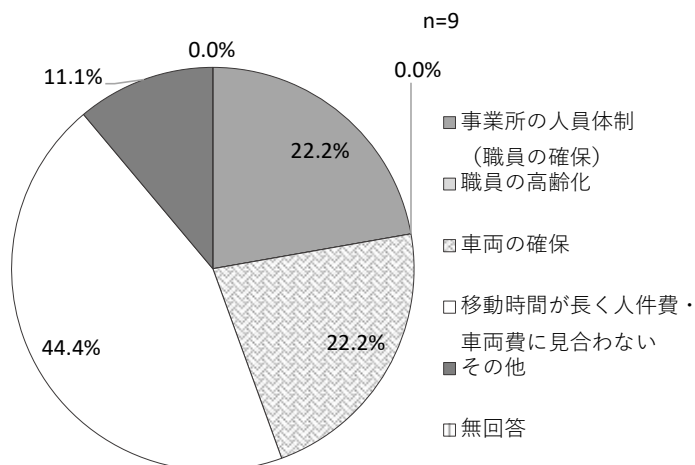
中山間地域の利用者へのサービス提供



8) 対象外地域へのサービス提供が困難な理由(複数回答)

回答	回答数
事業所の人員体制 (職員の確保)	2
職員の高齢化	0
車両の確保	2
移動時間が長く人件費・ 車両費に見合わない	4
その他	1
無回答	0
合計	9

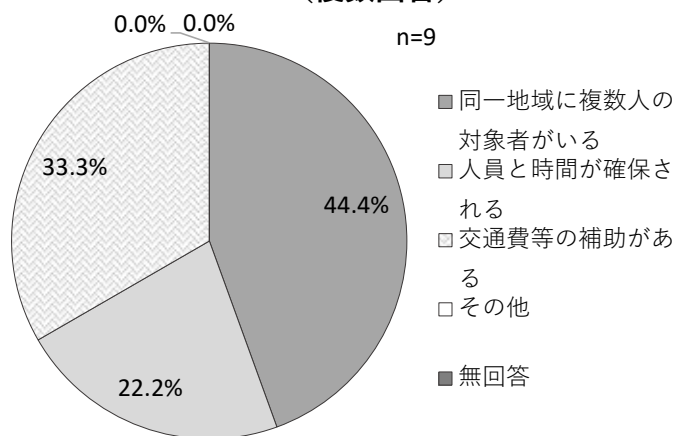
対象外地域へのサービス提供が困難な理由 (複数回答)



9) 対象外地域へのサービス提供の条件(複数回答)

回答	回答数
同一地域に複数人の 対象者がいる	4
人員と時間が確保される	2
交通費等の補助がある	3
その他	0
無回答	0
合計	9

対象外地域へのサービス提供の条件 (複数回答)



10) 安来市南部地域へのサービス提供を行うための支援内容 (自由記述)

- ・車両の確保や交通費等の補助。
- ・サテライト型の様な感じで広瀬、伯太に事務所があって、かつ利用者様が一定数以上おられる。
- ・同じ曜日、時間帯にまとめる(AM3件、PM3~4件等)。
- ・担当会をズームで行うことができる。
- ・移動に時間を要するのでそれを補填できる補助。

11) 安来市で事業を行うにあたり、必要と考える支援(自由記述)

- ・車両の確保や交通費等の補助。
- ・車輛の補助。

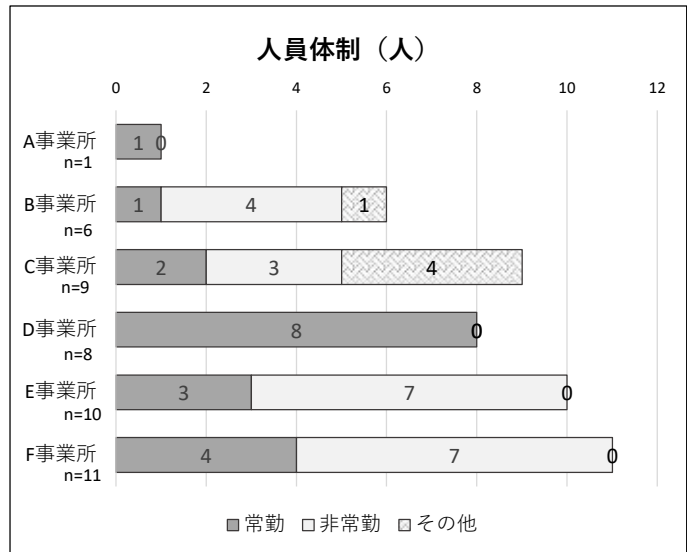
市内及び市外の事業所からも対応を行っている。また、医療処置のある利用者や終末期の利用者でもサービス対応している。ただし、南部地域など、移動距離が長いなどの理由により、提供されない地域もある。

意見としては「サテライト型(広瀬・伯太)の事務所を作る。利用者を一定以上確保する」「移動時間が長く人件費、車両費に見合わない」などの意見が多くあった。その他、市独自の車両確保、交通費などの補助や人材確保の施策を求める意見があった。

(6) 訪問介護（安来市内のみ）

【人員体制】

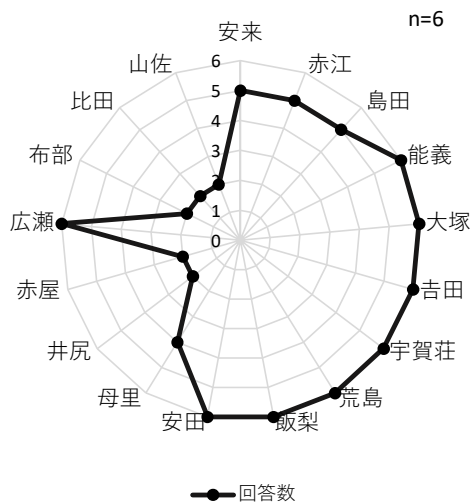
施設	常勤	非常勤	その他	合計
A事業所	1	0	0	1
B事業所	1	4	1	6
C事業所	2	3	4	9
D事業所	8	0	0	8
E事業所	3	7	0	10
F事業所	4	7	0	11



1) サービス提供が可能な地域

地区	回答数	地区	回答数
安来	5	安田	6
赤江	5	母里	4
島田	5	井尻	2
能義	6	赤屋	2
大塚	6	広瀬	6
吉田	6	布部	2
宇賀荘	6	比田	2
荒島	6	山佐	2
飯梨	6		

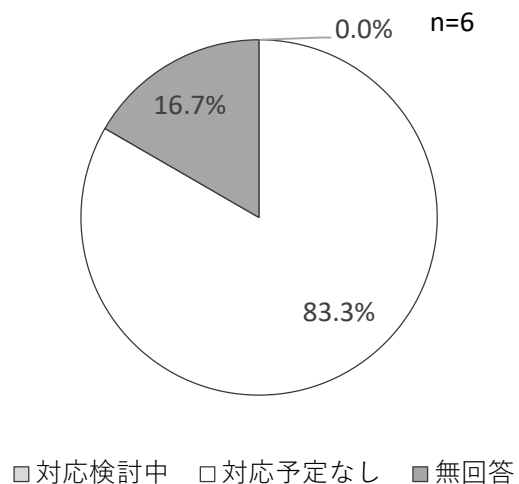
サービス提供が可能な地域



2) 現在、対応していない地域への訪問

回答	回答数
対応検討中	0
対応予定なし	5
無回答	1
合計	6

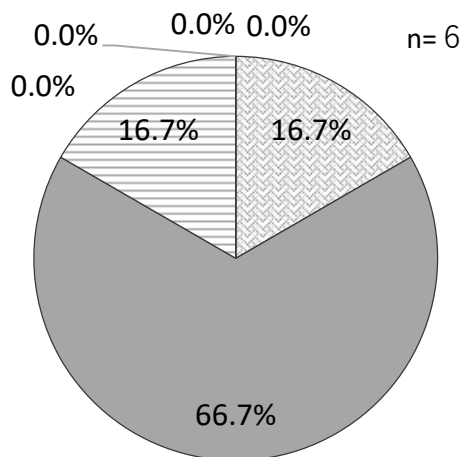
現在対応していない地域への訪問



3) 事業所～対象者宅の移動所要時間限度(片道)

移動時間	5分以内	10分以内	15分以内	20分以内	30分以内	その他	無回答	合計
回答数	0	0	0	1	4	1	0	6

移動所要時間の限度 (片道)

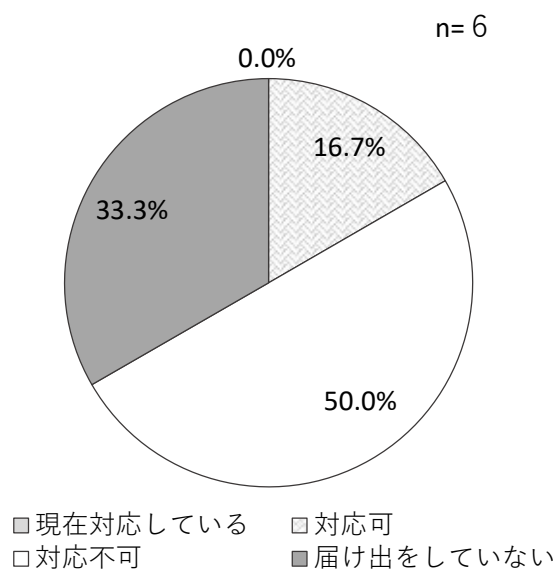


□ 5分 ■ 10分 □ 15分 ▨ 20分 ■ 30分 □ その他 □ 無回答

4) 24 時間体制での支援

回答	回答数
現在対応している	0
対応可	1
対応不可	3
届け出をしていない	2
合計	6

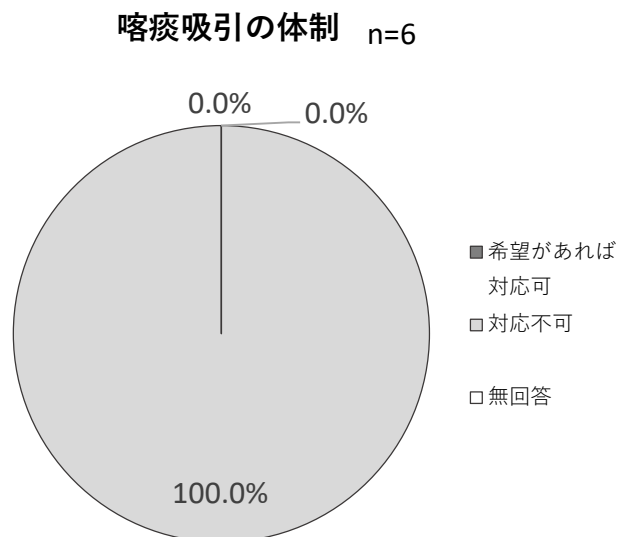
24 時間体制での支援



□ 現在対応している □ 対応可
□ 対応不可 ■ 届け出をしていない

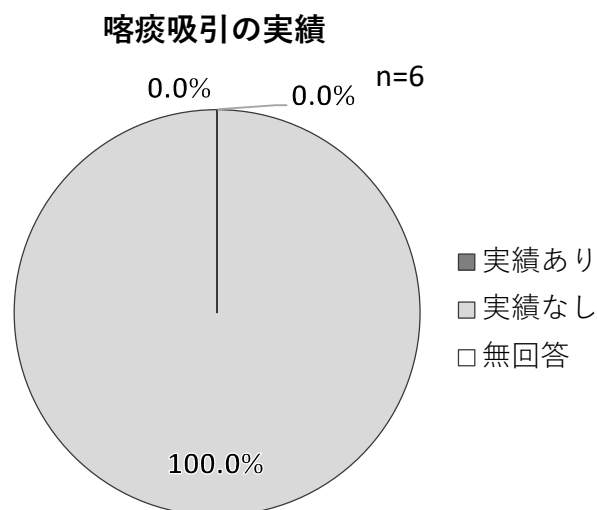
5) 喀痰吸引の体制

回答	回答数
希望があれば対応可	0
対応不可	6
無回答	0
合計	6



6) 喀痰吸引の実績

回答	回答数
実績あり	0
実績なし	6
無回答	0
合計	6

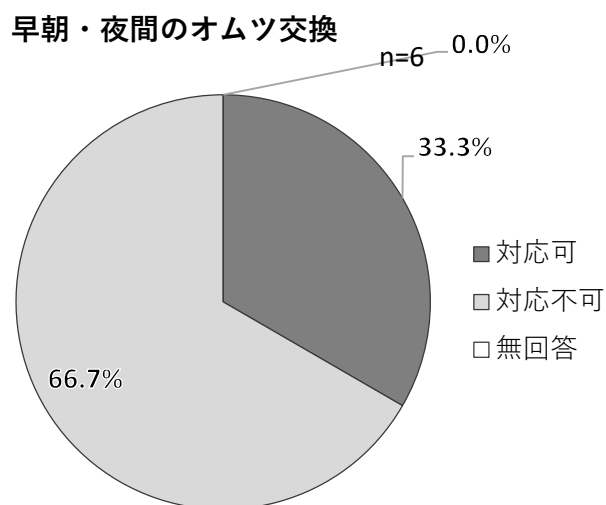


7) 早朝・夜間のオムツ交換

回答	回答数
対応可	2
対応不可	4
無回答	0
合計	6

【対応不可の理由】

・人員や体制不足。



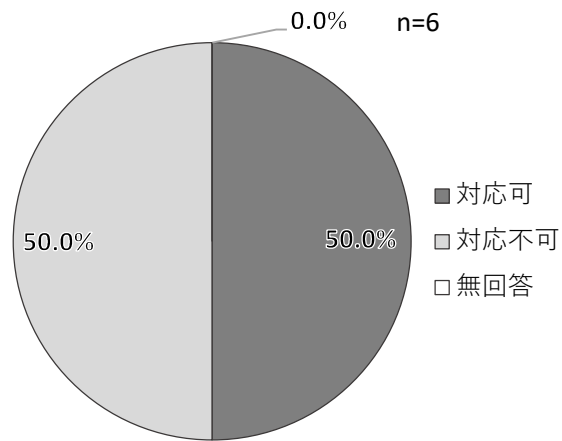
8) 朝食・夕食の食事介助

回答	回答数
対応可	3
対応不可	3
無回答	0
合計	6

【対応不可の理由】

- ・人員不足。
- ・早朝夜間となると体制が整わず、継続してのサービス提供が困難。

朝食・夕食の食事介助



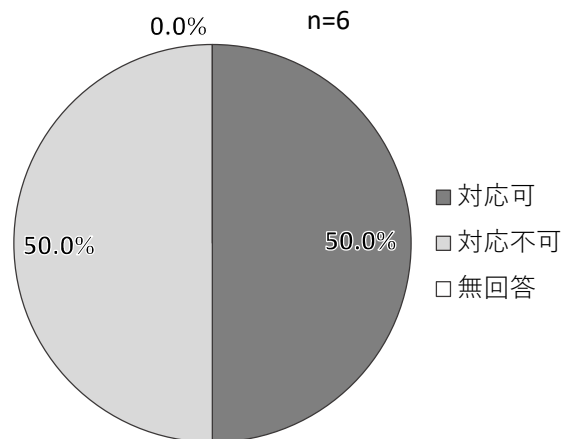
9) 通院への付き添い

回答	回答数
対応可	3
対応不可	3
無回答	0
合計	6

【対応不可の理由】

- ・人員不足、算定が複雑。
- ・病院までの移動時間や院内での待ち時間を算定できないから。

通院への付き添い



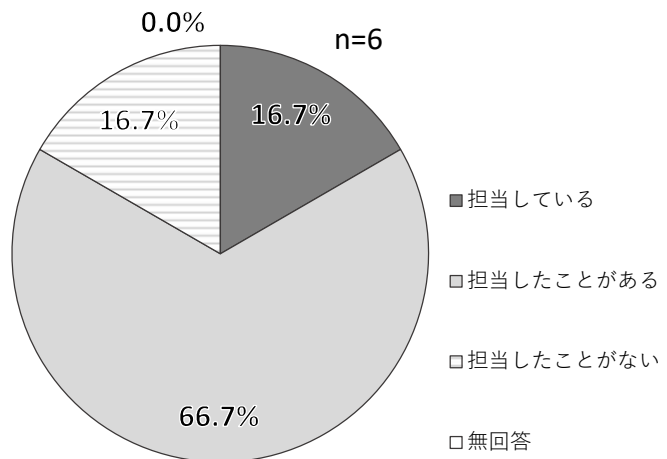
10) 看取り期のがん患者の対応

回答	回答数
担当している	1
担当したことがある	4
担当したことがない	1
無回答	0
合計	6

【担当したことがない理由】

- ・状態悪化による入院入所の為。

看取り期のがん患者の対応



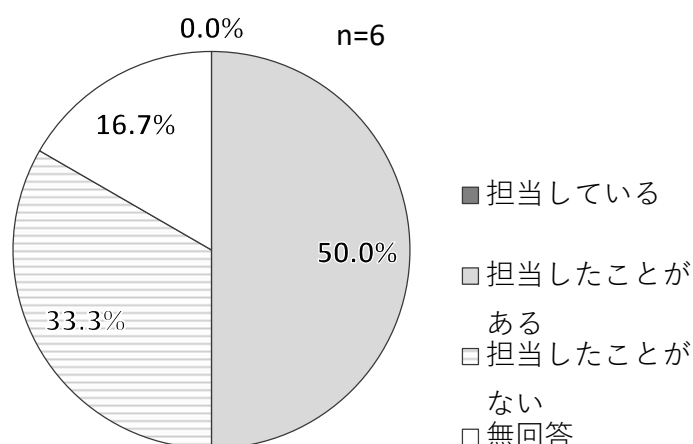
11) 看取り期の患者の対応(がん患者以外)

回答	回答数
担当している	0
担当したことがある	3
担当したことがない	2
無回答	1
合計	6

【担当したことがない理由】

- ・状態悪化による入院入所の為。

看取り期の患者の対応 (がん患者以外)



12) 1日に複数回の訪問を必要とする対象者へのサービス提供(1日2回以上)

回答	回答数
現在対応している	2
対応可	3
対応不可	1
無回答	0
合計	6

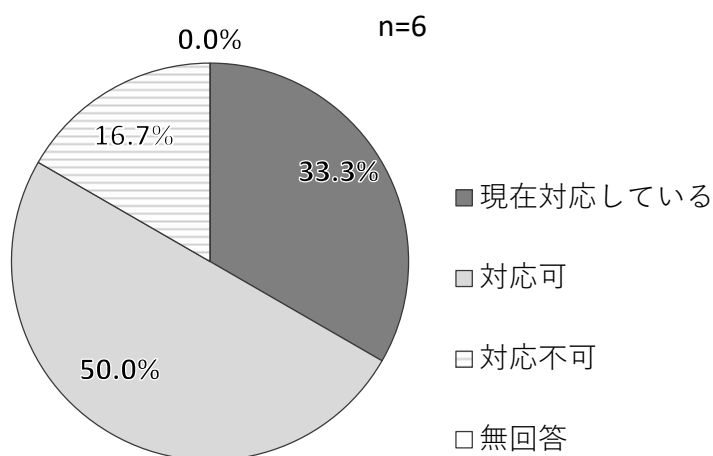
【現在対応している回数】

- ・週件数 週7回
- 週6回
- 週3回
- ・1日件数 2回
- 3回

【対応不可の理由】

- ・1日3回は人材不足。

1日に複数回訪問を必要とする対象者へのサービス提供



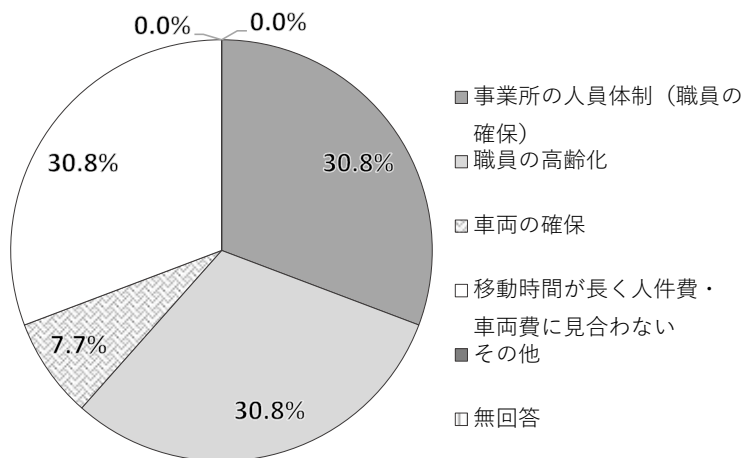
13) 対象外地域へのサービス提供が困難な理由(複数回答)

回答	回答数
事業所の人員体制（職員の確保）	4
職員の高齢化	4
車両の確保	1
移動時間が長く人件費・車両費に見合わない	4
その他	0
無回答	0
合計	13

サービス対象外地域へのサービス提供が

困難な理由（複数回答）

n=13



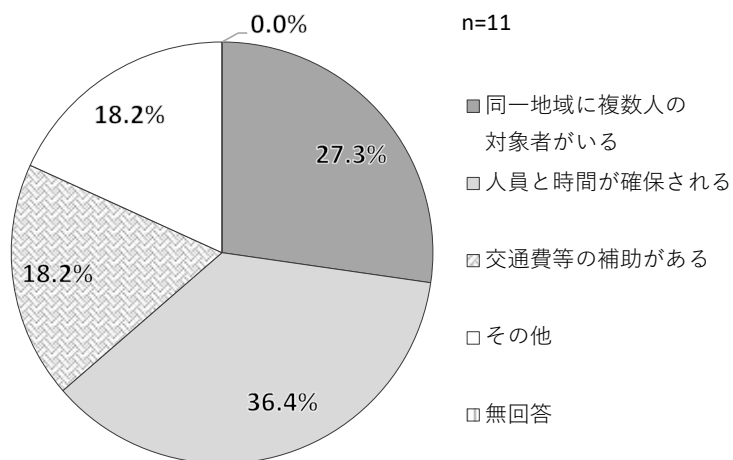
14) 対象外地域へのサービス提供の条件(複数回答)

回答	回答数
同一地域に複数人の対象者がいる	3
人員と時間が確保される	4
交通費等の補助がある	2
その他	2
無回答	0
合計	11

対象外地域へのサービス提供を行う為の条件

(複数回答)

n=11



15) 安来市南部地域へのサービス提供を行うための支援内容(自由記述)

- ・有資格者の確保。
- ・現在当事業所は南部地域の1つである広瀬町を中心に訪問を行っています。時々伯太十年畑方面への訪問依頼をいただきますが、移動時間や人員の関係でお断りをしている状況です。伯太は社協の訪問介護があるので、そこの人員増等のソフト面を充実させる事をされてはどうでしょうか？(買い物程度であればボランティア養成講座を受講された方に活動をして頂くとか)
- ・南部地域は降雪も多く、何かしらの支援があったとしても、容易に利用者様のニーズに合わせた訪問は難しいと考えます。遠方へのサービス提供により、サービス全体の質を落としてしまう危険性有ります。(現在の南部地域の詳しいサービス状況はわかりませんが)隣接する奥出雲町、日南町と安来市との連携も必要かと。
- ・広瀬、伯太地域に在住のヘルパーが訪問する。

16) 安来市で事業を行うにあたり、必要と考える支援(自由記述)

- ・養成研修への支援。ボランティア育成ではなく実質訪問介護員として労働ができる支援。
- ・訪問介護は利用者宅への一人での訪問しサービス提供を行うため、サービス提供が具体的にどのようなものなのか、デイや施設に比べるとわかりにくい上、ヘルパーの心身の負担が大きいとのイメージがあり職員募集をしても就労希望は全くと言って良い程ありません。事業所側も「訪問介護」という介護サービスをアピールし地域に表面化をして行く様努力をしないとイケませんが、市の方でも介護の入門的研修等の機会を使って人材確保に繋がる取組み(事業所紹介など)企画をして頂くと喜ばます。
- ・安来市南部地域に住まいの方対象に介護の資格取得を安来市が支援、資格取得し、地域で生かしていただく。地域独自のサービス拠点を設立する。
- ・安価で買い物と掃除の支援をする方がおられれば、ヘルパーは他の専門性の高い支援者への訪問が出来る。

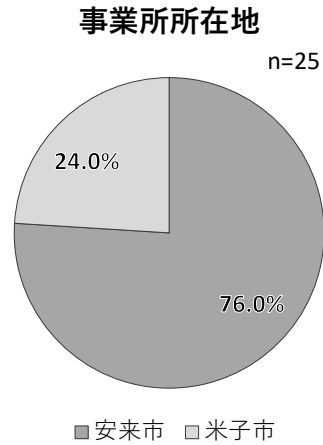
伯太地区および広瀬地区の移動困難地域について、サービス提供が困難との回答が見られた。サービス提供が困難な理由として、事業所の人員体制(職員の確保)、職員の高齢化、移動時間が長く人件費・車両費に見合わないとの回答であった。

また、早朝・夜間のオムツ交換、朝食・夕食の食事介助については、概ね半分の事業所が緊急時や朝食などの条件付きで対応可能との回答であった。一方、対応不可の理由として、人員不足等の体制が整っていないとの意見があった。

(7) 通所系サービス

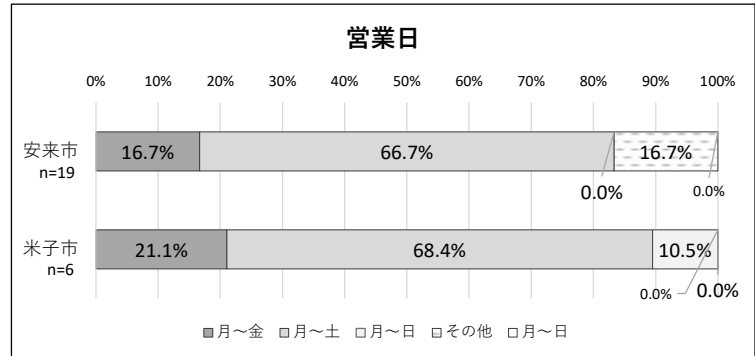
【事業所所在地】

所在地	回答数
安来市	19
米子市	6
合計	25



【営業日】

	月～金	月～土	月～日	その他	無回答	合計
安来市	4	13	2	0	0	19
米子市	1	4	0	1	0	6

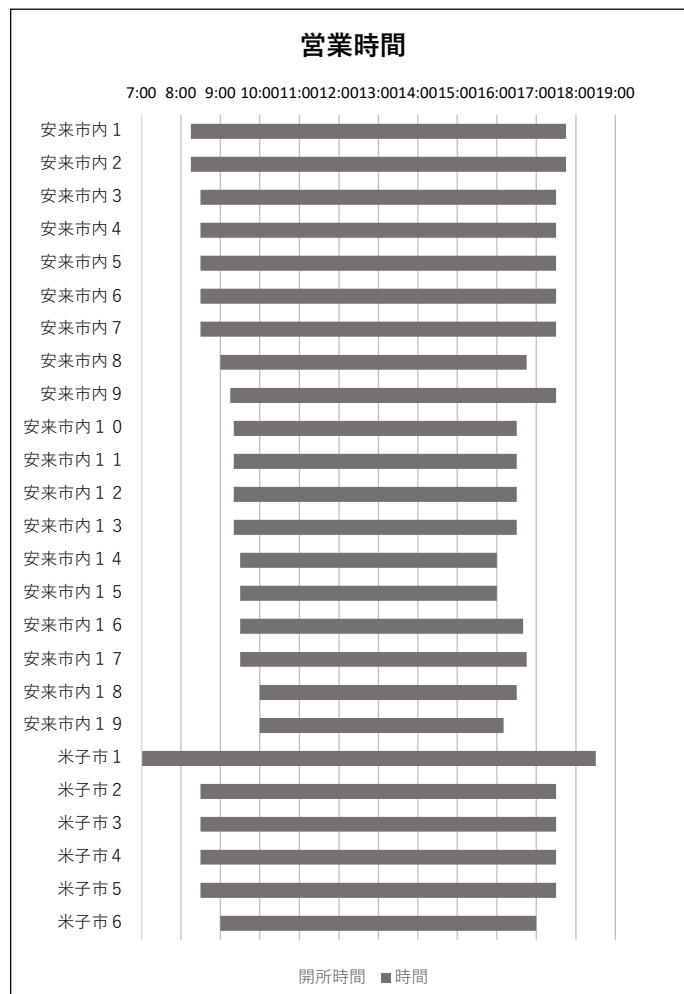


【その他】

・火～土曜日

【開所・閉所時間】

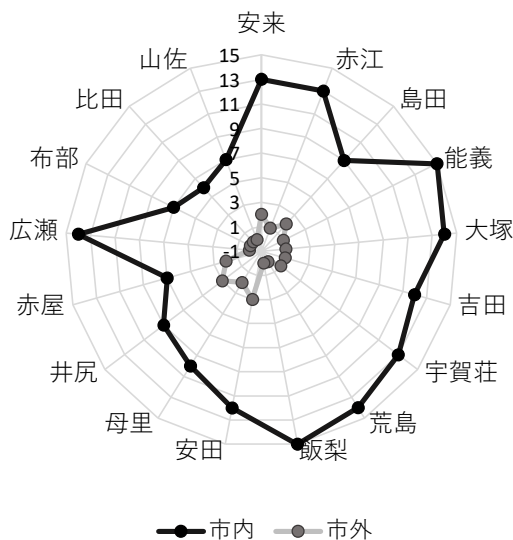
事業所	時間
安来市内 1	8:15~17:45
安来市内 2	8:15~17:45
安来市内 3	8:30~17:30
安来市内 4	8:30~17:30
安来市内 5	8:30~17:30
安来市内 6	8:30~17:30
安来市内 7	8:30~17:30
安来市内 8	9:00~16:45
安来市内 9	9:15~16:20
安来市内 1 0	9:20~16:30
安来市内 1 1	9:20~16:30
安来市内 1 2	9:20~16:30
安来市内 1 3	9:20~16:30
安来市内 1 4	9:30~16:30
安来市内 1 5	9:30~16:00
安来市内 1 6	9:30~16:40
安来市内 1 7	9:30~16:45
安来市内 1 8	10:00~16:10
安来市内 1 9	10:00~16:10
米子市 1	7:00~18:30
米子市 2	8:30~17:30
米子市 3	8:30~17:30
米子市 4	8:30~17:30
米子市 5	8:30~17:30
米子市 6	9:00~17:00



1) サービス提供が可能な地域

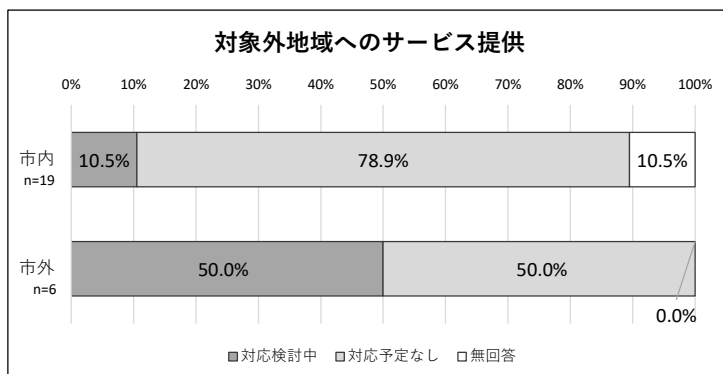
地区	市内	市外	地区	市内	市外
安来	13	2	安田	12	3
赤江	13	1	母里	10	2
島田	9	2	井尻	9	3
能義	15	1	赤屋	7	2
大塚	14	1	広瀬	14	0
吉田	12	1	布部	7	0
宇賀荘	13	1	比田	6	0
荒島	14	0	山佐	7	0
飯梨	15	0	対応検討中	2	0

サービス提供が可能な地域



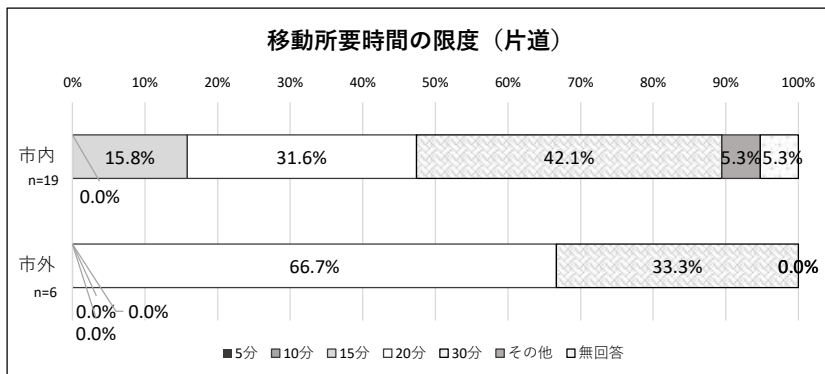
2) 対象外地域へのサービス提供

	市内	市外
対応検討中	2	3
対応予定なし	15	3
無回答	2	0
合計	19	6



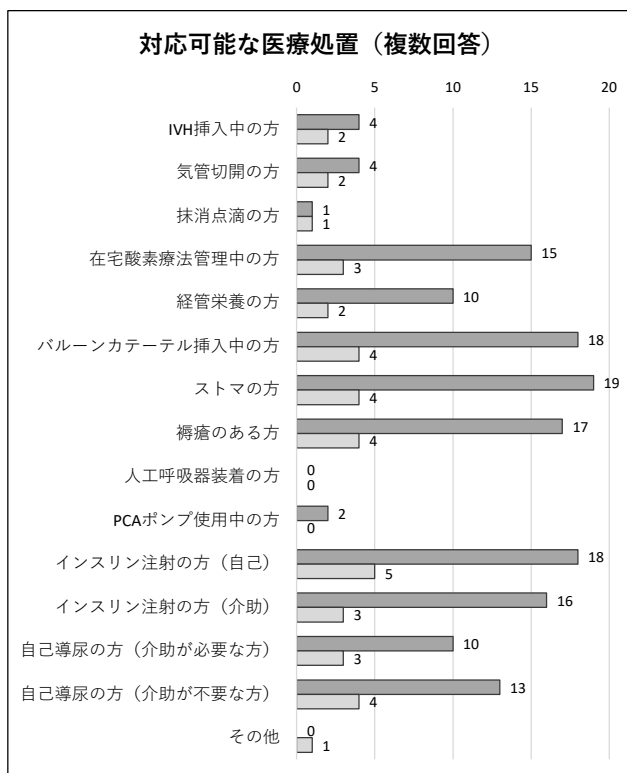
3) 事業所～対象者宅の移動所要時間限度(片道)

	5分	10分	15分	20分	30分	その他	無回答	合計
市内	0	0	3	6	8	1	1	19
市外	0	0	0	4	2	0	0	6



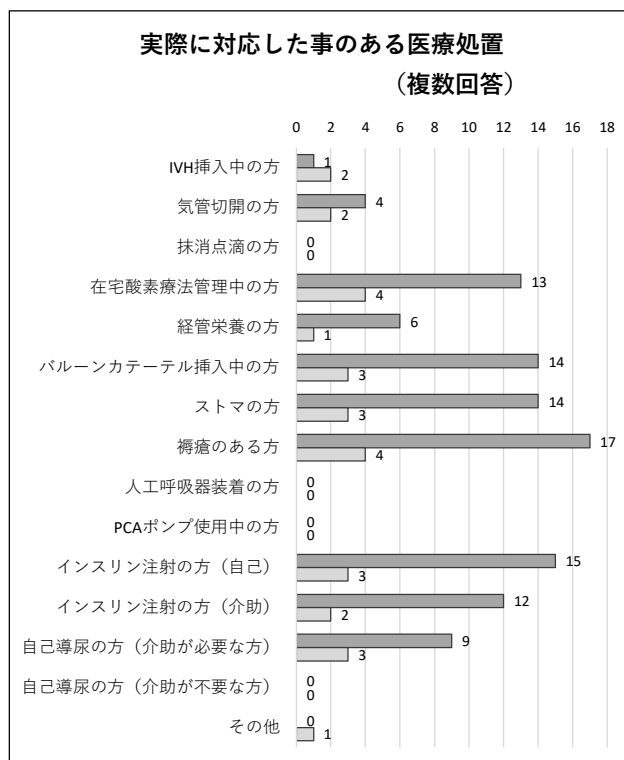
4) 対応可能な医療処置(複数回答)

項目	市内	市外
IVH挿入中の方	4	2
気管切開の方	4	2
抹消点滴の方	1	1
在宅酸素療法管理中の方	15	3
経管栄養の方	10	2
バルーンカテーテル挿入中の方	18	4
ストマの方	19	4
褥瘡のある方	17	4
人工呼吸器装着の方	0	0
PCAポンプ使用中の方	2	0
インスリン注射の方(自己)	18	5
インスリン注射の方(介助)	16	3
自己導尿の方(介助が必要な方)	10	3
自己導尿の方(介助が不要な方)	13	4
その他	0	1



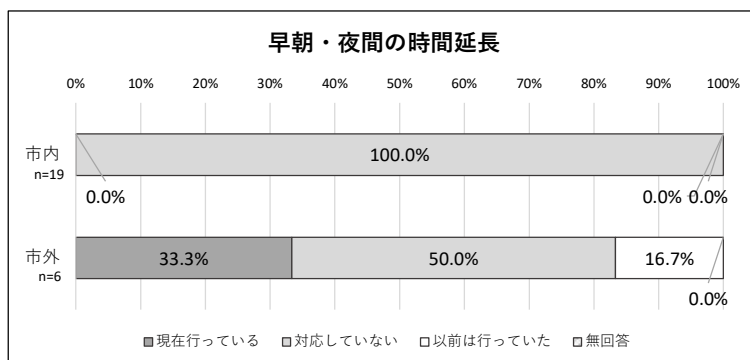
5) 実際に対応した事のある対象者(複数回答)

項目	市内	市外
IVH挿入中の方	1	2
気管切開の方	4	2
抹消点滴の方	0	0
在宅酸素療法管理中の方	13	4
経管栄養の方	6	1
バルーンカテーテル挿入中の方	14	3
ストマの方	14	3
褥瘡のある方	17	4
人工呼吸器装着の方	0	0
PCAポンプ使用中の方	0	0
インスリン注射の方(自己)	15	3
インスリン注射の方(介助)	12	2
自己導尿の方(介助が必要な方)	9	3
自己導尿の方(介助が不要な方)	0	0
その他	0	1



6) 早朝・夜間の時間延長

	市内	市外
現在行っている	0	2
対応していない	19	3
以前は行っていた	0	1
無回答	0	0
合計	19	6



【現在、行っている時間】

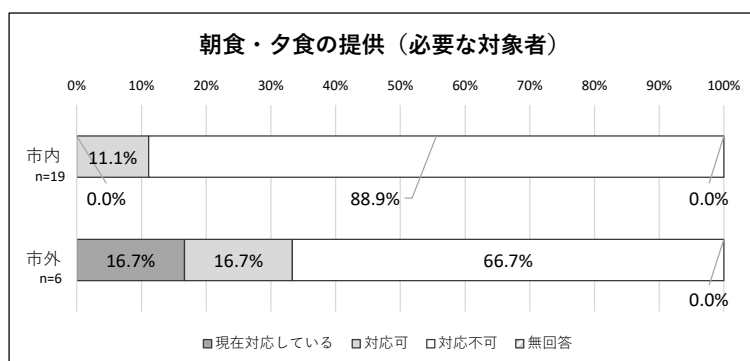
- 朝 8時から(2事業所)
- 夜 18時まで(2事業所)
- ※市外事業所のみ

【以前、行っていた時間】

- 朝 9時から(1事業所)
- 夜 17時まで(1事業所)
- ※市外事業所のみ

7) 朝食・夕食の提供(必要な対象者)

	市内	市外
現在対応している	0	1
対応可	2	1
対応不可	16	4
無回答	0	0
合計	18	6

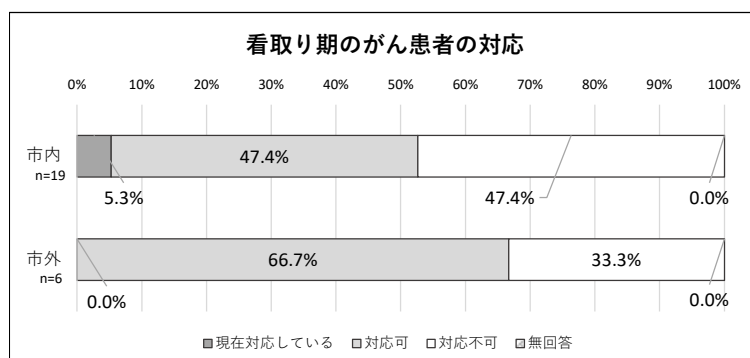


【対応不可の理由】

- ・職員の体制が整わない。
- ・提供時間外のため。
- ・調理設備がない、調理スタッフがいない。
- ・食事は外注となっているため。

8) 看取り期のがん患者の対応

	市内	市外
現在対応している	1	0
対応可	9	4
対応不可	9	2
無回答	0	0
合計	19	6



【対応している人数】

- ・1人(市内1事業所)

【対応不可の理由】

- ・常時静養できる環境になっていない。
- ・十分なスタッフの数が確保できていない。
- ・ターミナル期は医療設備が充実している機関、または在宅が良いかと考える。
- ・看護師を常勤で配置していないため。

9) 看取り期の患者の対応(がん患者以外)

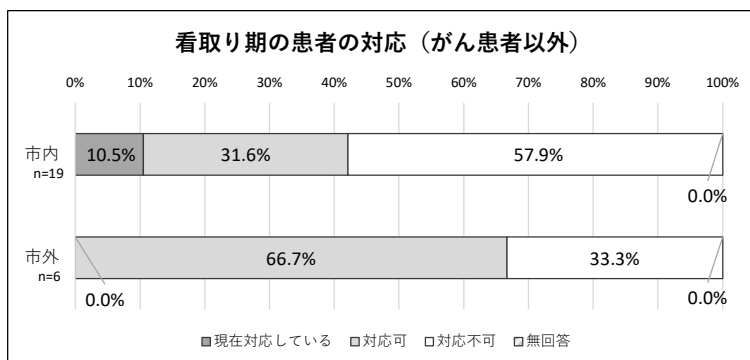
	市内	市外
現在対応している	2	0
対応可	6	4
対応不可	11	2
無回答	0	0
合計	19	6

【対応している人数】

- ・1人(市内 1 事業所)

【対応不可の理由】

- ・常時静養できる環境になっていない。
- ・職員の確保。
- ・看護師を常勤で配置していないため。

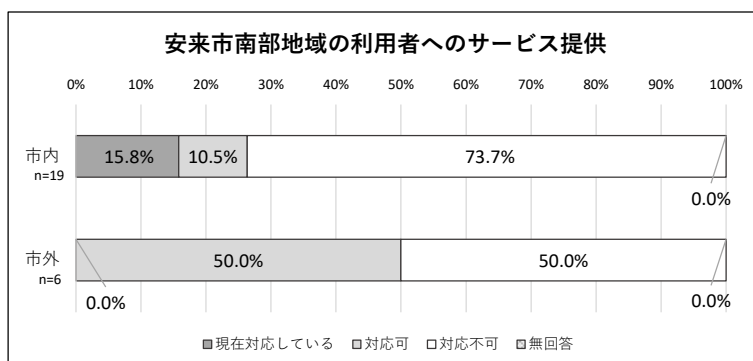


10) 看取りや医療依存度が高い安来市南部地域の利用者へのサービス提供

	市内	市外
現在対応している	3	0
対応可	2	3
対応不可	14	3
無回答	0	0
合計	19	6

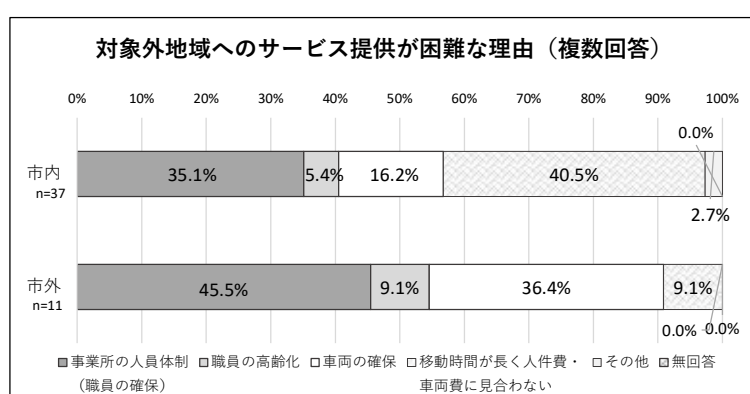
【対応不可の理由】

- ・医師のいないデイの為。
- ・車両の不足、遠方な為、職員不足。
- ・当苑は軽介助の方を対象としているため。
- ・常時静養できる環境になっていない。
- ・看護師を常勤で配置していないため。



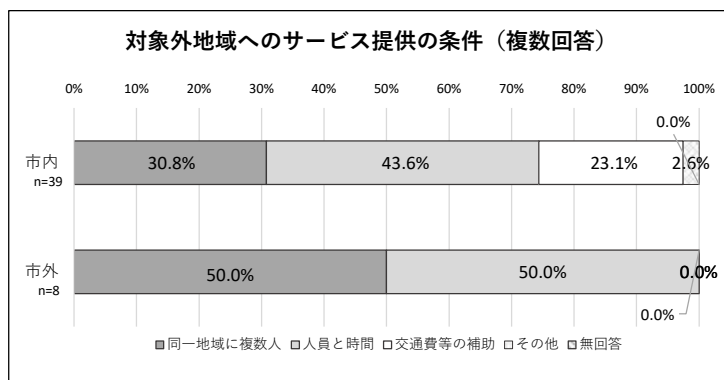
11) 対象外地域へのサービス提供が困難な理由(複数回答)

	市内	市外
事業所の人員体制 (職員の確保)	13	5
職員の高齢化	2	1
車両の確保	6	4
移動時間が長く人件費・ 車両費に見合わない	15	1
その他	1	0
無回答	0	0
合計	37	11



12) 対象外地域へのサービス提供の条件(複数回答)

	市内	市外
同一地域に複数人	12	4
人員と時間	17	4
交通費等の補助	9	0
その他	1	0
無回答	0	0
合計	39	8



13) 安来市内で重度の方が在宅で暮らすために必要と考えること(自由記述)

- ・遠方への送迎ドライバー。
- ・交通費、人件費等補助。
- ・福祉車両の確保。
- ・サテライト施設。
- ・サービス利用のための介助付き無料バス。
- ・片道30分以上かかる地域では、送迎時間が長くなり、サービス提供が難しくなる。例えば、送迎車（事業所）の行ける範囲のところまで、利用者様を送り迎えして、見守っておいて下さるような支援があれば、サービス提供できる範囲も拡大するのは、と思うこともあります。
- ・送迎に加算があるわけでもないのに、送迎がないと片道47単位減算というのもおかしい。全ては距離と時間の問題。
- ・移動時間が長いと人件費、車両費、単位数がかみあわない。また、利用者本人も負担である。
- ・送迎支援やインフラ活用。
- ・道路事情の改善。
- ・移動時間をサービス提供時間として換算する。
- ・事業所の人員体制や送迎の面で課題があると思われる。対象者の介護度により、コスト面での課題も出てくる。
- ・家族送迎。
- ・同一地域に複数人の対象者がいること。
- ・二人以上の利用者が同一日利用だとサービス提供がしやすいです。

14)安来市で事業を行うにあたり、必要と考える支援(自由記述)

- ・人員不足の為(人件費の補助?)
- ・送迎等の援助。
- ・介護職員の確保、斡旋。
- ・独居の方も多く、通所サービス利用をするにあたり、準備等ができない人も多くおられる状況がある。準備や送り出しのヘルパー等が充実していると良いと思う。
- ・通所サービスを終了(卒業後)の地域の受け皿がもっとあると良いと思う。
- ・職員の出勤時間からサービス提供時間までが限られているので、送迎の問題は日頃から悩みの種である。別口で送迎できることがあればいいかもしれない。(介護保険対象)
- ・高齢者向けの配食センター。
- ・移送サービス。
- ・遠い方等の短時間利用(開始に間に合わない)となった所の補助、ガソリン補助。
- ・送迎支援やインフラ活用。
- ・独居高齢者の積雪時の対応。
- ・つどいの場を準備して頂き、近隣事業所のNsやPT、OT等が出張。体操や健康教室を提供する。
- ・家族送迎。
- ・サービスCの間口を広げたような独自サービスの開設。
- ・フレイル状態や買い物難民に向けた特化型のサービス提供が出来る仕組み。

サービス提供可能な地域として、布部・比田・山佐といった広瀬町南部地域を挙げている事業所が少ないことが分かる。今後、提供地域を拡大する予定がある事業所も多くはなく、理由として人員体制が整っていないことや、送迎費や人件費等コストに関するものが多くあげられている。

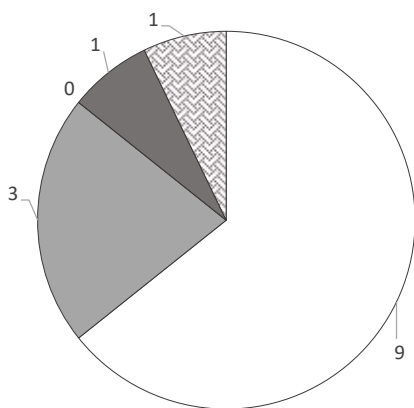
また、半数近くの事業所が看取り期の方や医療依存度の高い方の受け入れを行っていない。こうした「サービス提供内容」についての理由としても人員体制に関することをあげていた事業所が多くあった。

(8)短期入所

【事業所所在地】

地域	事業所数
安来	9
米子市	3
松江市	0
南部町	1
奥出雲町	1
合計	14

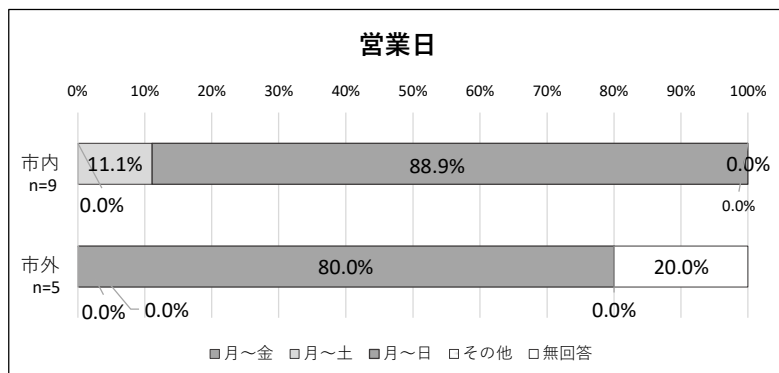
所在地



□安来 ■米子市 □松江市 ■南部町 ▨奥出雲町

【営業日】

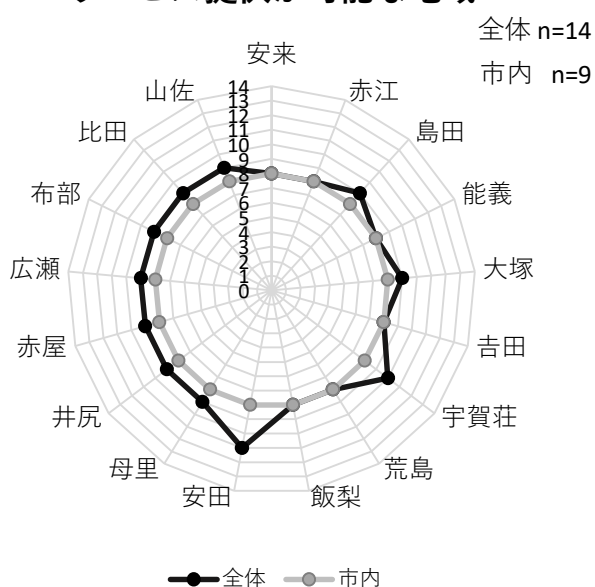
営業日	月～金	月～土	月～日	その他	無回答
市内	0	1	8	0	0
市外	0	0	4	0	1



1) サービス提供が可能な地域

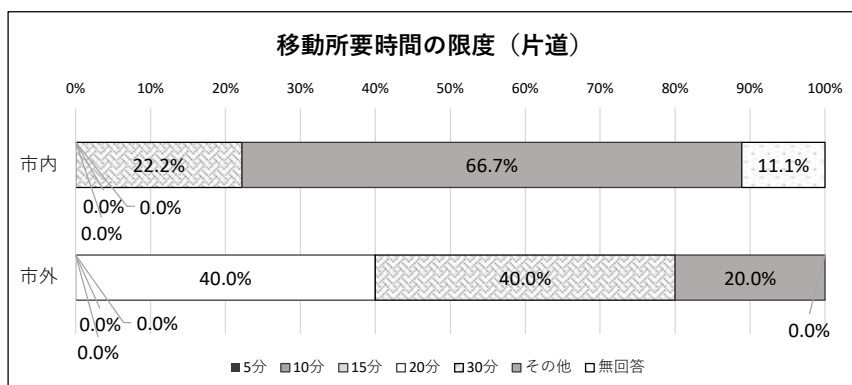
地区	全体	市内	地区	全体	市内
安来	8	8	安田	11	8
赤江	8	8	母里	9	8
島田	9	8	井尻	9	8
能義	8	8	赤屋	9	8
大塚	9	8	広瀬	9	8
吉田	8	8	布部	9	8
宇賀荘	10	8	比田	9	8
荒島	8	8	山佐	9	8
飯梨	8	8			

サービス提供が可能な地域



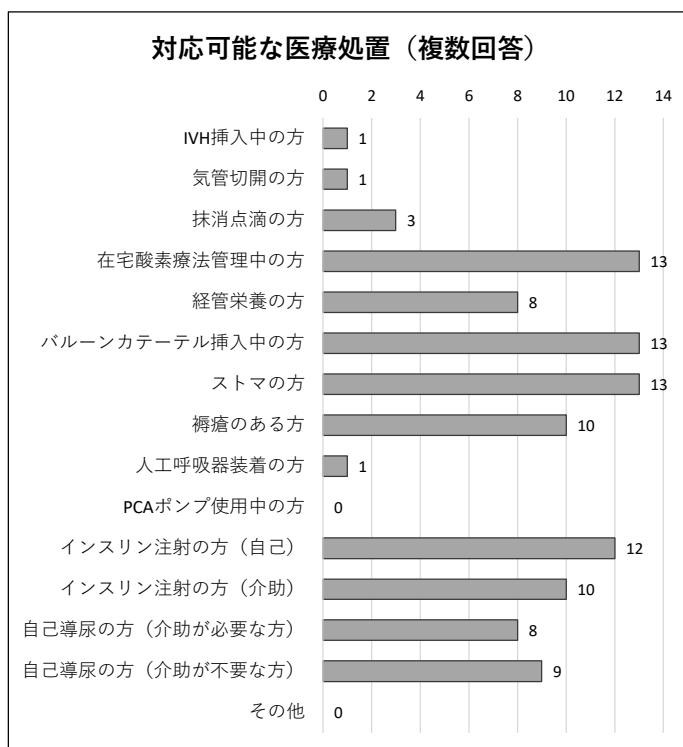
2) 事業所～対象者宅の移動所要時間限度(片道)

	5分	10分	15分	20分	30分	その他	無回答	合計
市内	0	0	0	0	2	6	1	9
市外	0	0	0	2	2	1	0	5



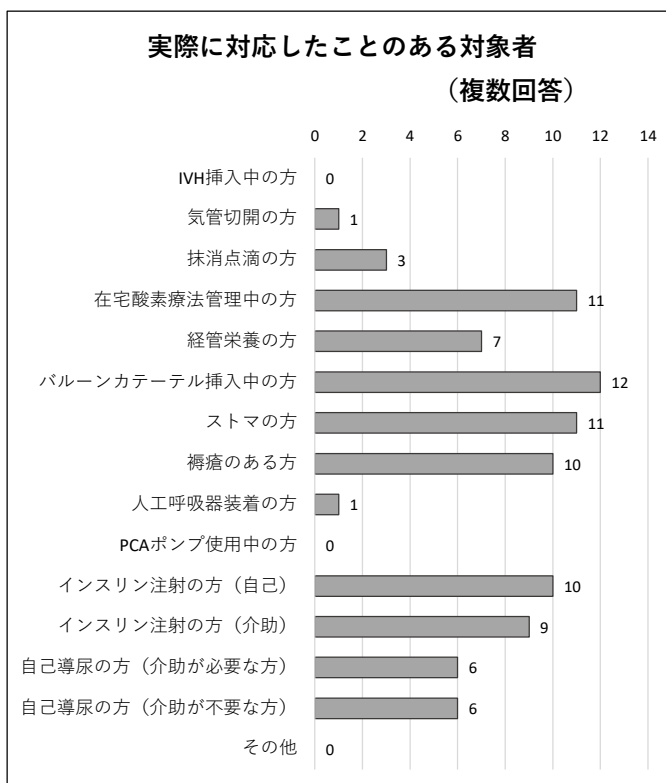
3) 対応可能な医療処置(複数回答)

項目	回答数
IVH挿入中の方	1
気管切開の方	1
抹消点滴の方	3
在宅酸素療法管理中の方	13
経管栄養の方	8
バルーンカテーテル挿入中の方	13
ストマの方	13
褥瘡のある方	10
人工呼吸器装着の方	1
PCAポンプ使用中の方	0
インスリン注射の方 (自己)	12
インスリン注射の方 (介助)	10
自己導尿の方 (介助が必要な方)	8
自己導尿の方 (介助が不要な方)	9
その他	0



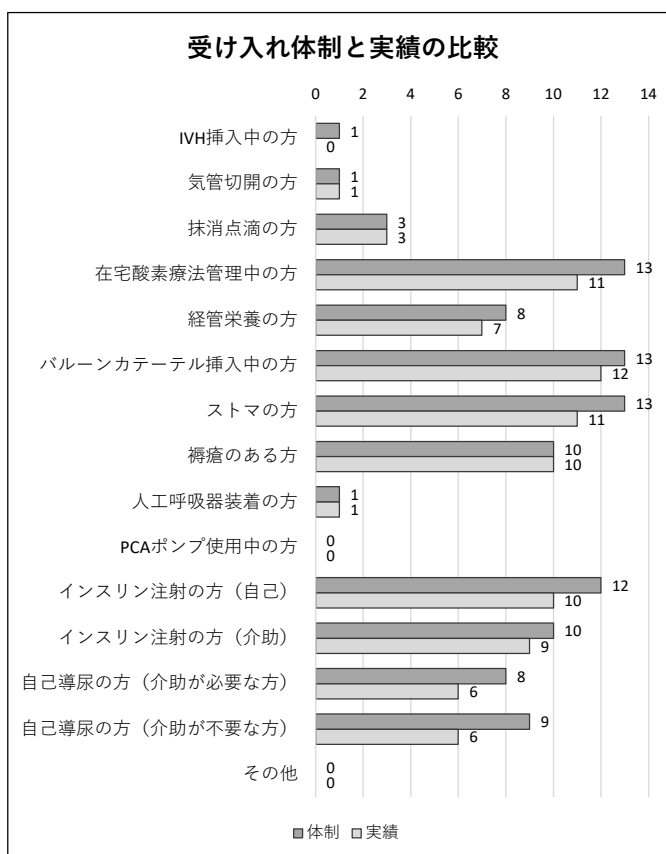
4) 実際に対応したことがある対象者(複数回答)

項目	回答数
IVH挿入中の方	0
気管切開の方	1
抹消点滴の方	3
在宅酸素療法管理中の方	11
経管栄養の方	7
バルーンカテーテル挿入中の方	12
ストマの方	11
褥瘡のある方	10
人工呼吸器装着の方	1
PCAポンプ使用中の方	0
インスリン注射の方(自己)	10
インスリン注射の方(介助)	9
自己導尿の方(介助が必要な方)	6
自己導尿の方(介助が不要な方)	6
その他	0



4-1) 受け入れ体制と実績の比較

項目	体制	実績
IVH挿入中の方	1	0
気管切開の方	1	1
抹消点滴の方	3	3
在宅酸素療法管理中の方	13	11
経管栄養の方	8	7
バルーンカテーテル挿入中の方	13	12
ストマの方	13	11
褥瘡のある方	10	10
人工呼吸器装着の方	1	1
PCAポンプ使用中の方	0	0
インスリン注射の方(自己)	12	10
インスリン注射の方(介助)	10	9
自己導尿の方(介助が必要な方)	8	6
自己導尿の方(介助が不要な方)	9	6
その他	0	0



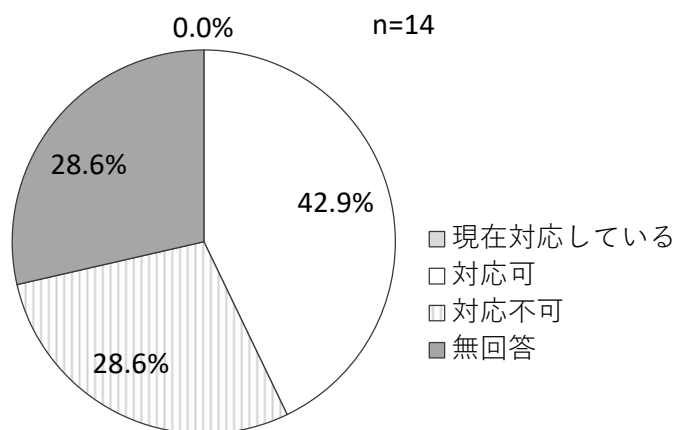
5) 看取り期のがん患者の対応

回答	回答数
現在対応している	0
対応可	6
対応不可	4
無回答	4
合計	14

【対応不可の理由】

- ・身体的重度の方は受入れ難い。
- ・事業所の人員体制。

看取り期のがん患者の対応



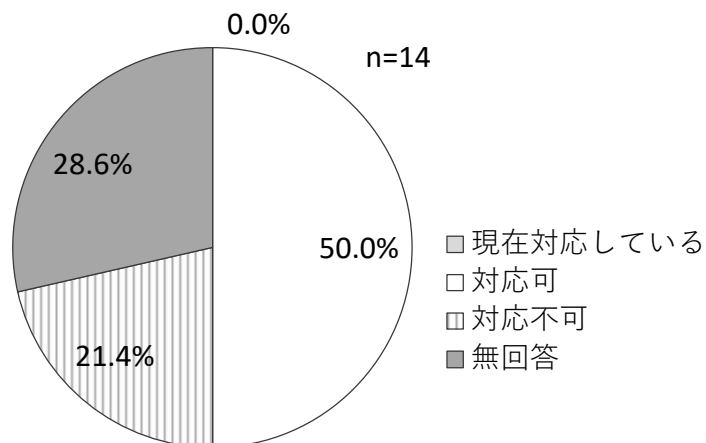
6) 看取り期の患者の対応(がん患者以外)

回答	回答数
現在対応している	0
対応可	7
対応不可	3
無回答	4
合計	14

【対応不可の理由】

- ・身体的重度の方は受入れ難い。
- ・事業所の人員体制。

看取り期の患者の対応 (がん患者以外)



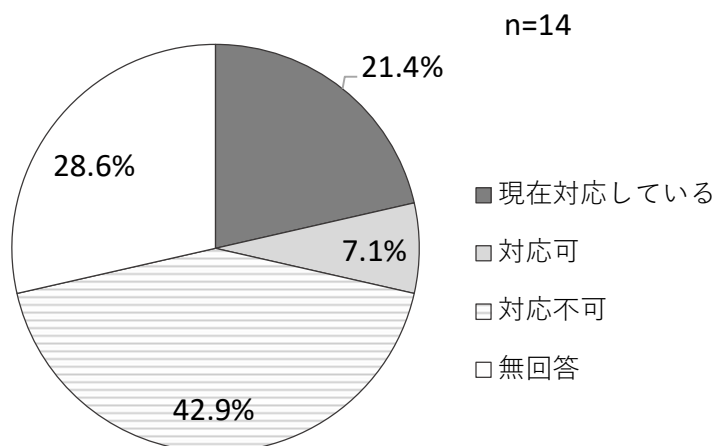
7) 看取りや医療依存度が高い安来市南部地域の利用者へのサービス提供

回答	回答数
現在対応している	3
対応可	1
対応不可	6
無回答	4
合計	14

【対応不可の理由】

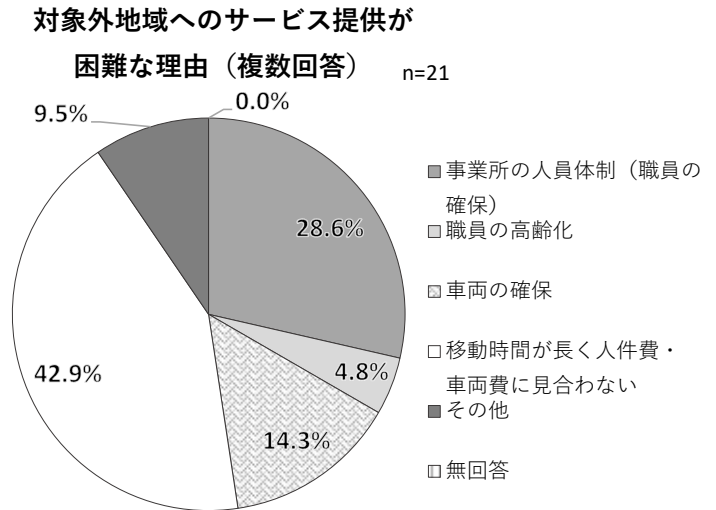
- ・夜間帯医療処置が必要な方の受入れはむずかしい。
- ・事業所の人員体制。

安来市南部地域へのサービス提供



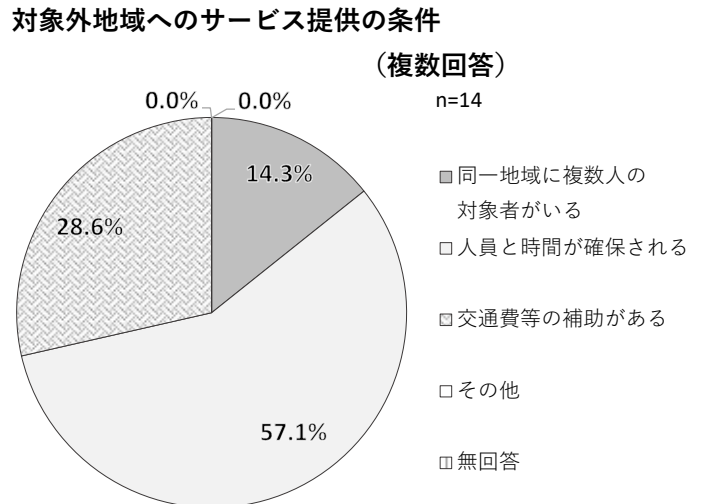
8) 対象外地域へのサービス提供が困難な理由(複数回答)

回答	回答数
事業所の人員体制（職員の確保）	6
職員の高齢化	1
車両の確保	3
移動時間が長く人件費・車両費に見合わない	9
その他	2
無回答	0
合計	21



9) 対象外地域へのサービス提供の条件(複数回答)

回答	回答数
同一地域に複数人の対象者がいる	2
人員と時間が確保される	8
交通費等の補助がある	4
その他	0
無回答	0
合計	14



10) 安来市南部地域へのサービス提供を行うための支援内容(自由記述)

- ・中山間地域への送迎に時間を要するため交通費等の補助。
- ・冬季の送迎では、通行が困難な経路があるため、除雪などの対応。
- ・訪問すればするほど赤字となる。人件費の補助でもあれば少しはちがうかもしれない。
- ・南部地域のショートステイ対応している。
- ・交通費等の補助。
- ・車両や送迎の確保と交通費等の補助。
- ・家族送迎が可能であれば受入れ可。
- ・ショートステイですので、送迎の問題が大きく、移動に時間がかかると難しいです。家族の送迎や、移送サービス等が利用できれば受入れは可能ですが。
- ・ショートステイは送迎をご家族様にお願いできると対応ができるのですが、移動時間が長くなる場合は困難です。特にR9は交通渋滞もありますのでむずかしいです。

11)安来市内で事業を行うにあたり、必要と考える支援(自由記述)

- ・個室化を行うための改修費用の補助。個室であれば男女問わず定員まで受入れ可能となる。
- ・入所施設を希望する家族が多く、在宅で介護を受けている人が少ない。ショート利用者も少なく、キャンセルが多いので、赤字経営となっている。在宅支援の働きかけが必要ではないか？家族のみではなく、ケアマネジャーに対しても同様。
- ・各法人で行っている送迎の連携・協力。
- ・夜間の医療処置がある方への対応。近隣の病院、24 時間対応の訪問看護サービス事業所との連携。
- ・送迎の支援。
- ・車両や送迎の確保と交通費等の補助。
- ・短期入所用のベッドを空けておいた時に、収入が確保できる仕組みがあれば良いと思います。
- ・家族送迎が可能であれば受入れ可。

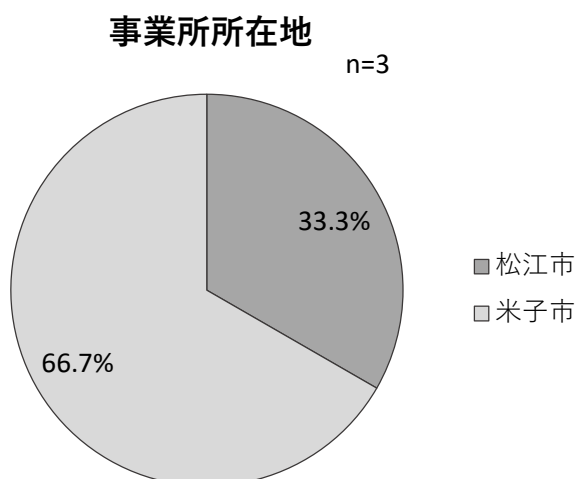
市内事業所は片道 20 分以内が望ましい。又、休日体制日は困難など事業所の体制により送迎対応は異なっていた。南部地域の対象者は送迎時間と、看取りや医療依存度の高い場合の急変対応が難しいため対応困難との回答があった。一方で、市外に隣接する地域では安来市民も利用可能との回答もあった。

意見としては「冬季の場合通行が困難な経路があるため、除雪の対応が必要」「訪問すればするほど赤字になる」といった意見が多くあった。その他にも人件費の補助や、交通費の補助があればサービス提供の拡充につながるとの意見があった。

(9)訪問入浴

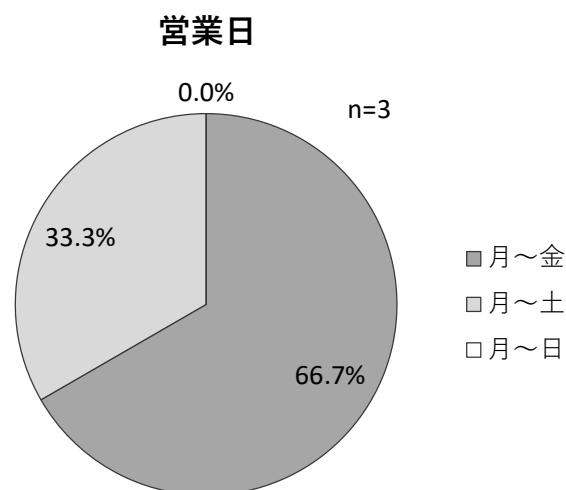
【事業所所在地】

所在地	回答数
松江市	1
米子市	2
合計	3



【営業日】

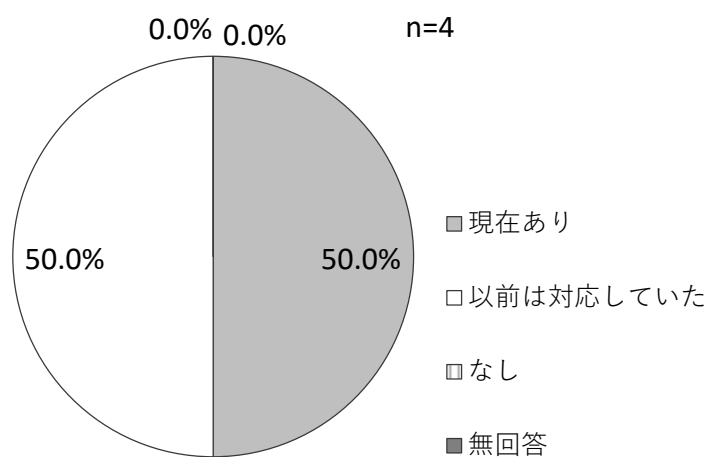
営業日	回答数
月～金	2
月～土	1
月～日	0
その他	0
無回答	0
合計	3



1) 安来市内のサービス利用者の有無

回答	回答数
現在あり	2
以前は対応していた	2
なし	0
無回答	0
合計	4

安来市内のサービス利用者の有無



【現在ありの地域】

- ・荒島
- ・安来
- ・広瀬

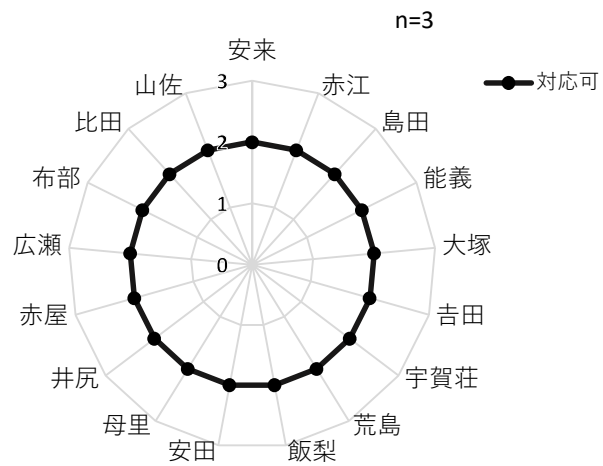
【以前は担当していた地域】

- ・伯太

2) サービス提供が可能な地域

地区	対応可	地区	対応可
安来	2	安田	2
赤江	2	母里	2
島田	2	井尻	2
能義	2	赤屋	2
大塚	2	広瀬	2
吉田	2	布部	2
宇賀荘	2	比田	2
荒島	2	山佐	2
飯梨	2		

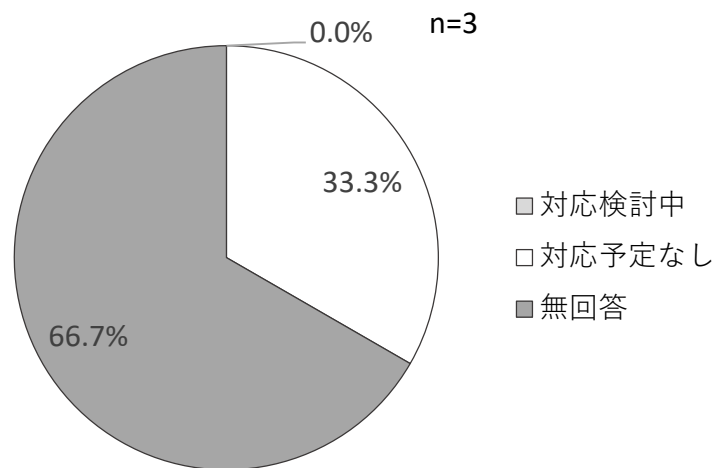
サービス提供が可能な地域



3) 対象外地域へのサービス提供

回答	回答数
対応検討中	0
対応予定なし	1
無回答	2
合計	3

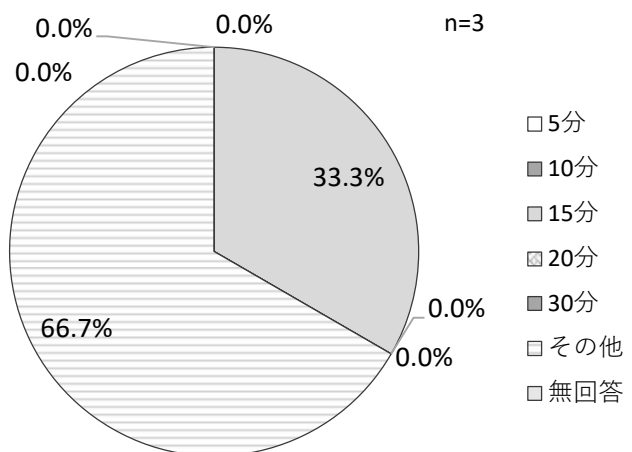
対象外地域へのサービス提供



4) 事業所～対象者宅の移動所要時間限度(片道)

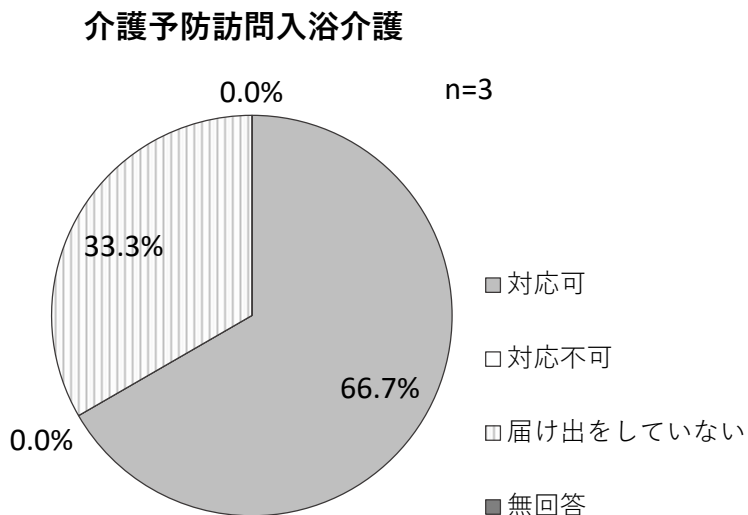
時間	回答数
5分	0
10分	0
15分	1
20分	0
30分	0
その他	2
無回答	0
合計	3

移動所要時間の限度 (片道)



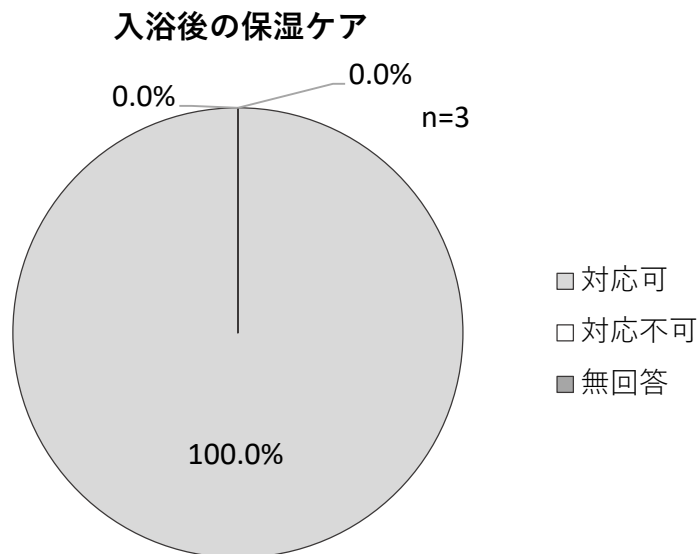
5) 介護予防訪問入浴介護

回答	回答数
対応可	2
対応不可	0
届け出をしていない	1
無回答	0
合計	3



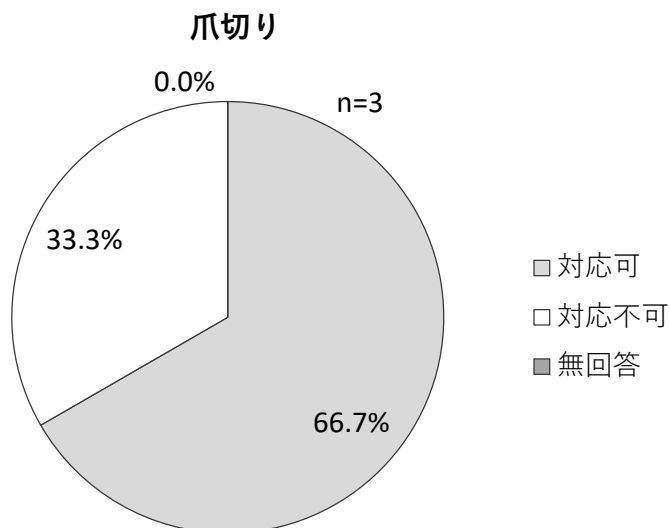
6) 入浴後の保湿ケア

回答	回答数
対応可	3
対応不可	0
無回答	0
合計	3



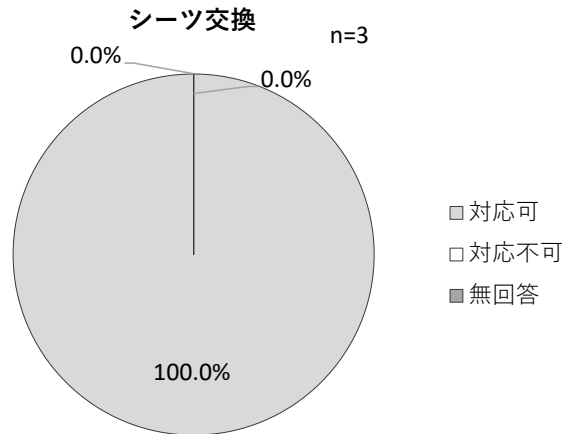
7) 爪切り

回答	回答数
対応可	2
対応不可	1
無回答	0
合計	3



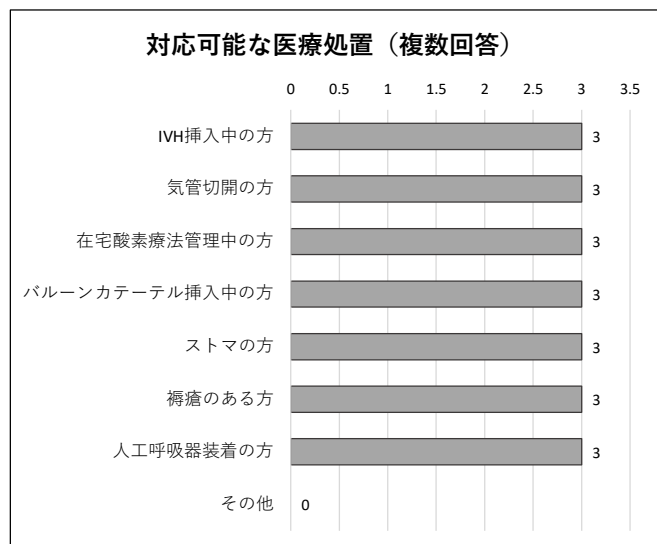
8) シーツ交換

回答	回答数
対応可	3
対応不可	0
無回答	0
合計	3



9) 対応可能な医療処置（複数回答）

項目	回答数
IVH挿入中の方	3
気管切開の方	3
在宅酸素療法管理中の方	3
バルーンカテーテル挿入中の方	3
ストマの方	3
褥瘡のある方	3
人工呼吸器装着の方	3
その他	0



10) 看取り期のがん患者の対応

回答	回答数
現在対応している	2
対応可	1
対応不可	0
無回答	0
合計	3

【現在対応している人数】

(安来市内)

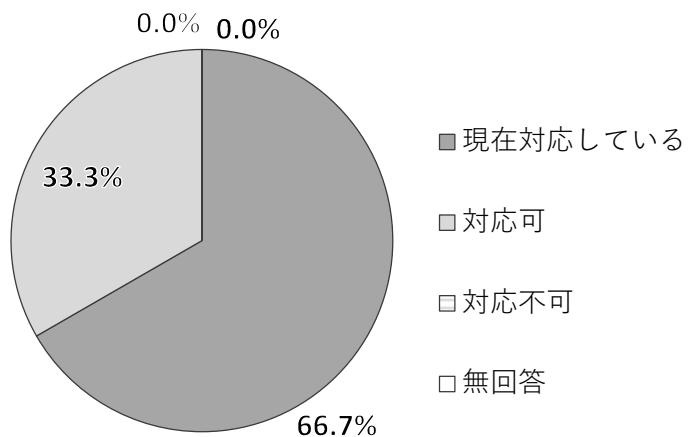
・0人

(安来市外)

・1人

・1人(1事業所)

看取り期のがん患者の対応



11) 看取り期の患者の対応(がん患者以外)

回答	回答数
現在対応している	2
対応可	1
対応不可	0
無回答	0
合計	3

【現在対応している人数】

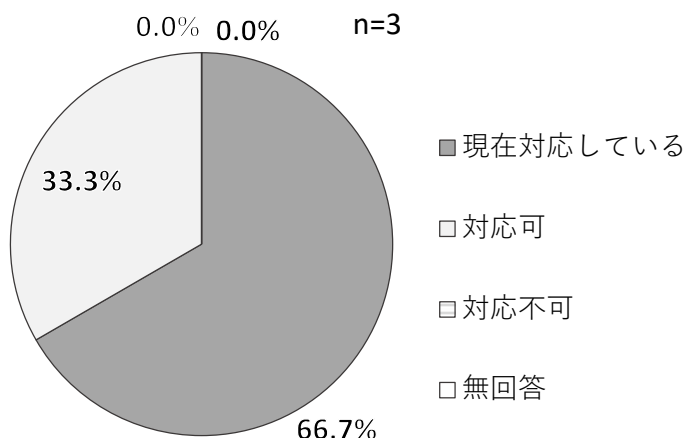
(安来市内)

・0人

(安来市外)

・2人(2事業所)

看取り期の患者の対応 (がん患者以外)

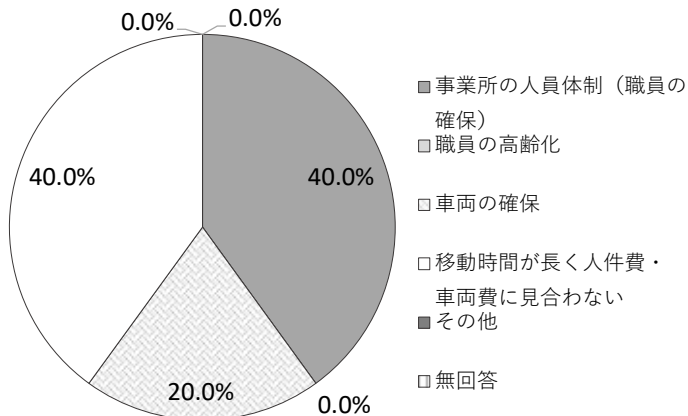


12) 対象外地域へのサービス提供が困難な理由(複数回答)

回答	回答数
事業所の人員体制(職員の確保)	2
職員の高齢化	0
車両の確保	1
移動時間が長く人件費・車両費に見合わない	2
その他	0
無回答	0
合計	5

対象外地域へのサービス提供が

困難な理由(複数回答)

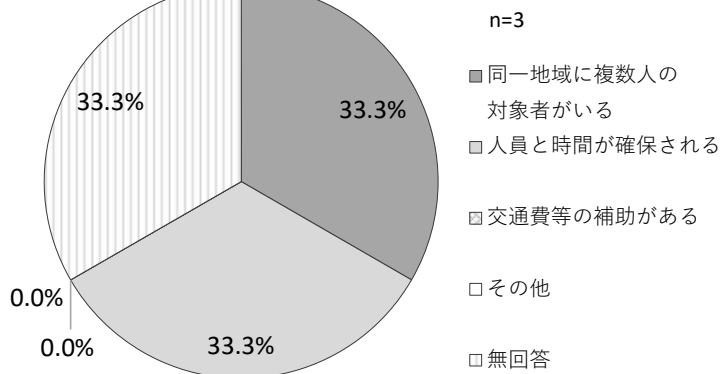


13) 対象外地域へのサービス提供の条件(複数回答)

回答	回答数
同一地域に複数人の対象者がいる	1
人員と時間が確保される	1
交通費等の補助がある	0
その他	0
無回答	1
合計	3

対象外地域へのサービス提供の条件

(複数回答)



14)安来市内で重度の方が在宅で暮らすために必要と考えること(自由記述)

- ・特別地域加算の増額。
- ・交通費の支給(補助)等があれば、もっと訪問事業が増えていくかもしれません。

15)安来市で事業を行うにあたり、必要と考える支援(自由記述)

- ・自治体独自の加算の算定。
- ・自治体や包括との訪問入浴のPR。連携をとっての周知活動など。

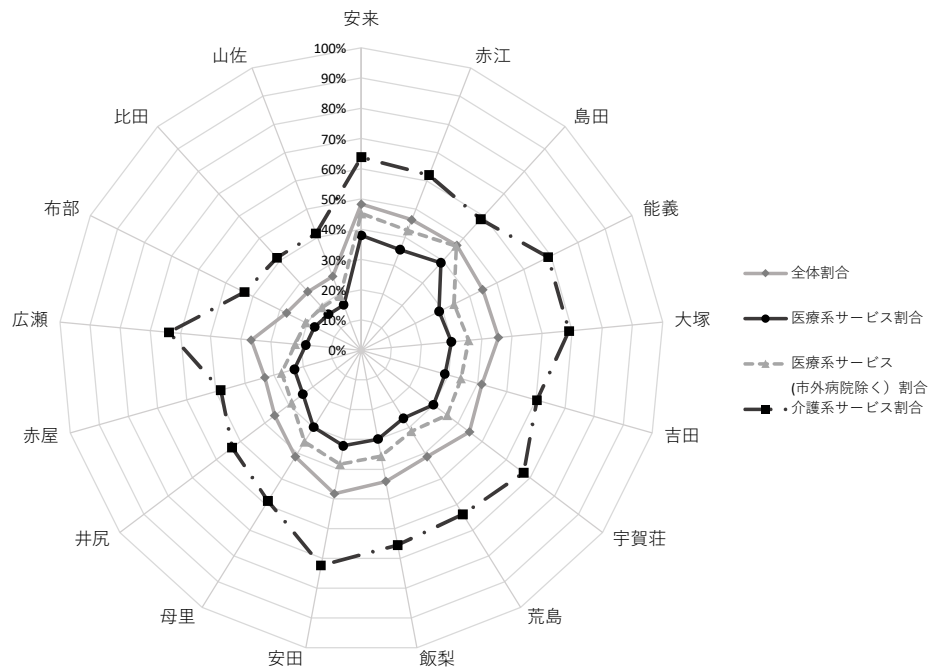
現在、訪問入浴事業所は安来市内になく、市外事業所へ頼っている状態である。地域としては、市内全域への対応を行っており、医療処置や看取り期にも対応している。意見としては、「同じ地域に複数の対象者がいれば提供できる」「南部地域(広瀬・伯太)などへ交通費の支給(補助)や自治体独自の加算があれば訪問事業が増えていく」「人員体制(職員の確保)や車両の確保ができていない」など、今後市独自の補助や事業所内での人員体制の整備を求める意見があった。

(10)安来市内の医療・介護サービスの提供可能地域

事業所	事業所数	安来	赤江	島田	能義	大塚	吉田	宇賀荘	荒島	飯梨	安田	母里	井尻	赤屋	広瀬	布部	比田	山佐	
医療系サービス	市内病院	3	1	1	1	2	2	2	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1
	市外病院	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市内診療所	18	8	9	7	6	7	6	6	7	9	7	7	4	4	6	5	4	5
	市外診療所	19	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	1	1	1	2	0
	市内薬局	11	7	7	7	7	7	6	6	6	7	4	4	4	4	4	4	3	4
市外薬局	22	15	12	17	9	9	8	10	7	7	12	10	9	8	4	4	4	4	
介護系サービス	訪問入浴	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	訪問リハビリ	4	4	4	3	4	4	3	3	4	4	3	3	2	3	3	2	2	2
	訪問介護	6	5	5	5	6	6	6	6	6	6	6	4	2	2	6	2	2	2
	訪問看護	6	3	3	4	4	4	3	4	3	3	5	4	4	3	3	3	3	2
	通所サービス	25	15	14	11	16	15	13	14	14	15	15	12	12	9	14	7	6	7
短期入所	14	8	8	9	8	9	8	10	8	8	11	9	9	9	9	9	9	9	
合計	145	70	67	68	65	66	60	65	60	64	70	60	52	48	53	40	38	38	

	事業所数	安来	赤江	島田	能義	大塚	吉田	宇賀荘	荒島	飯梨	安田	母里	井尻	赤屋	広瀬	布部	比田	山佐
全体合計	145	70	67	68	65	66	60	65	60	64	70	60	52	48	53	40	38	38
医療系サービス合計	87	33	31	34	25	26	25	26	23	26	28	26	21	20	16	15	14	14
介護系サービス合計	58	37	36	34	40	40	35	39	37	38	42	34	31	28	37	25	24	24
全体割合	100%	48.3%	46.2%	46.9%	44.8%	45.5%	41.4%	44.8%	41.4%	44.1%	48.3%	41.4%	35.9%	33.1%	36.6%	27.6%	26.2%	26.2%
医療系サービス割合	100%	37.9%	35.6%	39.1%	28.7%	29.9%	28.7%	29.9%	26.4%	29.9%	32.2%	29.9%	24.1%	23.0%	18.4%	17.2%	16.1%	16.1%
医療系サービス (市外病院除く)割合	100%	45.2%	42.5%	46.6%	34.2%	35.6%	34.2%	35.6%	31.5%	35.6%	38.4%	35.6%	28.8%	27.4%	21.9%	20.5%	19.2%	19.2%
介護系サービス割合	100%	63.8%	62.1%	58.6%	69.0%	69.0%	60.3%	67.2%	63.8%	65.5%	72.4%	58.6%	53.4%	48.3%	63.8%	43.1%	41.4%	41.4%

医療・介護全体の提供可能地域



医療系機関・薬局を「医療系サービス」、介護保険事業所を「介護系サービス」として分け、安来市内の度の地域までサービス提供を行うことが可能かをグラフ化した。

医療系・介護系サービスともに南部地域へ支援する事業所が少ないことが明らかになった。

安来市地域包括支援センター

(高齢者まるごと相談センター)

〒692-0404

安来市広瀬町広瀬 754 番地 (広瀬社会福祉センター内)

電話 : (0854) 32-9110 FAX : (0854) 32-9114

H P : <https://www.yasugi-hokatsu.jp/>